第 18 回大阪市エイズ対策評価委員会

日　時：令和 8 年 7 月 31 日（金）
午後 2 時 00 分～4 時 00 分
場　所（形式）：
大阪市保健所　10 階 第 4 会議室
（オンライン併用）

次　第

1　開　会

2　議　事

（1）ＨＩＶ感染者・エイズ患者・その他性感染症　発生動向まとめ

（2）第４次大阪市エイズ対策基本指針の実績及び評価について

（3）第５次大阪市エイズ対策基本指針の策定にあたって

（4）その他

3　閉　会

配付資料
・「第 18 回大阪市エイズ対策評価委員会」
・「第５次大阪市対策基本指針策定スケジュール」

大阪市エイズ対策評価委員会委員名簿

※50音順、敬称略

氏名	職業名
笠原　幹司	大阪府医師会理事
塩野　徳史	大阪青山大学看護学部看護学科教授
白阪　琢磨	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター特別顧問
村松　紀子	特定非営利活動法人チャーム　正会員
山中　京子	大阪府立大学名誉教授 コラボレーション実践研究所所長

大阪市エイズ対策評価委員会　事務局名簿

氏名	所属・補職
中山　浩二	保健所長
坂下　克	保健所感染症対策担当部長
檜垣　史郎	保健所感染症対策担当医務監兼東部保健医療監、 中央区役所医務主幹
松川　幸子	保健所感染症対策課長
岡田　めぐみ	保健所感染症担当医務主幹兼天王寺区役所医務主幹、 危機管理室医務主幹
井村　元気	保健所医務主幹兼城東区役所医務主幹
安井　典子	保健所保健主幹
川上　勇	保健所感染症対策課長代理

○大阪市エイズ対策評価委員会規則

平成 25 年 7 月 26 日
規則第 163 号

大阪市エイズ対策評価委員会規則を公布する。

大阪市エイズ対策評価委員会規則

(趣旨)

第 1 条　この規則は、執行機関の附属機関に関する条例(昭和 28 年大阪市条例第 35 号)第 2 条第 1 項の規定に基づき、大阪市エイズ対策評価委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第 2 条　委員会は、委員 5 人以内で組織する。

2　委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第 3 条　委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2　委員は、再任されることができる。

(委員長)

第 4 条　委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2　委員長は、委員会を代表し、議事その他の会務を総理する。

3　委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第 5 条　委員会の会議は、委員長が招集する。

2　委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3　委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(関係者の出席)

第 6 条　委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第 7 条　委員会の庶務は、健康局において処理する。

(施行の細目)

第 8 条　この規則の施行に関し必要な事項は、委員長が定める。

附　則

この規則は、平成 25 年 8 月 1 日から施行する。

ＨＩＶ感染者・エイズ患者
その他性感染症　発生動向まとめ

目　　次

ＨＩＶ感染者・エイズ患者・その他性感染症　発生動向まとめ

◇大阪市におけるＨＩＶ感染者・エイズ患者の状況について（令和７年）・・・・・６頁

◇エイズ動向委員会資料（第 166 回委員長コメント資料）・・11 頁

◇新規報告数に占めるエイズ患者の割合（主要自治体比較）・・・・・・・・・・・・14 頁

◇大阪市における梅毒（全数報告）の発生動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・15 頁

◇大阪市における性感染症定点報告の発生動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・17 頁

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者の状況（令和7年）

大阪市における新規HIV感染者・新規エイズ患者（令和7年第1週～52週）の報告状況は次のとおりです。

①年次別推移

区分	HIV感染者報告数	エイズ患者報告数	合計	新規報告数に占めるエイズ患者の割合
～平成元年	0	0	0	0.0%
平成2年	3	2	5	40.0%
平成3年	4	1	5	20.0%
平成4年	14	3	17	17.6%
平成5年	7	1	8	12.5%
平成6年	14	4	18	22.2%
平成7年	7	1	8	12.5%
平成8年	5	2	7	28.6%
平成9年	13	6	19	31.6%
平成10年	25	5	30	16.7%
平成11年	30	13	43	30.2%
平成12年	31	7	38	18.4%
平成13年	58	17	75	22.7%
平成14年	55	16	71	22.5%
平成15年	68	11	79	13.9%
平成16年	99	17	116	14.7%
平成17年	100	16	116	13.8%
平成18年	118	12	130	9.2%
平成19年	130	28	158	17.7%
平成20年	164	31	195	15.9%
平成21年	147	45	192	23.4%
平成22年	165	49	214	22.9%
平成23年	140	50	190	26.3%
平成24年	108	32	140	22.9%
平成25年	145	40	185	21.6%
平成26年	130	42	172	24.4%
平成27年	149	41	190	21.6%
平成28年	119	31	150	20.7%
平成29年	100	33	133	24.8%
平成30年	95	28	123	22.8%
平成31年	87	20	107	18.7%
令和2年	75	19	94	20.2%
令和3年	64	13	77	16.9%
令和4年	63	10	73	13.7%
令和5年	52	11	63	17.5%
令和6年	48	18	66	27.3%
令和7年	71	8	79	10.1%
合　計	2703	683	3386	－

②感染経路別

区分	HIV感染者報告数		エイズ患者報告数		合計	割合
異性間性的接触	6	8.5%	3	37.5%	9	11.4%
同性間性的接触	57	80.3%	4	50.0%	61	77.2%
静注薬物使用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
母子感染	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	4	5.6%	1	12.5%	5	6.3%
不明	4	5.6%	0	0.0%	4	5.1%
合　計	**71**	**100.0%**	**8**	**100.0%**	**79**	**100.0%**

その他：HIV4（性的接触不明3、その他1）、エイズ1（性的接触不明）

③年齢区分

区分	HIV感染者報告数		エイズ患者報告数		合計	割合
20歳未満	1	1.4%	0	0.0%	1	1.3%
20歳代	33	46.5%	1	12.5%	34	43.0%
30歳代	23	32.4%	2	25.0%	25	31.6%
40歳代	8	11.3%	2	25.0%	10	12.7%
50歳代	5	7.0%	2	25.0%	7	8.9%
60歳以上	1	1.4%	1	12.5%	2	2.5%
合　計	**71**	**100.0%**	**8**	**100.0%**	**79**	**100.0%**

④国籍・性別

区分	HIV感染者報告数		エイズ患者報告数		合計	割合
男性　（日本国籍）	41	57.7%	6	75.0%	47	59.5%
（その他）	25	35.2%	0	0.0%	25	31.6%
（不　明）	3	4.2%	0	0.0%	3	3.8%
女性　（日本国籍）	0	0.0%	2	25.0%	2	2.5%
（その他）	2	2.8%	0	0.0%	2	2.5%
（不　明）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
小計　：　男性	69	97.2%	6	75.0%	75	94.9%
女性	2	2.8%	2	25.0%	4	5.1%
合　計	**71**	**100.0%**	**8**	**100.0%**	**79**	**100.0%**

⑤感染地域別

区分	HIV感染者報告数		エイズ患者報告数		合計	割合
国　内	59	83.1%	8	100.0%	67	84.8%
海　外	8	11.3%	0	0.0%	8	10.1%
不　明	4	5.6%	0	0.0%	4	5.1%
合　計	**71**	**100.0%**	**8**	**100.0%**	**79**	100.0%

注）後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後（平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合）、血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者の状況（累計）

大阪市における新規HIV感染者・新規エイズ患者（累計；平成元年2月17日～令和7年12月31日）の報告状況は次のとおりです。

①年次別推移

区分	HIV感染者報告数	エイズ患者報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
平成26年	130	42	172
平成27年	149	41	190
平成28年	119	31	150
平成29年	100	33	133
平成30年	95	28	123
平成31年	87	20	107
令和2年	75	19	94
令和3年	64	13	77
令和4年	63	10	73
令和5年	52	11	63
令和6年	48	18	66
令和7年	71	8	79
合　計	2703	683	3386

②感染経路別（累計）

区分	HIV感染者報告数		エイズ患者報告数		合計	割合
異性間性的接触	323	11.9%	128	18.7%	451	13.3%
同性間性的接触	2139	79.1%	427	62.5%	2566	75.8%
静注薬物使用	6	0.2%	1	0.2%	7	0.2%
母子感染	2	0.1%	1	0.2%	3	0.1%
その他	64	2.4%	26	3.8%	90	2.7%
不明	169	6.3%	100	14.6%	269	7.9%
合　計	2703	100.0%	683	100.0%	3386	100.0%

③年齢区分（累計）

区分	HIV感染者報告数		エイズ患者報告数		合計	割合
20歳未満	35	1.3%	2	0.3%	37	1.1%
20歳代	993	36.7%	85	12.4%	1078	31.8%
30歳代	1017	37.6%	191	28.0%	1208	35.7%
40歳代	451	16.7%	200	29.3%	651	19.2%
50歳代	130	4.8%	135	19.8%	265	7.8%
60歳以上	77	2.8%	70	10.2%	147	4.3%
合　計	2703	100.0%	683	100.0%	3386	100.0%

④国籍・性別（累計）

区分	HIV感染者報告数		エイズ患者報告数		合計	割合
日本人　男性	2398	88.7%	631	92.4%	3029	89.5%
女性	42	1.6%	10	1.5%	52	1.5%
その他・不明　男性	222	8.2%	28	4.1%	250	7.4%
女性	41	1.5%	14	2.0%	55	1.6%
合　計	2703	100.0%	683	100.0%	3387	100.0%

⑤感染地域別(累計)

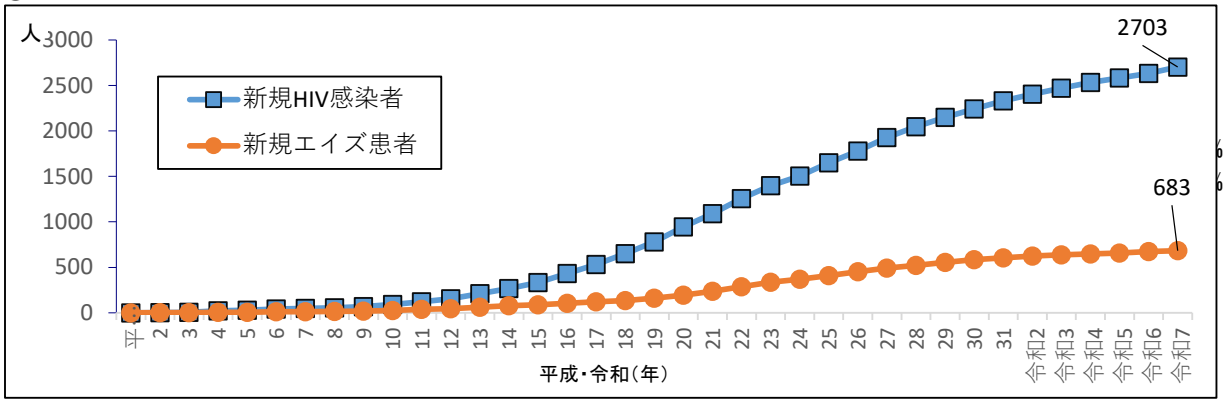
区分	HIV感染者報告数		エイズ患者報告数		合計	割合
国　内	2398	88.7%	546	79.9%	2944	86.9%
海　外	122	4.5%	47	6.9%	169	5.0%
不　明	183	6.8%	90	13.2%	273	8.1%
合　計	2703	100.0%	683	100.0%	3387	100.0%

注）後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後（平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合）血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

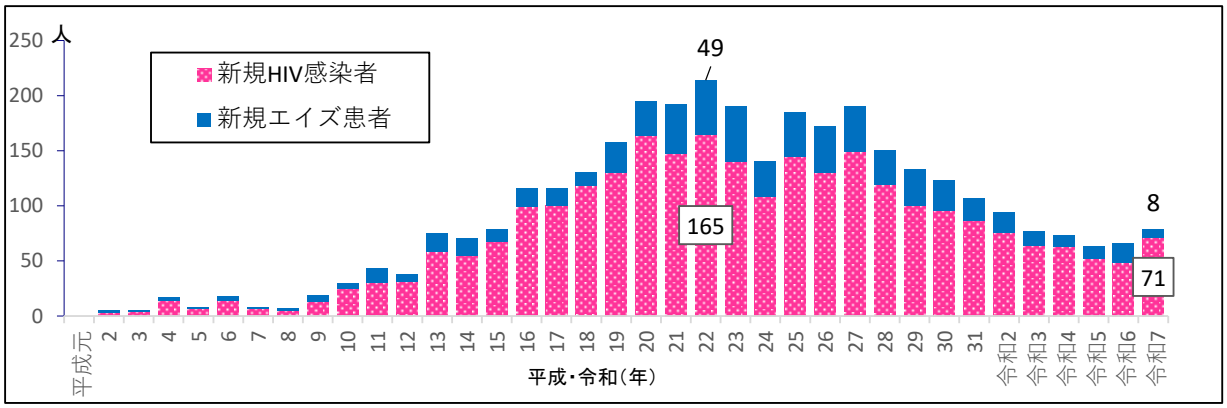
大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者の状況（グラフ）

＜累計＞平成元年～令和6年累計　＜令和6年＞令和6年第1週～52週報告

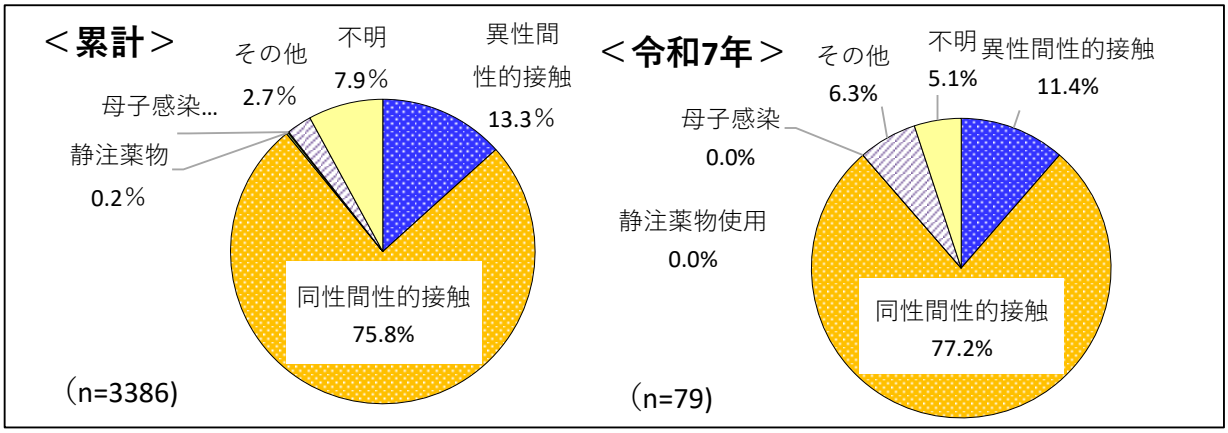
①新規HIV感染者・新規エイズ患者報告数（累計）の年次推移



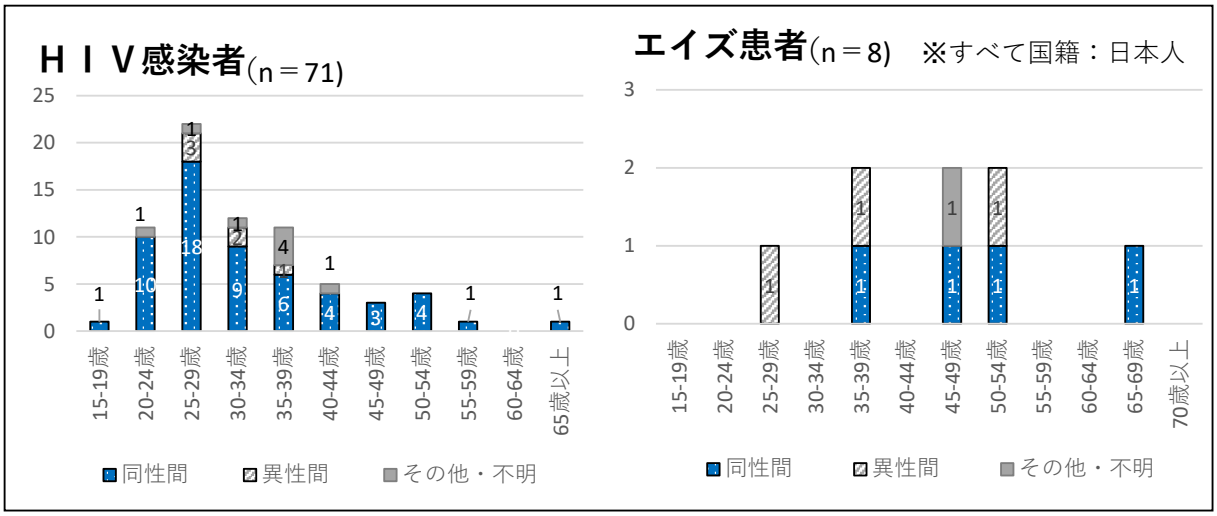
②新規HIV感染者・新規エイズ患者報告数（単年）の年次推移

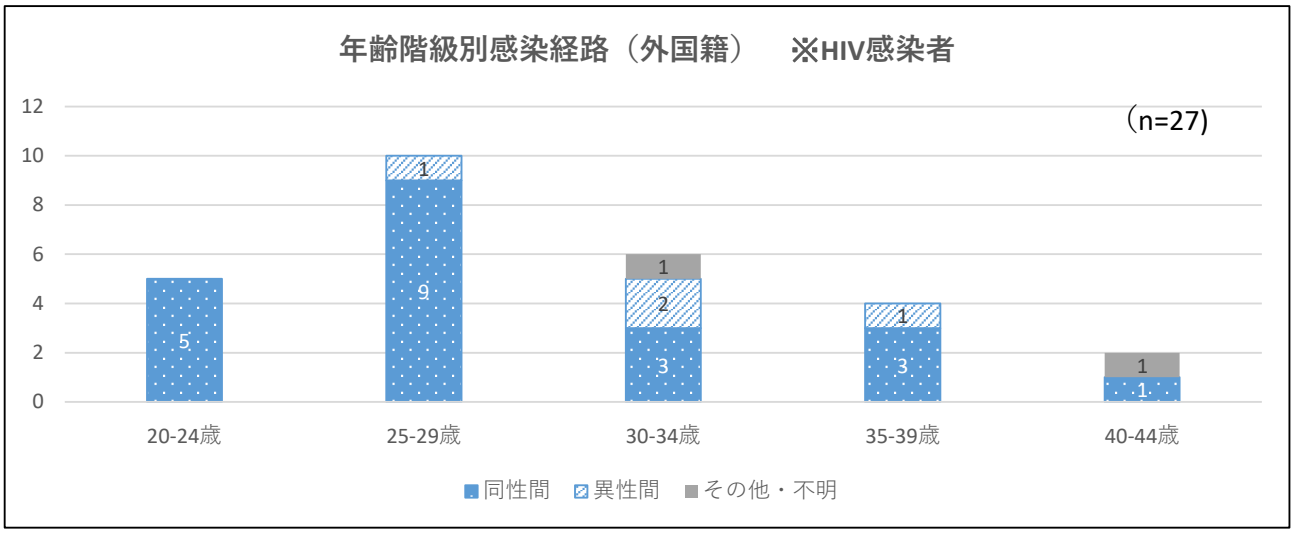


③感染経路別（HIV感染者＋エイズ患者）

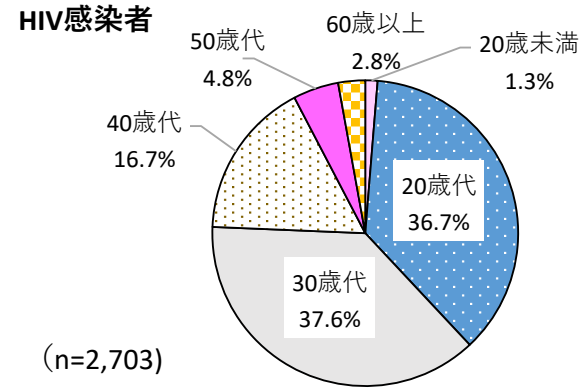


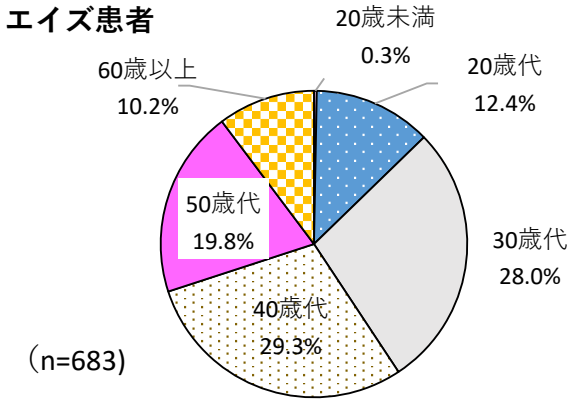
④年齢階級別感染経路別内訳＜令和7年＞



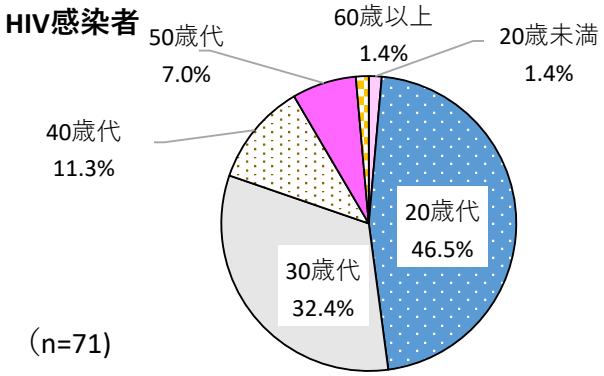


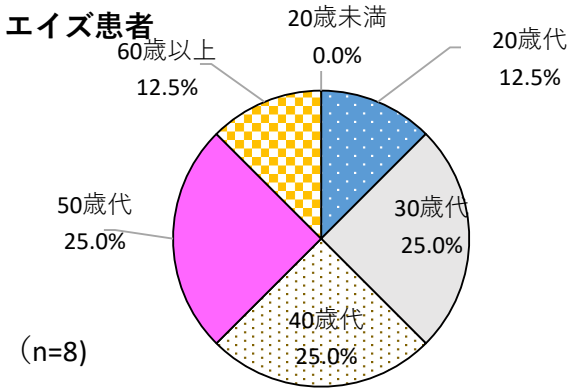
⑤年齢区分　＜累計＞



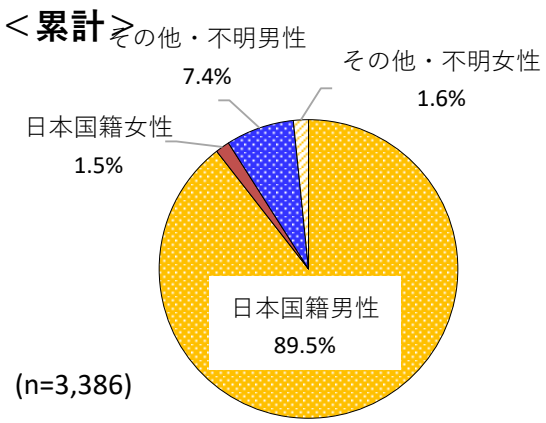


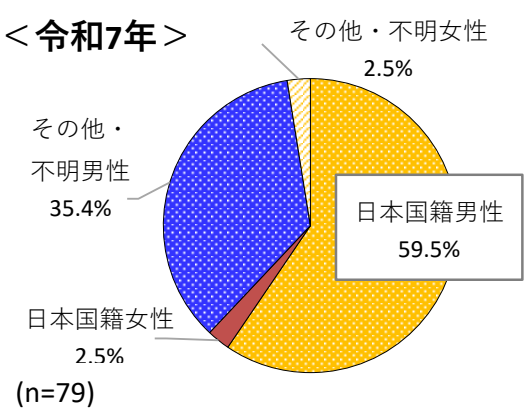
⑥年齢区分　＜令和7年＞



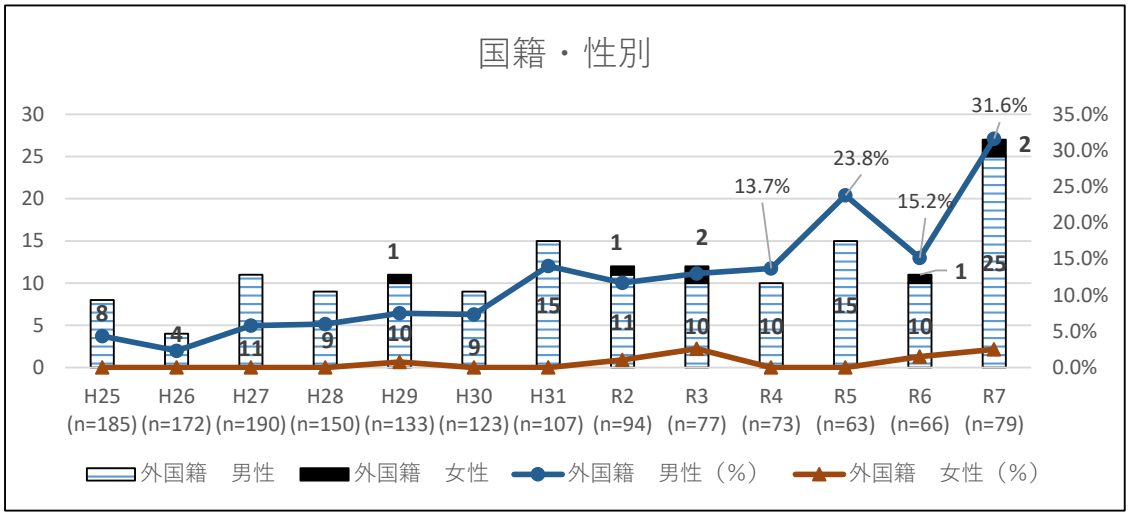


⑦国籍・性別（HIV感染者・エイズ患者）

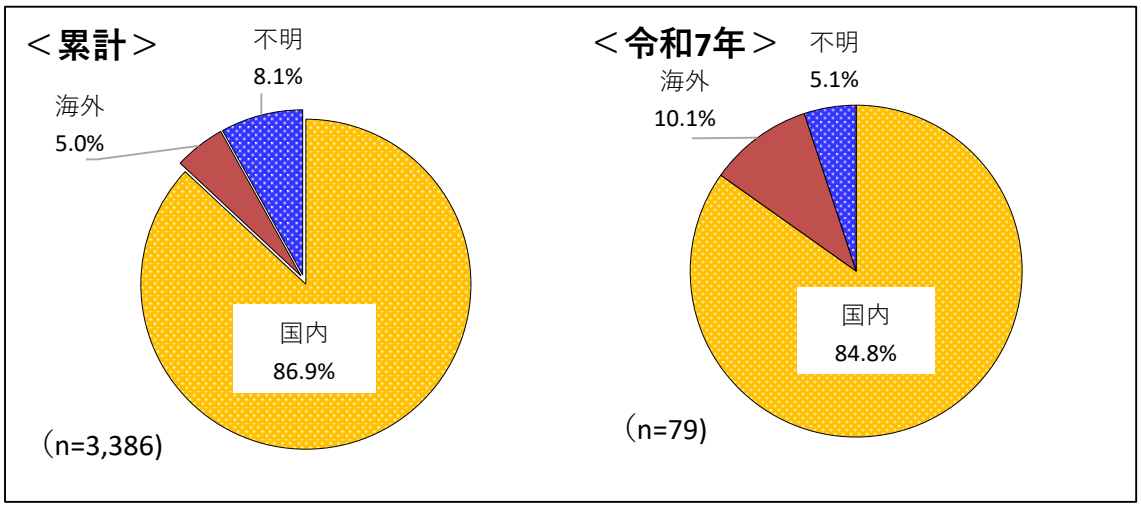




⑧外国籍・性別内訳の推移＜平成25年～令和7年＞（HIV感染者・エイズ患者）

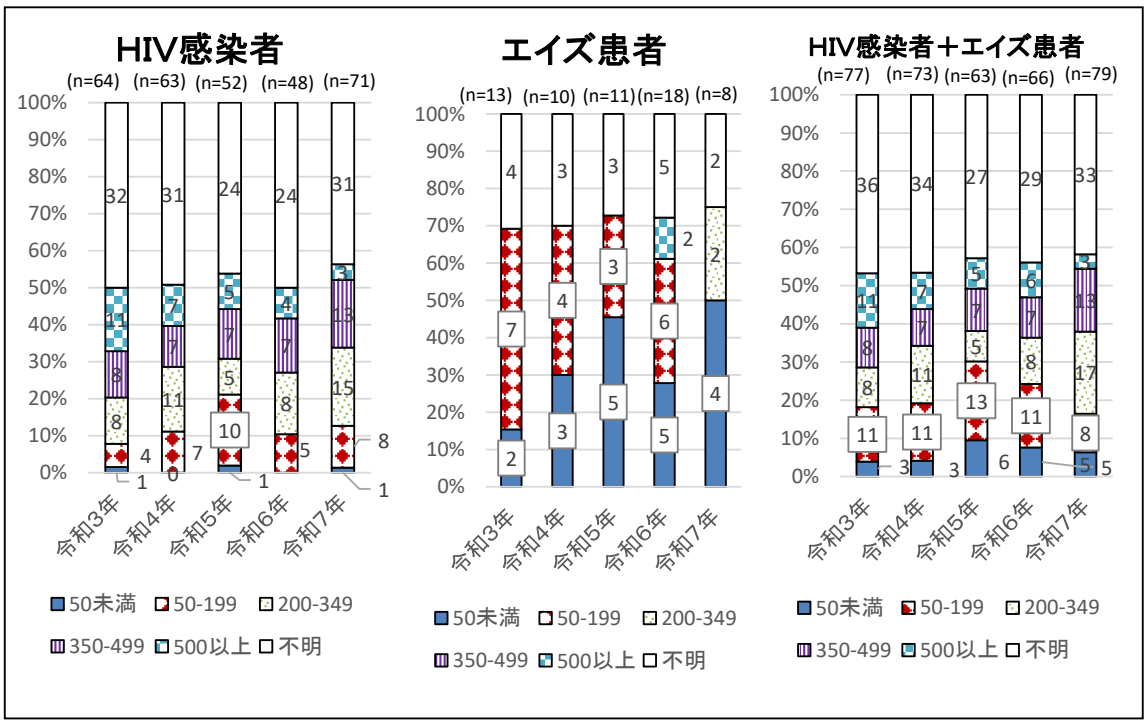


⑨感染地域別（HIV感染者・エイズ患者）



⑩新規報告数における診断時CD4値の分布＜令和3年～令和7年＞

※平成31年1月1日から発生届の項目に診断時のCD4値が追加された



第166回エイズ動向委員会　委員長コメント
《令和7年　ＨＩＶ感染者・エイズ患者の年間新規報告数（速報値）》

【概要】

１．今回の報告期間は、令和 7 年 1 月 1 日～12 月 31 日の 1 年間
２．新規ＨＩＶ感染者報告数は、624 件（過去 20 年間で、1 番目に少ない報告数）
３．新規エイズ患者報告数は、266 件（過去 20 年間で、2 番目に少ない報告数）
４．ＨＩＶ感染者とエイズ患者を合わせた新規報告数は 890 件
（過去 20 年間で、2 番目に少ない報告数）

【感染経路・年齢等の動向】

１．新規ＨＩＶ感染者：
○ 同性間性的接触によるものが 404 件（全新規ＨＩＶ感染者報告数の約 65%）
○ 異性間性的接触によるものが 91 件（全新規ＨＩＶ感染者報告数の約 15%）
○ 静注薬物によるものは 0 件
○ 母子感染によるものは 1 件
○ 年齢別では、20～30 歳代が多い。

２．新規エイズ患者：
○ 同性間性的接触によるものが 139 件（全新規エイズ患者報告数の約 52%）
○ 異性間性的接触によるものが 52 件（全新規エイズ患者報告数の約 20%）
○ 静注薬物によるものは 0 件
○ 母子感染によるものは 0 件
○ 年齢別では、30～50 歳代が多い。

【検査・相談件数の概況】

１．保健所等におけるＨＩＶ抗体検査及びＨＩＶ郵送検査件数は 107,083 件
（過去 20 年間で、5 番目に少ない件数）
２．保健所等における相談件数は 73,359 件
（過去 20 年間で、4 番目に少ない件数）

《まとめ》

１．令和 7 年の新規ＨＩＶ感染者報告数は、令和 6 年と比べわずかに減少（−約 6%）した。令和 7 年の新規エイズ患者報告数は、令和 6 年と比べ減少（−約 20%）した。新規報告数全体に占めるエイズ患者報告数の割合は、依然として約 3 割で推移している。保健所等での検査件数の伸びが鈍化していることも留意しつつ、今後の状況を注視していく必要がある。

２．新規ＨＩＶ感染者の感染経路は、性的接触によるものが約 79%（うち約 82%が同性間）、新規エイズ患者では約 72%（うち約 73%が同性間）となっている。また、新規ＨＩＶ感染者・新規エイズ患者ともに、男性が全体の 9 割を超えている。

３．保健所等におけるＨＩＶ抗体検査及びＨＩＶ郵送検査件数は、前年に比べおおむね横ばい（−約 2%）である。今回の報告から HIV 郵送検査件数を追加しており、検査件数の解釈に

ついては、今後の推移を注視しながら詳細な検討が必要である。保健所及び自治体におかれては、引き続き早期診断につながる検査機会の確保に努めていただきたい。

４．献血時のＨＩＶ抗体・核酸増幅検査における 10 万件当たりの陽性件数は令和 6 年と比べて減少した。しかし、依然として陽性件数があることを踏まえると、ＨＩＶ感染リスクがある方は、保健所等での無料・匿名検査や医療機関による検査を受けていただきたい。

５．ＨＩＶ感染症は予防可能な感染症であり、適切な予防策をとることが重要である。また、エイズ発症予防のためには、早期診断と早期治療が重要である。感染予防と早期診断は、社会における感染の拡大防止にもつながることから、首都圏を始め都市部、また都市部以外の地域においても、梅毒などの性感染症を含め、保健所等での無料・匿名の検査・相談や医療機関による検査を積極的にご利用いただきたい。

新規ＨＩＶ感染者・新規エイズ患者報告数、保健所等におけるＨＩＶ抗体検査及びＨＩＶ郵送検査、相談件数（年次推移）

新規HIV感染者・新規エイズ患者報告数

速報値

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合 計
78	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,075	1,056	1,002	1,106	1,091	1,006	1,011	976	940	903	750	742	632	669	662	624	25,818
39	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437	413	377	333	345	315	252	291	332	266	11,447
117	101	97	238	493	363	434	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1,165	1,199	1,358	1,500	1,557	1,452	1,544	1,529	1,449	1,590	1,546	1,434	1,448	1,389	1,317	1,236	1,095	1,057	884	960	994	890	37,265

＜上段:HIV感染者報告数　中段:エイズ患者報告数　下段:HIV感染者・エイズ患者報告数の合計＞

保健所等におけるHIV抗体検査及びHIV郵送検査及び件数（委託実施による検査件数を含む）

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合 計
47,470	7,864	10,649	10,980	135,674	116,712	81,495	57,978	72,186	46,237	53,218	48,218	48,754	69,925	61,652	75,539	89,004	100,287	116,550	153,816	177,156	150,252	130,930	131,243	131,235	136,400	145,048	128,241	118,005	123,432	130,759	142,260	68,998	58,172	73,104	106,137	108,988	107,083	3,571,651
														(参考)HIV抗体検査のうち陽性件数			331	440	507	501	442	473	462	469	453	490	463	440	463	385	437	290	293	269	316	267	320	－	

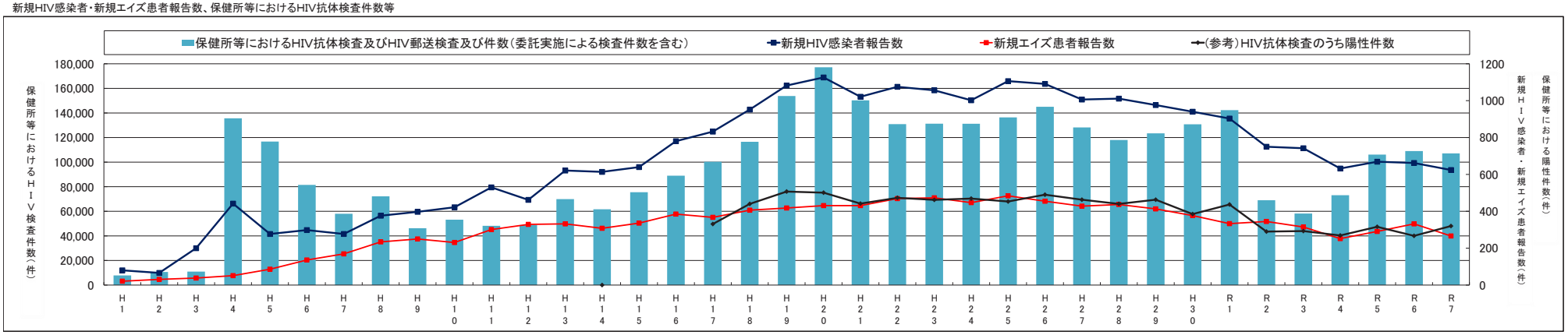
※　HIV郵送検査件数については、令和7年第3四半期（令和7年9月9日）以降に送付されたものを集計している。

保健所等における相談件数（委託実施による相談件数を含む）

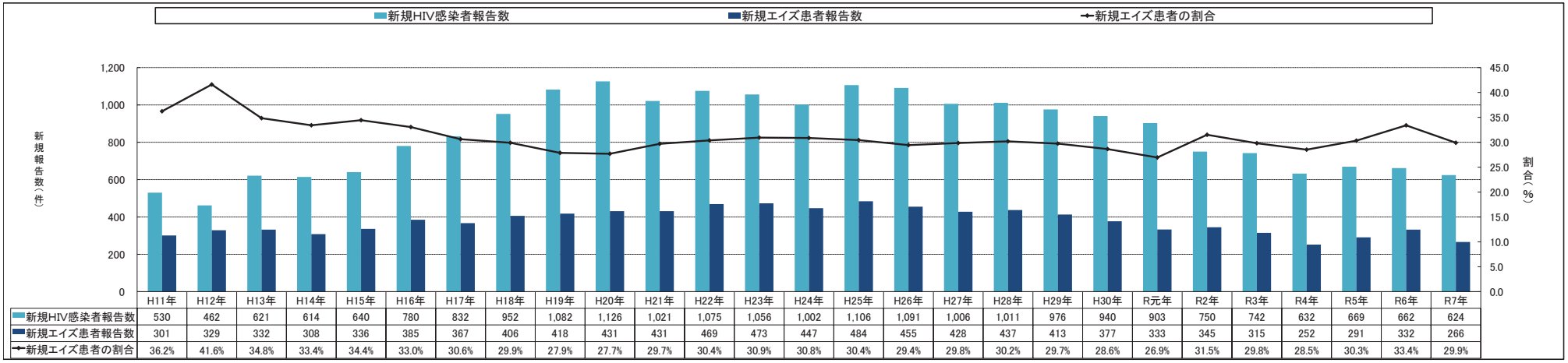
S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合 計
132,004	14,603	17,458	18,002	251,926	245,299	175,837	124,735	172,641	96,735	111,046	103,206	107,266	141,269	108,911	130,153	146,585	161,474	173,651	214,347	230,091	193,271	164,264	163,006	153,583	145,401	150,993	135,282	119,378	123,768	127,830	129,695	66,519	54,551	67,009	86,088	84,144	73,359	4,915,380

※　いずれの表も、各年1月1日から12月31日までの件数を示している。

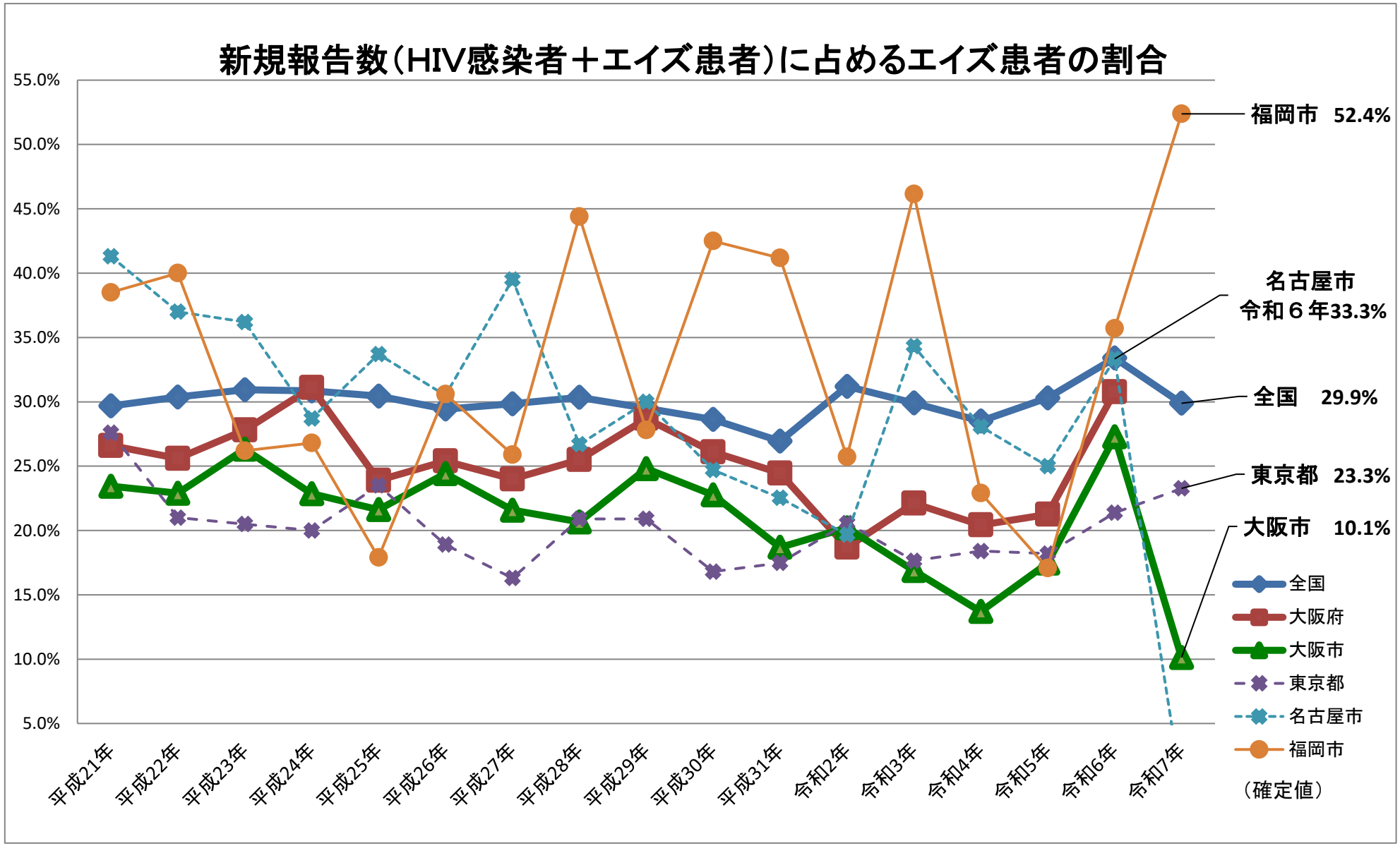
新規HIV感染者・新規エイズ患者報告数、保健所等におけるHIV抗体検査件数等



新規HIV感染者・新規エイズ患者報告数に占める新規エイズ患者報告数の割合

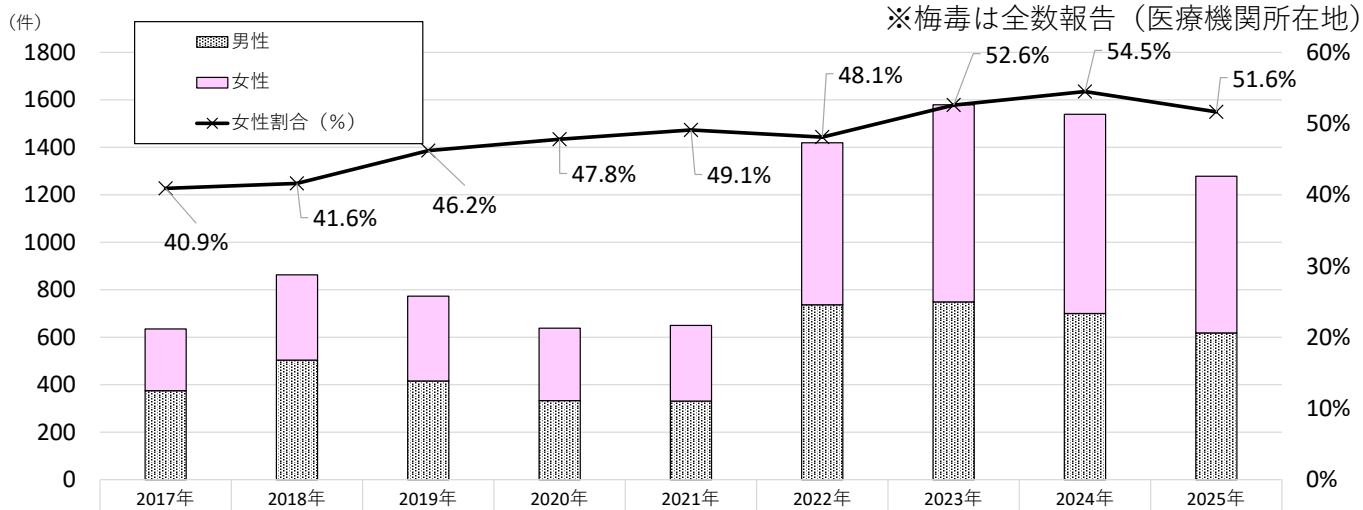


	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
新規HIV感染者報告数	530	462	621	614	640	780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,075	1,056	1,002	1,106	1,091	1,006	1,011	976	940	903	750	742	632	669	662	624
新規エイズ患者報告数	301	329	332	308	336	385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437	413	377	333	345	315	252	291	332	266
新規エイズ患者の割合	36.2%	41.6%	34.8%	33.4%	34.4%	33.0%	30.6%	29.9%	27.9%	27.7%	29.7%	30.4%	30.9%	30.8%	30.4%	29.4%	29.8%	30.2%	29.7%	28.6%	26.9%	31.5%	29.8%	28.5%	30.3%	33.4%	29.9%


新規報告数（HIV感染者＋エイズ患者）に占めるエイズ患者の割合
55.0%
50.0%
45.0%
40.0%
35.0%
30.0%
25.0%
20.0%
15.0%
10.0%
5.0%
平成21年
平成22年
平成23年
平成24年
平成25年
平成26年
平成27年
平成28年
平成29年
平成30年
平成31年
令和2年
令和3年
令和4年
令和5年
令和6年
令和7年
福岡市　52.4%
名古屋市
令和６年33.3%
全国　29.9%
東京都　23.3%
大阪市　10.1%
全国
大阪府
大阪市
東京都
名古屋市
福岡市
（確定値）

梅毒　男女別届出数推移（大阪市）

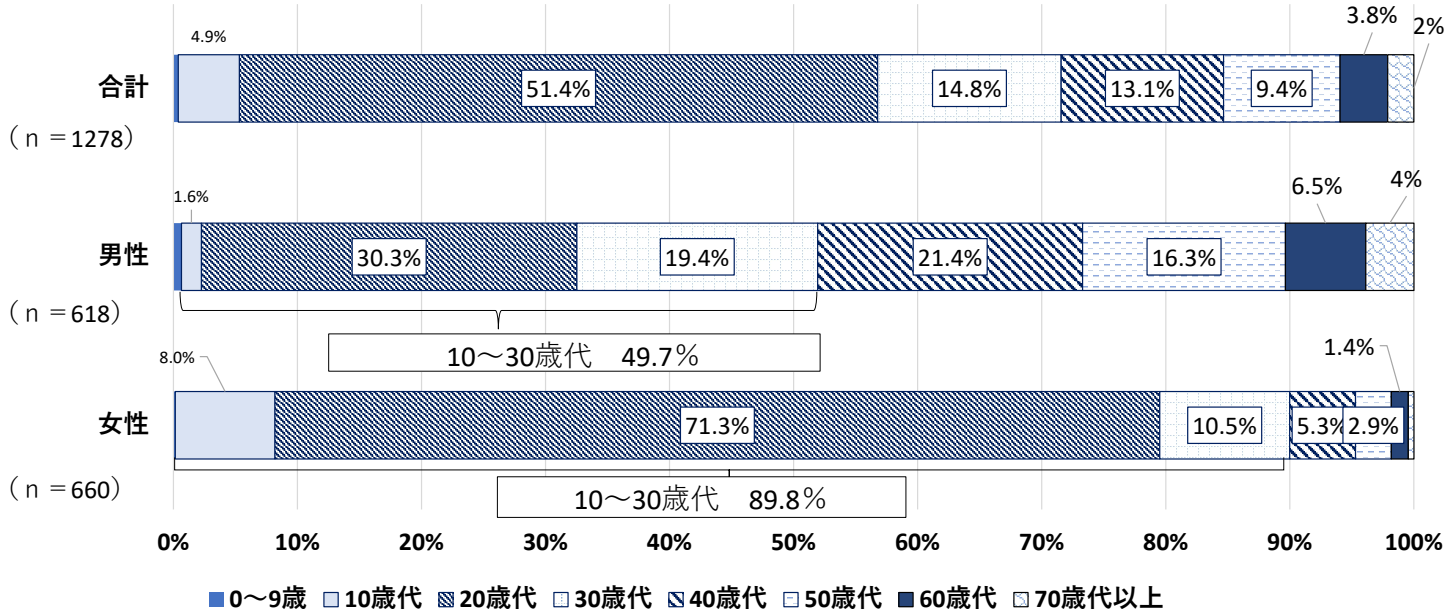
※梅毒は全数報告（医療機関所在地）



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
女性	260	359	357	305	319	682	830	839	660
男性	375	504	416	333	331	737	749	700	618
女性割合（%）	40.9%	41.6%	46.2%	47.8%	49.1%	48.1%	52.6%	54.5%	51.6%

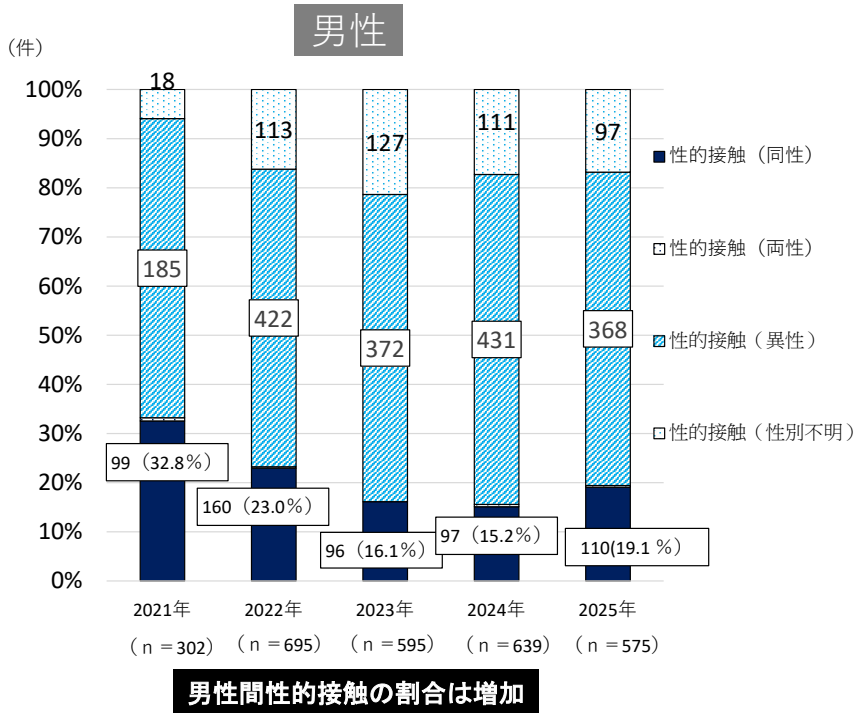
計	**635**	**863**	**773**	**638**	**650**	**1419**	**1579**	**1539**	**1278**
先天梅毒	1	2	2	1	3	1	2	7	5

2025年　男女別年代別届出数

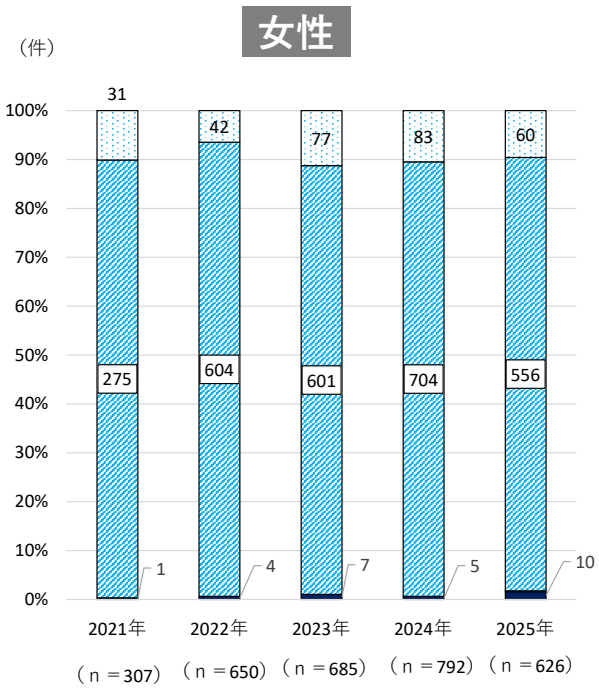


2025年報告のうち先天梅毒を除く最年少男性：16歳　女性：15歳

感染経路別届出数（2021－2025年）（性的接触のみ）

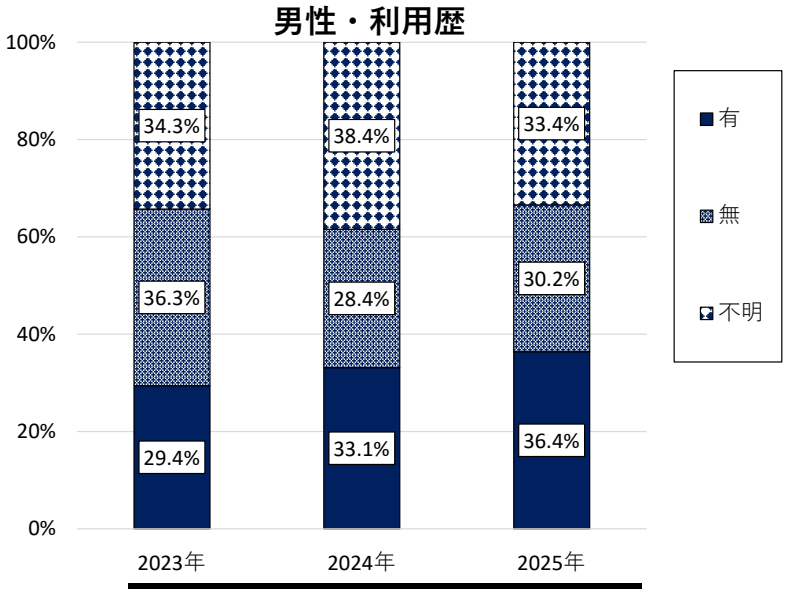


男性間性的接触の割合は増加

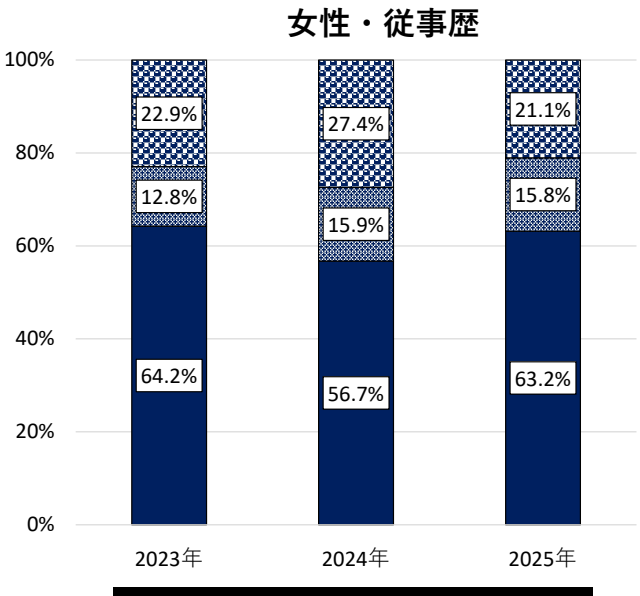


【性風俗産業】（直近6ヶ月以内の従事歴・利用歴）
男性・利用歴と女性・従事歴　報告数推移

2019年より妊娠、HIV感染症合併、梅毒感染の既往、性風俗産業従事歴・利用歴、口腔咽頭病変の有無が追加



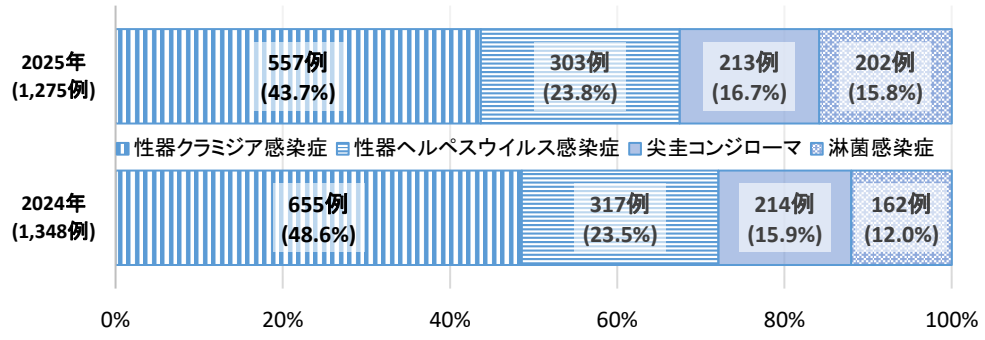
男性のうち「利用歴あり」は増加傾向



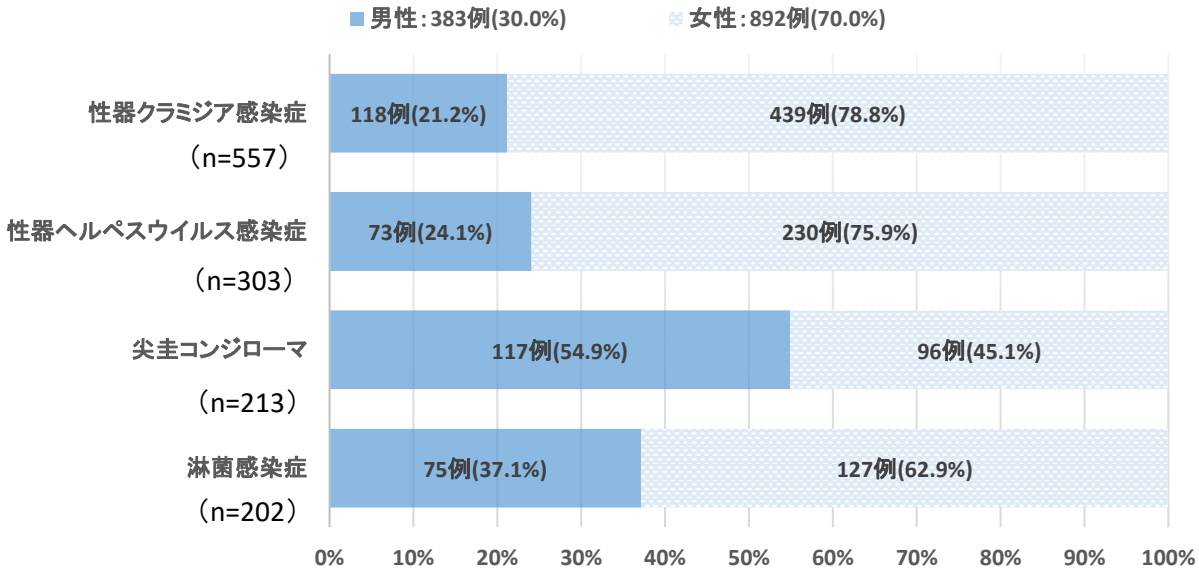
女性のうち「従事歴あり」は横ばい

性感染症定点報告の発生動向（大阪市）

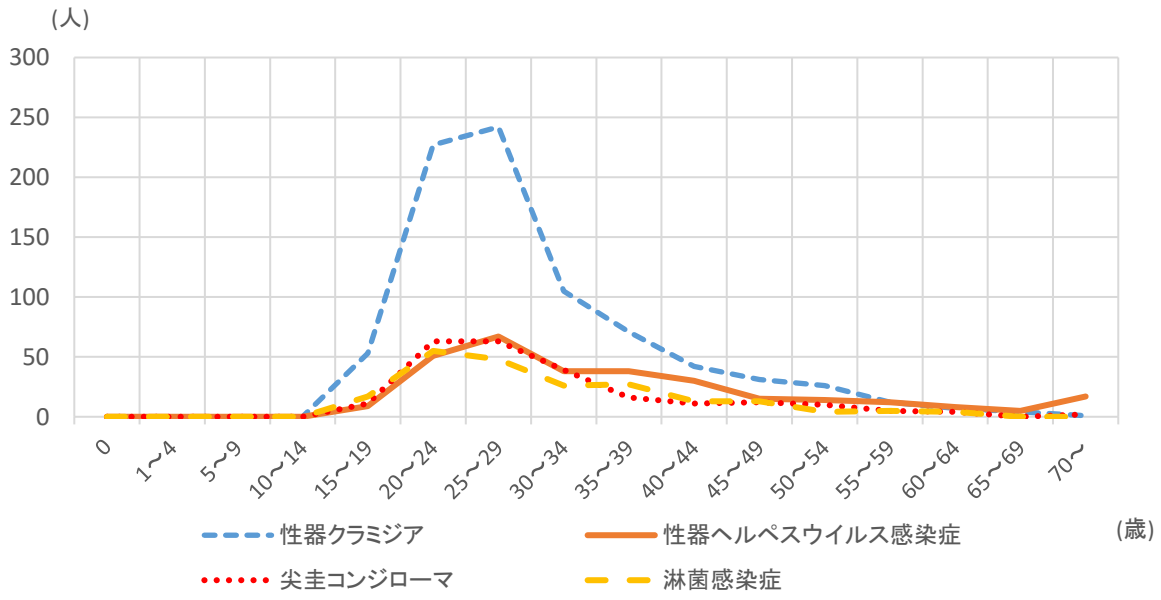
疾患別割合(男女計)



疾患別・男女別件数比較　2025年



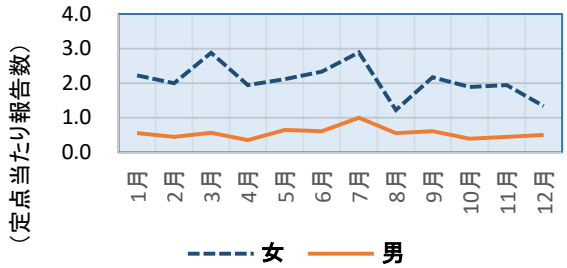
疾患別・年齢別患者報告数（男女計）2025 年



性感染症定点報告の発生動向（大阪市）

１）性器クラミジア感染症

月別定点当たり報告数（2025年）



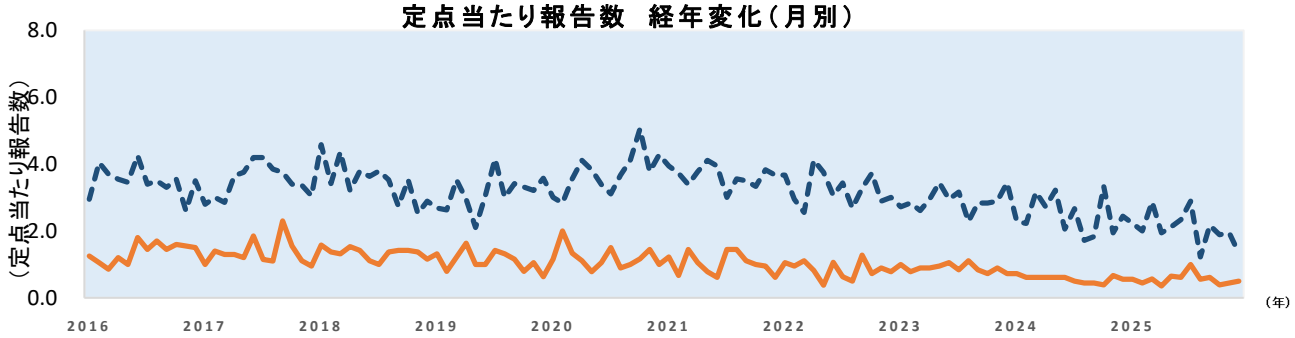
月別定点あたり報告数

月	1	2	3	4	5	6
女性	2.22	2.00	2.88	1.94	2.12	2.33
男性	0.56	0.44	0.56	0.35	0.65	0.61

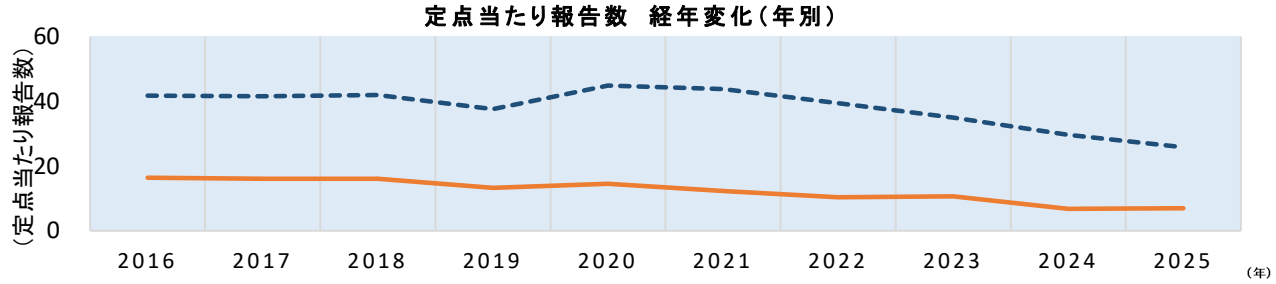
月	7	8	9	10	11	12
女性	2.89	1.22	2.17	1.89	1.94	1.33
男性	1.00	0.56	0.61	0.39	0.44	0.50

年平均	計	10年間の定点あたり数の平均
2.08	24.93	39.88
0.56	6.67	13.87

定点当たり報告数　経年変化（月別）

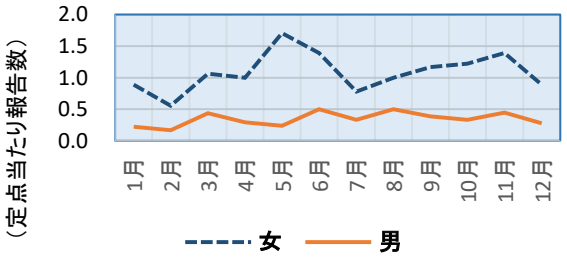


定点当たり報告数　経年変化（年別）



２）性器ヘルペスウイルス感染症

月別定点当たり報告数（2025年）



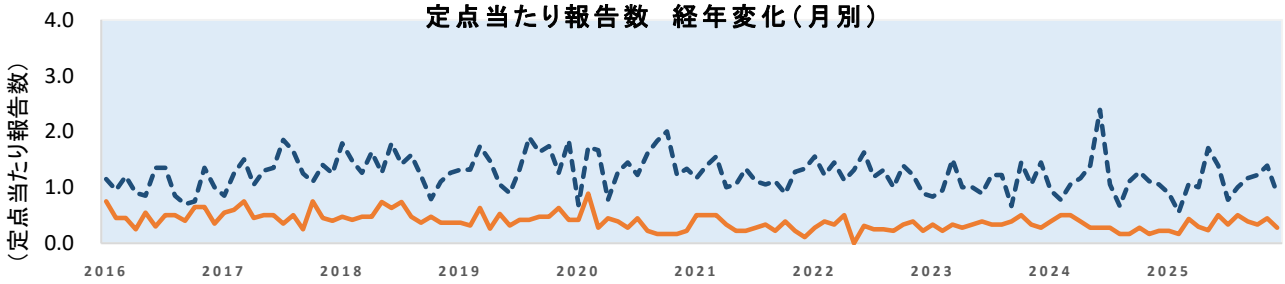
月別定点あたり報告数

月	1	2	3	4	5	6
女性	0.89	0.56	1.06	1.00	1.71	1.39
男性	0.22	0.17	0.44	0.29	0.24	0.50

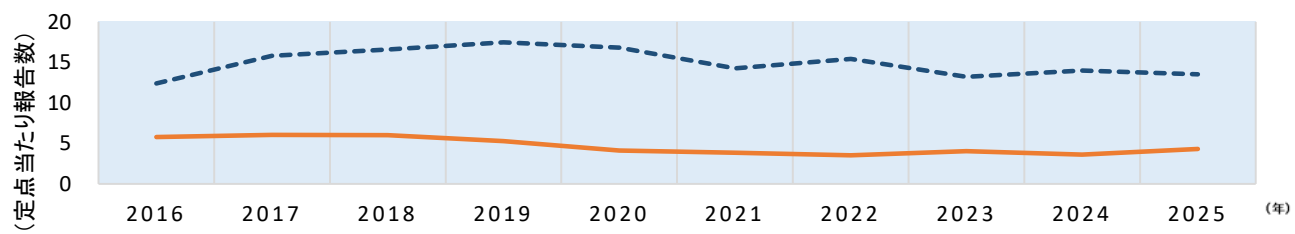
月	7	8	9	10	11	12
女性	0.78	1.00	1.17	1.22	1.39	0.89
男性	0.33	0.50	0.39	0.33	0.44	0.28

年平均	計	10年間の定点あたり数の平均
1.09	13.05	15.53
0.34	4.13	5.83

定点当たり報告数　経年変化（月別）

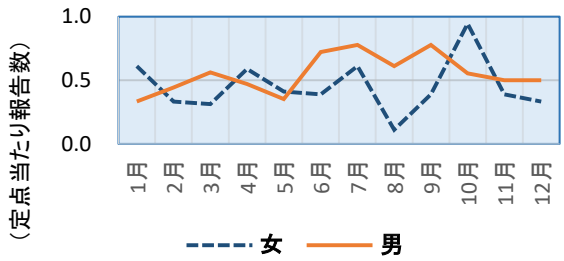


定点当たり報告数　経年変化（年別）



3）尖圭コンジローマ

月別定点当たり報告数（2025年）



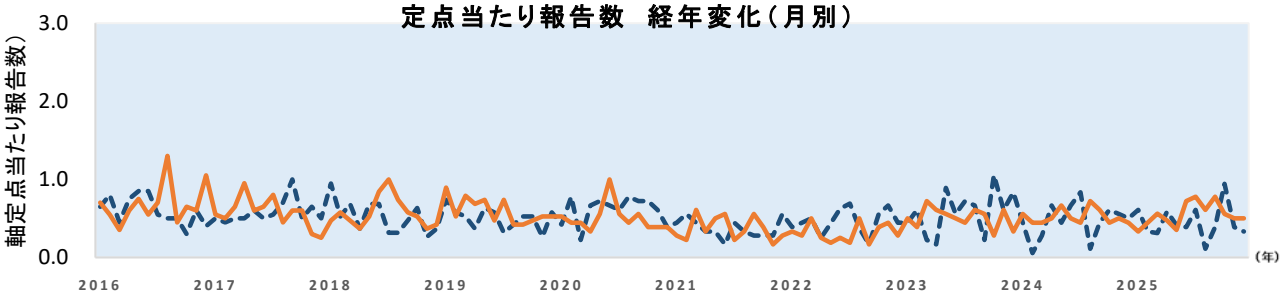
月別定点あたり報告数

月	1	2	3	4	5	6
女性	0.61	0.33	0.31	0.59	0.41	0.39
男性	0.33	0.44	0.56	0.47	0.35	0.72

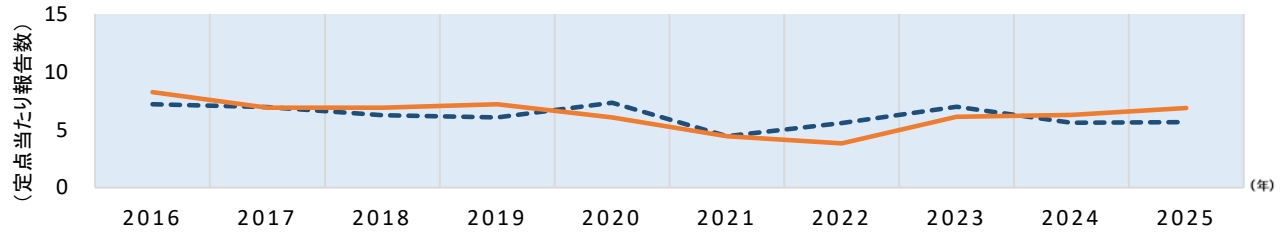
月	7	8	9	10	11	12
女性	0.61	0.11	0.39	0.94	0.39	0.33
男性	0.78	0.61	0.78	0.56	0.50	0.50

年平均	計	10年間の定点あたり数の平均
0.45	5.42	6.79
0.55	6.61	6.44

定点当たり報告数　経年変化（月別）

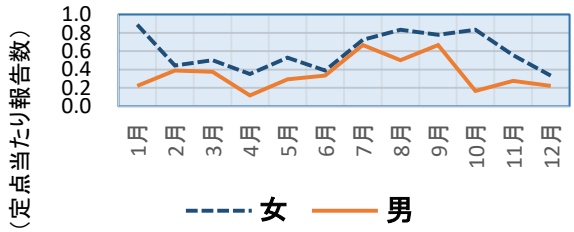


定点当たり報告数　経年変化（年別）



4）淋菌感染症

月別定点当たり報告数（2025年）



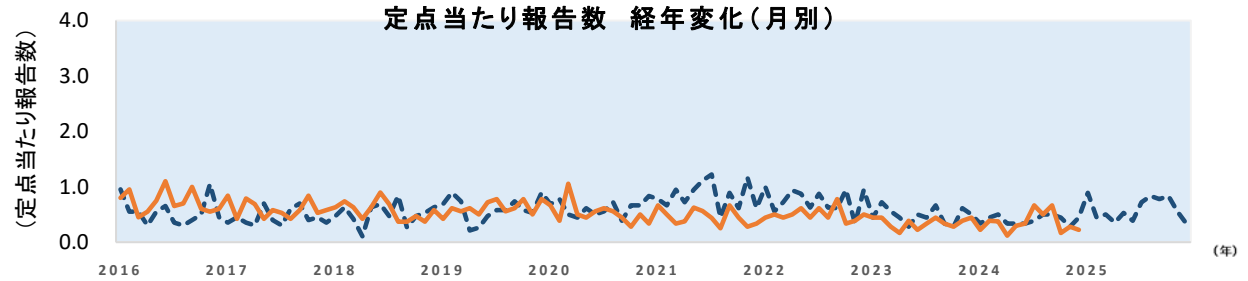
月別定点あたり報告数

月	1	2	3	4	5	6
女性	0.89	0.44	0.50	0.35	0.53	0.39
男性	0.22	0.39	0.38	0.12	0.29	0.33

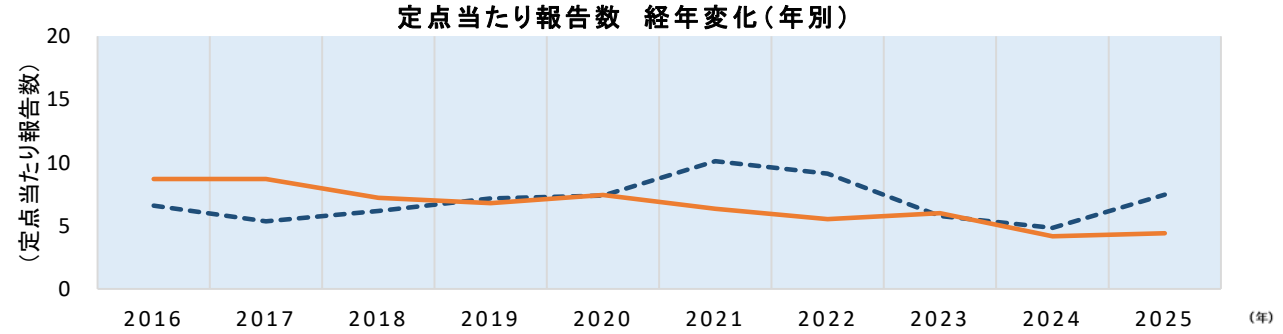
月	7	8	9	10	11	12
女性	0.72	0.83	0.78	0.83	0.56	0.33
男性	0.67	0.50	0.67	0.17	0.28	0.22

年平均	計	10年間の定点あたり数の平均
0.60	7.16	7.28
0.35	7.44	7.59

定点当たり報告数　経年変化（月別）



定点当たり報告数　経年変化（年別）



第４次大阪市エイズ対策基本指針

実績及び評価

目　　次

第４次大阪市エイズ対策基本指針実績及び評価

◇第４次大阪市エイズ対策基本指針　年次（度）別目標値・実績値一覧表・・・22 頁

◇大目標・副次目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24 頁

◇基本施策１　正しい知識の普及啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28 頁

◇基本施策２　ＨＩＶ検査・相談体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・39 頁

◇基本施策３　ＨＩＶ陽性者の生活支援のための保健・医療・福祉の連携強化・46 頁

◇基本施策４　施策の実施状況とその効果の分析・評価・・・・・・・・・・・50 頁

【参考資料】

検査を受ける人を対象としたアンケート結果(令和７年度)　・・・・・参考資料-１頁

令和７年　後天性免疫不全症候群　発生届出医療機関別割合・・・・・参考資料-12 頁

第4次大阪市エイズ対策基本指針　年次(度)別目標値・目標割合について

	令和2年(度)実績値・実績割合	年次(度)別目標値・目標割合				
		令和4年(度)	令和5年(度)	令和6年(度)	令和7年(度)	**令和8年(度)(最終目標)**
大目標						
新規エイズ患者報告数 ※1	19人	19人	19人	18人	17人	**16人以下**
副次目標						
HIV検査受検者数	8,540人	9,232人	9,924人	10,616人	11,308人	**12,000人以上**
MSMのHIV検査受検者数	2,377人	2,615人	2,852人	3,090人	3,328人	**3,500人以上**
新規報告数(HIV感染者＋エイズ患者)に占めるエイズ患者の割合 ※1	※2 21.6%	20%以下	20%以下	20%以下	20%以下	**20%以下**
1　正しい知識の普及啓発						
大阪市ホームページ(HIV等検査のページ)の閲覧数	84,155回	88,363回	92,571回	96,778回	100,986回	**105,000回以上**
MSMの過去6か月間のコンドーム常用割合	30.1%	31%	32%	33%	34%	**35%以上**
MSM受検者で過去に検査を受けたことのある者のうち過去1年の間に受けている者の割合	61.1%	62%以上	64%以上	66%以上	68%以上	**70%以上**
性風俗産業の従事者受検者で過去に検査を受けたことのある者のうち過去6か月の間に受けている者の割合	61.6%	62%以上	64%以上	66%以上	68%以上	**70%以上**
全市立中学校のうち、HIV研修を受講した教職員が在籍する学校の割合	※3 38.6%	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	**70%以上**
HIV研修受講後、受講内容を生徒の教育に活かすと答えた教職員の割合	※3 95.8%	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	**90%以上**
2　HIV検査・相談体制の充実						
HIV検査受検者数	8,540人	9,232人	9,924人	10,616人	11,308人	**12,000人以上**
MSMのHIV検査受検者数	2,377人	2,615人	2,852人	3,090人	3,328人	**3,500人以上**
3　HIV陽性者の生活支援のための保健・医療・福祉の連携強化						
研修受講後、HIV陽性者の受け入れを肯定した福祉関係者数	※3 55.6%	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	**70%以上**

注）※1の実績値及び目標値は、年度(4月～翌3月)ではなく年次(1月～12月)である。

注）※2の実績割合は、平成29年から令和2年までの平均実績割合である。

注）※3の実績割合は、平成29年度から令和2年度までの平均実績割合である。

第4次大阪市エイズ対策基本指針　年次(度)別実績値・実績割合について

	令和2年(度)実績値・実績割合	令和7年(度)目標値・目標割合	年次(度)別実績値・実績割合				
			令和4年(度)	令和5年(度)	令和6年(度)	令和7年(度)	令和8年(度)(最終評価年)
大目標							
新規エイズ患者報告数 ※1	19件	17件	**10件**	**11件**	18件	**8件**	(1月～6月)6
副次目標							
HIV検査受検者数	8540件	11,308件	**13,837件**	**14,575件**	**13,740件**	**12,630件**	－
MSMのHIV検査受検者数	2377件	3,328件	**3,292件**	**3,352件**	**3,434件**	**3,467件**	－
新規報告数(HIV感染者＋エイズ患者)に占めるエイズ患者の割合(%) ※1	※2 21.6%	20以下	**13.7%**	**17.5%**	27.7%	**10.1%**	(1月～6月)20.0%
1　正しい知識の普及啓発							
大阪市ホームページ(HIV等検査のページ)の閲覧数	84,155回	100,986回	**137,745回**	**129,756回**	**117,899回**	**105,995回**	－
MSMの過去6か月間のコンドーム常用割合	30.1%	34%	26.9%	26.1%	25.6%	24.1%	－
MSM受検者で過去に検査を受けたことのある者のうち過去1年の間に受けている者の割合	61.1%	68%以上	59.1%	**67.3%**	**66.1%**	67.4%	－
性風俗産業の従事者受検者で過去に検査を受けたことのある者のうち過去6か月の間に受けている者の割合	61.6%	68%以上	61.3%	61.1%	58.2%	60.1%	－
全市立中学校のうち、HIV研修を受講した教職員が在籍する学校の割合	※3 38.6%	70%以上	**87.4%**	**91.7%**	**99.3%**	**100.0%**	－
HIV研修受講後、受講内容を生徒の教育に活かすと答えた教職員の割合	※3 95.8%	90%以上	**91.5%**	**98.1%**	**97.6%**	**97.6%**	－
2　HIV検査・相談体制の充実							
HIV検査受検者数	8,540件	11,308件	**13,837件**	**14,575件**	**13,740件**	**12,630件**	－
MSMのHIV検査受検者数	2,377件	3,328件	**3,292件**	**3,352件**	**3,434件**	**3,467件**	－
3　HIV陽性者の生活支援のための保健・医療・福祉の連携強化							
研修受講後、HIV陽性者の受け入れを肯定した福祉関係者数	※3 55.6%	70%以上	**78.1%**	**73.2%**	**86.3%**	**75.6%**	－

注）※1の実績値及び目標値は、年度(4月～翌3月)ではなく年次(1月～12月)である。

注）※2の実績割合は、平成29年から令和2年までの平均実績割合である。

注）※3の実績割合は、平成29年度から令和2年度までの平均実績割合である。

令和７年次（度）の実績及び取り組み状況評価

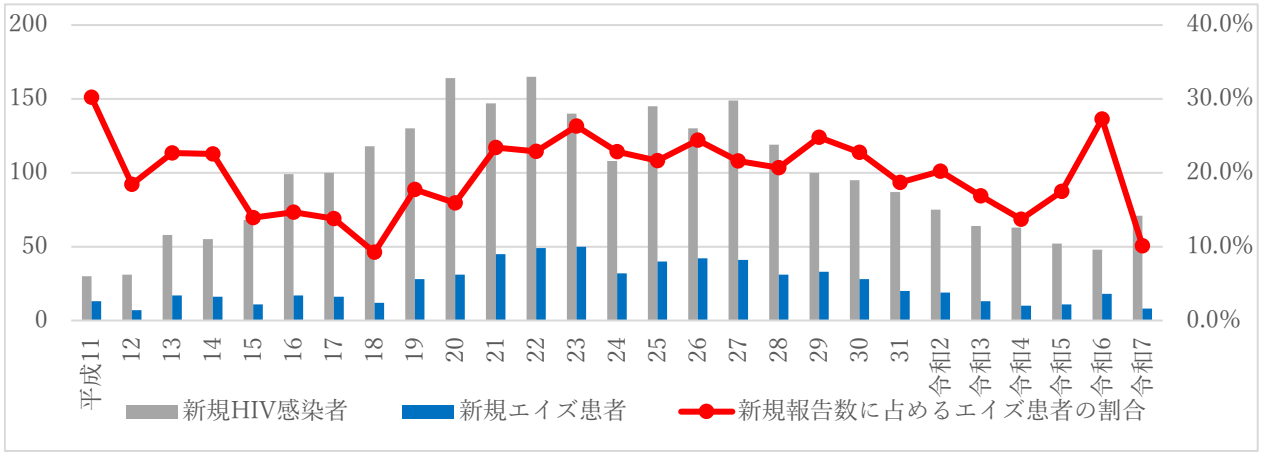
１　大目標・副次目標

大目標

今後５年間でエイズ患者報告数を 15%減少させる
　令和２年：19 件　→　令和８年目標値：16 件以下　　（15%減少：16.15 件）

（基準年）令和２年実績値	（参考）令和３年実績値	年次別実績値				
		令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	令和８年（最終評価年）
19 件	13 件	**10 件**	**11 件**	**18 件**	**８件**	－
年次別目標値		19 件	19 件	18 件	17 件	16 件以下

【大阪市における新規ＨＩＶ感染者・新規エイズ患者年次別報告数推移】



	年	平成23	24	25	26	27	28	29	30	31(令和元)	令和２	令和３	令和４	令和５	令和６	令和７	令和８(1月～6月)
大阪市	新規エイズ患者（人）	50	32	40	42	41	31	33	28	20	19	13	10	11	18	8	6
	新規HIV感染者（人）	140	108	145	130	149	119	100	95	87	75	64	63	52	48	71	24
	エイズ患者割合（%）	26.3	22.9	21.6	24.4	21.6	20.7	24.8	22.8	18.7	20.2	16.9	13.7	17.5	27.3	10.1	20.0

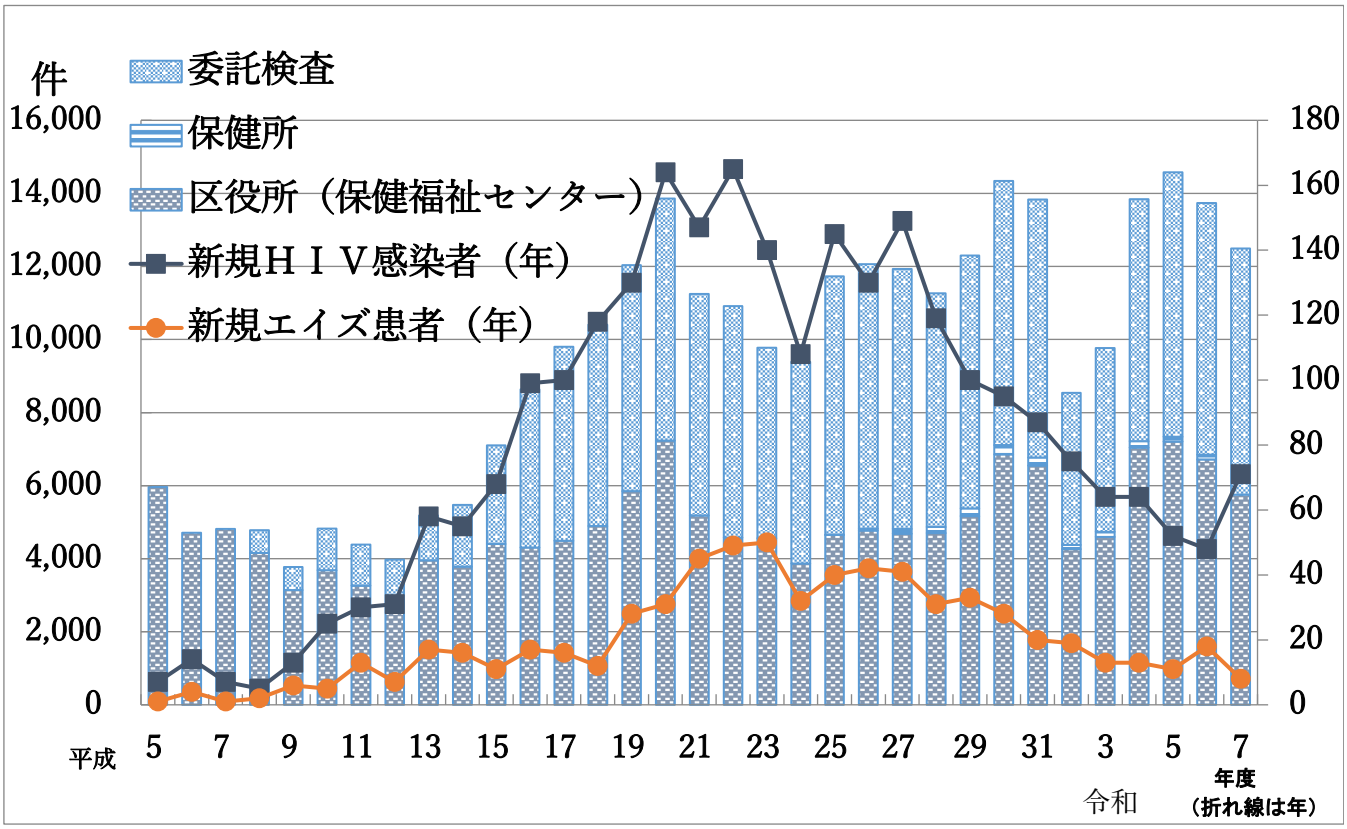
- 令和７年の新規エイズ患者報告数は、令和６年より減少し年次別目標値を達成している。
- 平成 29 年以降、新規ＨＩＶ感染者報告数及び新規エイズ患者報告数は、ともに減少傾向にあったが、令和６年のみ新規エイズ患者報告数は増加に転じた。

副次目標（１）

年間のＨＩＶ検査受検者数を今後５年間で 12,000 件以上にする
令和２年度：8,540 件　→　令和８年度：12,000 件以上

（基準年度）令和２年度実績値	（参考）令和３年度実績値	年度別実績値				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度（最終評価年度）
8,540 件	9,769 件	13,837 件	14,575 件	13,740 件	12,630 件	－
年度別目標値		9,232 件	9,924 件	10,616 件	11,308 件	12,000 件以上

【大阪市におけるＨＩＶ検査受検者数の推移】



➢　令和７年度は、昨年度より受検者数が減少したが、年度別目標値を上回って最終年度目標値を達成した。

副次目標（2）

年間のＭＳＭのＨＩＶ検査受検者数を今後５年間で 50%増加させる

令和２年度：2,377 件(推計値)　→　令和８年度：3,500 件以上（推計値）

(基準年度) 令和２年度 実績値[推計]	(参考) 令和３年度 実績値[推計]	年度別実績値[推計]　カッコ内は全受検者に占めるＭＳＭ受検者の割合				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度 (最終評価年度)
2,377 件 (27.8%)	2,616 件 (26.8%)	**3,292 件** (23.8%)	**3,352 件** (23.0%)	**3,434 件** (25.0%)	**3,467 件** (27.3%)	－
年度別目標値[推計]		2,615 件	2,852 件	3,090 件	3,328 件	3,500 件以上

※ＭＳＭ： Men Who Have Sex with Men（男性間で性的接触を行う者）

- 令和７年度は、年度別目標値を達成した。
- ＭＳＭ受検者の全体に占める割合［推計］、令和６年度に比較すると増加がみられる。

＜ＭＳＭのＨＩＶ検査受検者数　推計人数の算出方法＞

次の①と②の和により推計人数を算出する。

①３区保健福祉センター、委託検査場のＭＳＭ受検者数

「検査をうける人を対象としたアンケート」の結果からＭＳＭ受検割合を算出し、ＨＩＶ検査受検者数に乗じて算定

②ＭＳＭ向けＨＩＶ検査における受検者数

＜参考＞　令和７年度のＭＳＭのＨＩＶ検者数（推計値）の算定例

（３区保健福祉センター・委託検査場のＨＩＶ検査受検者数 12,506 人)×（３区保健福祉センター・委託検査場のアンケートの結果から算出したＭＳＭの割合 26.7%）＋ＭＳＭ向けＨＩＶ検査受検者数 124 人

➡12,506×0.2673＋124＝3466.8

副次目標（3）

新規報告数（ＨＩＶ感染者＋エイズ患者）に占めるエイズ患者の割合を毎年 20%以下にする
平成 29 年～令和２年平均：21.6%　→　毎年 20%以下

（基準年）平成 29 年～令和２年実績割合（平均）	（参考）令和３年実績割合	年次別実績割合				
		令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	令和８年（最終評価年）
21.6%	16.9%	13.7%	17.5%	27.3%	10.1%	－
年次別目標割合		20%以下	20%以下	20%以下	20%以下	20%以下

- 令和７年は、年次別実績割合を達成した。

考察　～大目標・副次目標の達成状況から～

- 大目標、副次目標は達成しており、コロナ禍でＨＩＶ検査受検者数が減少した後、令和４年度以降は増加しコロナ禍前の水準に戻っているが、潜在的なＨＩＶ感染者が発見できていないことが考えられ、エイズで発見される患者の増加が懸念されるため、今後も動向を注視すべきである。
- 2024 年以降、梅毒患者の報告数は減少しているが、今後、梅毒患者の報告数増加に伴い、ＨＩＶ感染者の増加も懸念されるため、梅毒の動向を見据え、梅毒対策も含めたＨＩＶ対策を引き続き実施していく必要がある。

２　基本施策と具体的な取り組み

基本施策１　正しい知識の普及啓発

【事業目標】

１．市民に対し、ＨＩＶ感染症・エイズ・性感染症の正しい知識や検査・相談体制・医療体制等についての情報を広く周知する。

２．ＨＩＶ感染症・エイズに対する正しい知識の普及啓発により、差別や偏見をなくすとともに、個件の感染予防行動がとりやすくなるような地域・学校・職場等の環境を醸成する。

１．広域的な普及啓発

（１）大阪市ホームページ・ＳＮＳ・啓発媒体の充実

《数値目標》大阪市ホームページ（ＨＩＶ等検査のページ）の閲覧数を今後５年間で 25%増加させる

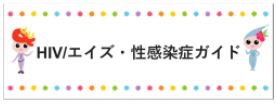
《評価方法》ホームページ解析による１年間の閲覧数の実績により把握

(基準年度) 令和２年度 実績値	(参考) 令和３年度 実績値	年度別実績値				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度 (最終評価年度)
84,155 回	105,790 回	**137,745 回**	**129,756 回**	**117,899 回**	**105,995 回**	－
年度別目標値		88,363 回	92,571 回	96,778 回	100,986 回	105,000 回 以上

➢　令和７年度は、昨年度に引き続き年度別目標値を上回り、最終年度目標値を達成した。

○大阪市ホームページ「ＨＩＶ/エイズ・性感染症ガイド」

https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000549405.html



・令和４年３月よりＨＩＶ・性感染症に関する情報の集約を行う専用ページを作成し、スマートフォンからも検索・閲覧しやすいページに全面改修した。ＨＩＶ・その他性感染症の情報や検査情報、外国人向けページ、関係機関サイトへのリンクなど多様なニーズに対応できるよう情報の充実化を図った。

・検査を受ける件を対象としたアンケート【参考資料Ｐ１～11】では、検査の情報を大阪市ホームページで得たと答えた割合は、33.9%と最も多い。

○ Ｘ（旧 Twitter、以下：X）「大阪市保健所ＨＩＶ・性感染症情報ナビ」https://x.com/osakacity_hiv

・平成 30 年 11 月から、ＨＩＶ・性感染症に関するタイムリーな情報発信のため、Ｘアカウントを開設し、令和８年６月 15 日時点で 301 回発信している

	令和元年 9月11日時点	令和２年 9月８日時点	令和３年 7月１日時点	令和４年 10月27日時点	令和５年 5月18日時点	令和６年 5月13日時点	令和７年 7月31日時点	令和８年 5月21日現在
フォロワー	163 件	362 件	495 件	578 件	606 件	596 件	602 件	**603 件**

令和７年度 投稿実績	合計	（再掲）投稿内容内訳			
		ＨＩＶ	梅　毒	検査情報	その他
投稿回数（全投稿に占める割合）	46	22（48%）	2(4%)	18（39%）	4（9%）
インプレッション※1数（平均）	29265 (636.2)	12,595 (572.5)	3,593 (1,796.5)	11,290 (627.2)	1,787 (446.8)
エンゲージメント※2数（平均）	991 (21.5)	434 (19.7)	79 (39.5)	426 (23.7)	52 (13.0)
エンゲージメント率(%)※3	12.3	3.4	2.2	3.8	2.9

※１インプレッション：当ポストがユーザーのタイムライン上に表示された回数
※２エンゲージメント：ユーザーが当ポストに反応（詳細表示・リポスト等）した回数
※３エンゲージメント率：閲覧者のうち反応した割合（エンゲージメント数÷インプレッション数）

・1 投稿に対するインプレッション数（タイムライン上に表示された回数）が高かったのは、「梅毒」だった。

・1 投稿に対するエンゲージメント数（詳細表示するなどの反応が多かった数）が高かった投稿内容は「梅毒」、エンゲージメント率（閲覧数に対する反応の割合）が高かった投稿内容は「検査情報」だった。

・「その他」はコンドームの内容を投稿

○Instagram「osakacity_hiv_sti（Instagram）大阪市保健所感染症対策課（ＨＩＶ・性感染症専用）」
https://www.instagram.com/osakacity_hiv_sti/

・令和５年３月から、画像や動画を中心とした情報発信のため、Instagram アカウントを開設している。令和８年６月 15 日時点で、49 回投稿している。

・リーチしたアカウント数※1 合計が 3,068 回、インタラクション※2 合計が 57 回、プロフィール※3 合計 407 回、ビュー※4 合計が、5,328 回だった。

※１リーチしたアカウント数：投稿やストーリーズが表示されたユーザーの数
※２インタラクション：投稿への「いいね！」、保存、コメント、シェアの件数から、「いいね！」の取り消し、保存の取り消し、コメントの削除の件数を引いた数
※３プロフィール：投稿にアクションを実行した件が、その後プロフィールにアクセスして実行したアクションの数
※４ビュー：投稿が再生または表示された回数

○繁華街（HEP ナビオ前）で、検査案内のチラシや梅毒リーフレットを配付した他、DJ 協会主催のセーファーセックスに関するイベントを大阪市が後援し、道頓堀グリコ下周辺（とんぼりリバーウォーク）にてコンドーム、梅毒リーフレット、検査案内チラシを配布した。またその様子を、DJ 協会のＸにて配信した。

【課題及び今後の方向性】

・大阪市ホームページの閲覧数は令和７年度も年度別目標を達成しているが、昨年度と比較すると10.1%減少している。検査を受ける人を対象としたアンケートにおいても、検査の情報を大阪市ホームページで得たと答えた割合は、33.9%と最も多いものの令和６年度（34.7%）より 0.8%減少している。今後も閲覧数が増加するように、引き続き情報発信していく必要がある。

・無関心層への情報発信については課題がある。X、Instagram と連携して情報発信するとともに、関心の高い記事に関連付けるなどにより、ＳＮＳの閲覧が増える発信方法の工夫を引き続き行い、大阪市ホームページの閲覧につなげる努力が必要である。

・リーフレット・ポスターなどの啓発媒体により、自分事として認識して検査受検等の行動につながるよう、特に若年者のニーズや現状を把握し、作成や啓発方法を工夫する必要がある。

（２）　Ｕ＝Ｕの認知状況の把握及び周知

○Ｕ＝Ｕの認知状況

年度		検査受検者	
		全体	ＭＳＭ
令和４年度（令和４年 10 月～令和５年３月）	よく知っている	16.7%	28.2%
	聞いたことがあるが中身をよく知らない	24.5%	33.1%
	全く知らない	56.7%	37.7%
令和５年度	よく知っている	20.7%	36.2%
	聞いたことがあるが中身をよく知らない	27.2%	34.7%
	知らない	50.9%	28.6%
令和６年度	よく知っている	24.4%	42.5%
	聞いたことがあるが中身をよく知らない	28.0%	34.3%
	知らない	46.3%	22.7%
令和７年度	よく知っている	25.8%	43.9%
	聞いたことがあるが中身をよく知らない	28.2%	35.2%
	知らない	44.9%	20.5%

年度		教職員 研修受講者	福祉関係者 研修受講者
令和５年度	以前から知っていた	31.4%（n＝132）	20.6%（n＝20）
	前回の本研修ではじめて聞いた	27.3%（n＝115）	－
	はじめて聞いた	41.3%（n＝174）	79.4%（n＝77）
令和６年度	以前から知っていた	34.9%（n＝131）	30.5%（n＝29）
	前回の本研修ではじめて聞いた	25.1%（n＝94）	－
	はじめて聞いた	40.0%（n＝150）	68.4%（n＝65）
令和７年度	以前から知っていた	29.2%（n＝121）	26.9%（n＝21）
	前回の本研修ではじめて聞いた	27.8%（n＝115）	－
	はじめて聞いた	43.0%（n＝178）	75.6%（n＝59）

・令和７年度の検査を受ける件を対象としたアンケートの集計結果より、「よく知っている」25.3%と、令和６年度の 24.4%より 0.9%増加、「聞いたことがあるが中身をよく知らない」は 28.2%と令和６年度の 28.0%より 0.2%増加、「全く知らない」44.9%は令和６年度の 46.3%より 1.4%減少した。ＭＳＭの回答では、「よく知っている」43.9%と令和６年度の 42.5%より 1.4%増加、「聞いたことがあるが中身をよく知らない」35.2%は令和６年度の 34.3%より 0.9%減少している。今後も引き続き、正しく理解してもらえるよう周知が必要である。

・教職員向け研修では、令和３年度よりＵ＝Ｕの内容を研修内で情報提供しており、令和７年度の研修受講後アンケートで、研修前に知っていた割合は 29.2%。令和３～６年度の研修で知った割合が 27.8%、知らなかった割合は 43.0%であった。

・令和７年度の福祉関係者向け研修後のアンケートでは、研修前に知っていた割合は 26.9%と令和６年度の 30.5%より 3.6%減少、研修ではじめて知った割合は、75.6%であった。



Ｕちゃん　びっぴぃ

○Ｕ＝Ｕの周知

・Ｕ＝Ｕに関する説明文を大阪市ホームページ上に掲載している。

・大阪府・大阪府内保健所設置市で作成している啓発冊子「おおさかエイズ情報ＮＯＷ」に掲載している。

・教職員向け研修や福祉関係者向け健康教育、大阪市職員への内部研修などでＵ＝Ｕについて情報提供している。

【課題及び今後の方向性】

・Ｕ＝Ｕの認知度（「よく知っている」と回答した人の割合）は、検査受検者全体でみると 25.8%であり増加傾向であるが、「聞いたことがあるが中身をよく知らない」と答えた割合が 28.2%と「よく知っている」と回答した人の割合が上回っている。さらに認知度が向上するように啓発を進める。

・ＭＳＭのＵ＝Ｕに対する認知度は全体と比較して高く、「聞いたことがあるが中身をよく知らない」と答えた割合より上回っている。引き続き、Ｕ＝Ｕの本来の意味やコンドームの使用の必要性についてなどの理解につながるよう周知が必要である。

（３）地域・学校・職場への普及啓発

・「大阪市出前講座」に登録し、依頼があれば健康教育を実施している。

・区保健福祉センターでは、学校での健康教育の実施の他、検査普及週間及び世界エイズデーに際し、区役所内での啓発ブースの設置や、管内にある教育機関へ啓発媒体の配布、広報誌への掲載、ＳＮＳでの発信等を行った。

【課題及び今後の方向性】

・職場等で、感染者に対し、適切に対応できるよう普及啓発が必要である。引き続き、ＳＮＳや広報、出前講座等で正しい知識の普及啓発を行う。

・ＨＩＶ／エイズについて正しく理解し、差別や偏見がなくなるような地域・学校・職場等の環境を醸成するよう、引き続き検査普及週間や世界エイズデーに関連した啓発を行う。

（４）大阪府及び大阪府内保健所設置市との連携

〇エイズ予防週間実行委員会（大阪府・大阪府内保健所設置市）による啓発

・公益財団法件エイズ予防財団主催「大阪エイズウィークス 2025」に参加し、賛同した団体・企業と協働して、企画の実施や広く市民に対する広報を展開した。

・「YouTube」「Instagram」広告にて啓発動画配信、動画作成、啓発用ポケットティッシュ・のぼりの作製を行った。

・大阪エイズ啓発フェスティバルや、FM802 開催イベント「ＦＵＮＫＹ　ＭＡＲＫＥＴ」、セレッソ大阪の試合において啓発物品の配布を行った。

・世界エイズデーに併せて大阪城、太陽の塔、旧堺燈台のライトアップを行った。

〇大阪府・大阪府内保健所設置市と協働で冊子を作成

・エイズ普及啓発冊子「おおさかエイズ情報ＮＯＷ」を作製し（令和７年度大阪市分：3,620 冊）、検査会場、健康教育等で活用。

・陽性者支援向け冊子「たんぽぽ」を２年に１回作製（令和６年度大阪市分：320 冊）し、検査会場等で活用している。

・上記冊子の内容をホームページにてデジタルブック化して掲載している。

【課題及び今後の方向性】

・他自治体と啓発等の取り組みについて、情報交換・連携を行っていく。

２．ターゲット層への普及啓発

（１）個別施策層

ア　ＭＳＭ対象

《数値目標》ＭＳＭの過去６か月間のコンドーム常用割合を今後５年間で５％増加させる

《評価方法》大阪市が実施したＨＩＶ検査会場での受検者アンケートにより把握

(基準年度) 令和２年度 実績割合	(参考) 令和３年度 実績割合	年度別実績割合				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度 (最終評価年度)
30.1%	25.1%	26.9%	26.0%	25.6%	24.1%	－
年度別目標割合		31%	32%	33%	34%	35%以上

➢　令和６年度は、年度別目標割合を達成しなかった。

《数値目標》ＭＳＭ受検者で過去に検査を受けたことのある者のうち過去１年の間に受けている者の割合を今後５年間で 70%以上にする

《評価方法》大阪市が実施したＨＩＶ検査会場での受検者アンケートにより把握

(基準年度) 令和２年度 実績割合	(参考) 令和３年度 実績割合	年度別実績割合				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度 (最終評価年度)
61.1%	59.6%	59.1%	**67.3%**	**66.1%**	67.4%	－
年度別目標割合		62%以上	64%以上	66%以上	68%以上	70%以上

- 令和７年度は、年度別目標割合は達成しなかったが、令和６年度より 1.3%増加した。

○ＭＳＭに対する普及啓発の主な取り組み

ＭＡＳＨ大阪（大阪地区のＭＳＭに対しＨＩＶ・性感染症の感染を予防するために働きかけ、ＭＳＭにおけるセクシャルヘルスの増進を目的に活動をしている団体）と協働し、ＮＧＯ等の経験やノウハウを活かした効果的な啓発活動を行っている。

・ＭＳＭの中高年向け季刊誌「南界堂通信」をＭＡＳＨ大阪に委託し、検査の周知や正しい知識の普及を目的に、年２回（夏・冬）を発行している。

・ＭＳＭ向けＨＩＶ検査「dista でピタッとちぇっくん」および北区夜間検査のフライヤー作成と関連商業施設（ゲイバー、ハッテン場、その他関連店など）等への配布をＭＡＳＨ大阪へ依頼し、コミュニティのノウハウを活かした検査受検啓発をおこなっている。

・若年層への普及啓発として、MSM 向けアプリにポップアップ広告を掲載している。

・ＭＳＭ向けＨＩＶ検査では、ＨＩＶや梅毒の症状、感染経路、適切なコンドームの使用方法、定期的な検査受検、曝露前予防投薬（以下：ＰｒＥＰ）・Ｕ＝Ｕに関する知識等に関して相談対応及び予防啓発を行っている。

○イベント検査において、コンドームや啓発物品を配付した。

【課題及び今後の方向性】

・ＭＳＭ対象のコンドームの常用率、定期的な検査受検率は、令和５年度と比較し減少がみられた。引き続き、検査結果説明時にセーファーセックスや定期的な検査受検等についての予防啓発を行う。

・関係団体と引き続き連携し、コンドームの常用や年１回以上の定期受診の必要性を強調した啓発媒体の配布や検査場の周知・実施等を行う。

イ　性風俗産業の従事者対象

《数値目標》性風俗産業の従事者受検者で過去に検査を受けたことのある者のうち過去６か月の間に受けている者の割合を今後５年間で 70%以上にする

《評価方法》大阪市が実施したＨＩＶ検査会場での受検者アンケートにより把握

(基準年度) 令和２年度 実績割合	(参考) 令和３年度 実績割合	年度別実績割合				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度 (最終評価年度)
61.6%	65.4%	61.3%	61.1%	58.5%	60.1%	－
年度別目標割合		62%以上	64%以上	66%以上	68%以上	70%以上

➢　令和７年度は年度別目標割合を達成しなかったが、令和６年度より 1.6%増加した。

○性風俗産業の従事者に対する普及啓発の主な取り組み

性風俗などで働くセックスワーカーの健康と安全のために活動する団体（SWASH）と連携し、性風俗産業従事者の現状把握やノウハウを生かした効果的な啓発に取り組んでいる。

・梅毒に関する記事を協働で作成しＳＷＡＳＨが運営する情報サイトに掲載している。
・ホームページのリンクやＸフォローやリポストをして、性風俗産業従事者へ情報が届きやすいよう工夫している。
・若年女性向けに、ホームページ上に専用ページを開設した他、コンドームの啓発のショート動画を作成し、大阪市ホームページ、X、Instagram に掲載した。

【課題及び今後の方向性】

・性風俗産業の従事者の定期的な検査受検率はほぼ横ばいであり、引き続き、検査結果説明時にセーファーセックスや定期的な検査受検等についての予防啓発を行うとともに、より効果的な啓発方法を性風俗産業従事者の支援団体等と連携し検討する。
・大阪市における梅毒発生動向では、女性の６割以上が性風俗産業従事ありと報告があり、梅毒等の性感染症予防啓発も合わせて行う必要がある。
・性風俗産業従事者の支援団体等との連携により、性風俗従事者の現状把握を行い、より効果的な普及啓発を行う。

ウ　薬物使用者対象

府下の保護司が集まる機会で、健康教育の勧奨リーフレットと、大阪市こころの健康センターが作成した依存症の情報と相談先をまとめたリーフレット「薬物の問題でお困りの方へ」の配付を依頼した。

【課題及び今後の方向性】

・啓発媒体の作成や出前講座等について検討が必要であり、薬物依存症者への支援を行っている団体や関係機関等と引き続き情報収集等を行っていく。

（２）青少年対象

ア　学校現場での教育の促進

○ＨＩＶ感染症・エイズに関する健康教育［実施件数(実施回数)］

対象	(参考) 平成 30 年度	(参考) 令和３年度	令和５年度	令和6年度	令和７年度
小学生(一部教職員・保護者を含む)	77(1)	50(1)	0(0)	0 (0)	0 (0)
中学生（一部教職員・保護者を含む)	3,144(21)	635(5)	410(3)	1,395(10)	1,259 （９）
高校生（一部教職員を含む)	481(2)	262(2)	757(3)	78(1)	30 （１）
大学生	577(4)	739(4)	1386(4)	1,005(4)	1,218 （５）
専門学校生・短期大学生	164(4)	64(1)	106(3)	146(3)	176 （５）
教職員	306(1)	512(1)	655(1)	840(1)	768 （１）
合計	4,749(33)	2,262(14)	3,314(14)	3,464(19)	3,451 (21)

・小中高生や専門学校生等への健康教育は学校からの要請を受けて区保健福祉センターが中心に行っており、保健所は講演資材の提供・技術的支援を行っている。
・各区保健福祉センターにおいて、専門学校等へ啓発資材の配布を行っている。

○教職員向け研修「学校におけるＨＩＶ・性感染症講習会」

教育委員会事務局と連携し、市立小・中学校の教職員に対しＨＩＶ感染症・エイズ・性感染症に関する研修を実施した。

《数値目標》全市立中学校のうち、ＨＩＶ研修を受講した教職員が在籍する学校の割合を毎年 70%以上にする

《評価方法》教職員向けのＨＩＶ研修実績により把握

(基準年度) 平成 29 年度 ～令和２年度 実績割合（平均)	(参考) 令和３年度	年度別実績割合				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度 (最終評価年度)
38.6%	80.0% (104/130 校)	**87.4%** (111/127 校)	**91.7%** (122/133 校)	**99.3%** (133/134 校)	**100.0%** (133/133 校)	－
年度別目標割合		70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上

➢　令和７年度は、年度別目標割合を達成した。

《数値目標》ＨＩＶ研修受講後、受講内容を生徒の教育に活かすと答えた教職員の割合を毎年 90%以上にする

《評価方法》教職員向けのＨＩＶ研修後のアンケートにより把握

(基準年度) 平成 29 年度 ～令和２年度 実績割合（平均)	(参考) 令和３年度	年度別実績割合				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度 (最終評価年度)
95.8%	88.2%	**91.5%**	**98.1%**	**97.6%**	**97.6%**	－
年度別目標割合		90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

➢　令和７年度は、年度別目標割合を達成した。

・研修受講時期は、夏休みを含む時期に各学校で受講できるようオンデマンド研修を実施した。教育委員会事務局より各校１名以上の受講を呼びかけたため、100.0％の小・中学校が受講した。（小学校　504 名・中学校　211 名・合計 69 名）
・令和６年度より大阪市立幼稚園（幼稚園職員）も対象に含め、51 名受講（51 校中 51 校受講）があった。
・受講者の内訳は、管理職 10.9％、養護教諭 49.6％、保健主事 6.7％、教諭 34.9％であった。
・研修の内容は、大阪市保健所より「ＨＩＶ/エイズ・性感染症について」の講義に加え、外部講師として日高庸晴氏（宝塚大学　教授）に「学校現場での HIV/エイズ・性教育を考える～LGBTQ の児童生徒の存在を前提にして～」をテーマにご講義いただいた。
・今後もこのような講習会に参加したいかという質問に対し、参加したいと回答した割合が 97.9％であり、内容は適切であったと評価できる。
・大阪市教育委員会が発行した「生きる力を育む『性に関する指導』の手引き」では、この研修を市立小学校・中学校教職員の校内研修として位置づけており、連携して実施している。

○エイズ予防啓発冊子「エイズのはなし」
・市立中学校３年生を対象に配付した（令和７年度　19,500 冊）。冊子には、大阪市ホームページの「ＨＩＶ／エイズ・性感染症ガイド」や「コンドームの使い方」にリンクするようＱＲコードを掲載するなど、ホームページで正しい情報が得られるよう工夫している。
教職員向け研修のアンケートによると、「授業で活用している」31.9%、「生徒へ配付のみしている」40.7%、令和６年度は「授業で活用している」32.9%、「生徒へ配付のみしている」39.5％であり、授業での活用割合は横ばいである。
・中学生向けと青少年以上向けの冊子を作成し、デジタルブックをホームページ上に掲載している。
・教職員向けに「エイズのはなし」指導の手引きを作成し、教職員向けのポータルサイトに掲載している。活用状況は、37.2％であった。引き続き活用を促していく。

【課題及び今後の方向性】
・大阪市教育委員会では、「生きる力を育む『性に関する指導』の手引き」に基づき各学校において性教育を実施することを推進している。その一環として、ＨＩＶ・性感染症予防教育も発達段階に応じて他教科と連携させた教育が必要である。引き続き、教育委員会事務局と連携し、教職員に対する研修や教育資材の提供を充実させていく必要がある。

イ　青少年に対する正しい知識の普及
・大阪市ホームページ「ＨＩＶ／エイズ・性感染症ガイド」では、青少年が利用することの多いスマートフォンでの見やすさ・使いやすさを重視し、基本的な知識や検査・相談に関する情報の入手できるよう工夫している。
・ＨＩＶ感染症・エイズ・性感染症に対する理解を深め、誤った認識やイメージを変えられるようなポスター・リーフレット・動画等の啓発媒体を作成し広く啓発している。
・令和４年度以降は、梅毒報告数が急増しているため、各区の成件の日記念のつどいでの梅毒

啓発ティッシュの配布を、地下鉄掲示板における梅毒啓発ポスター掲示した。令和５年度以降、セレッソ大阪の試合会場での啓発媒体の配布など、若年者をターゲットに広く啓発を行い、それらの啓発媒体には、大阪市ホームページに二次元コードでリンクさせて正しい情報を閲覧できるよう工夫した。

・ＨＩＶ検査普及週間に合わせて、大阪府専修学校各種学校連合会（連携機関：165 校）、大学コンソーシアム大阪（連携機関：42 校）を通じて各教育機関へ検査動画の配信を依頼した。

【課題及び今後の方向性】

・若年層（特に高校卒業後の時期）へ情報発信する機会が少ないため、学校教育の中での普及啓発の機会がある時期から十分に普及啓発を行い、高校卒業後の時期においても継続し正しい知識を持てるように教育委員会事務局との連携をし、情報発信を行う。

・梅毒患者報告が若年者を中心に急増していることから、ＨＩＶと合わせて梅毒等性感染症に関する普及啓発が重要である。

・引き続き、大阪市ホームページにて正しい知識の情報発信を行うとともに、啓発媒体には大阪市ホームページのＱＲコードを掲載するなど、閲覧につながるような工夫が必要である。

（３）外国人対象

・多言語版（英語・中国語・ベトナム語・フィリピン語・韓国語）で検査相談情報のリーフレットを作成し、ホームページに掲載するほか、国際交流センター、大阪出入国在留管理局、技能実習機構など関係機関へ配架依頼をしている。

・令和４年度より、国際交流センターのメールマガジンで、６月のＨＩＶ検査普及週間と 12 月の世界エイズデーに関するメールを多言語で送信し、同じ文面を X でも発信した。

＜国際交流センターメールマガジン配信日・件数＞

	令和７年５月 27 日	令和７年 12 月２日	令和６年６月 28 日	令和６年 12 月３日
日本語	1,675	1,651	1,675	1,712
英語	673	672	683	678
中国語	348	334	350	349
韓国・朝鮮語	252	247	256	255
合計	2,948	2,904	2,964	2,994

・国際交流センターにおいて、多言語版リーフレットの設置を依頼している。

・イベント検査において通訳付結果説明とし、１名の受検者に対し中国語の通訳により結果説明を行った。

・日本語学校の教員向け結核研修にて、ＨＩＶ・性感染症について検査案内を中心に情報提供を行った。

・外国人の理解を深め、安心して相談できる体制を整えるため、相談対応する区保健福祉センター保健師・検査従事看護師への研修を実施した。
・日本語学校における結核健診時に、多言語版の検査情報リーフレットや啓発物品を配布した。
・大阪出入国在留管理局実施の「外国人のための無料何でも相談会」にて検査情報リーフレットの配布をし、相談ブースを設けた。

【課題及び今後の方向性】
・外国人が理解できる言語で検査や相談、医療が受けられるような体制となっているか、情報発信が十分に出来ているか、十分な検証を行う必要がある。
・ＮＧＯ等関係団体・関係機関と連携し、検査相談体制を整え、効果的な普及啓発を行う。

基本施策２　ＨＩＶ検査・相談体制の充実

【事業目標】

１．市民がＨＩＶ感染を早期に把握できるよう、利便性にも配慮し、安心して検査・相談が受けられるような検査・相談体制を構築する。

２．市民や医療機関等に対し、検査・相談体制について、あらゆる機会を通じて広く周知する。

【具体的な取り組み実績】

（１）常設検査・相談の体制整備

○大阪市における常設検査体制

＜３区保健福祉センター・委託検査場　検査実施スケジュール（令和７年度）＞

検査場所・所在地・電話	最寄駅	検査項目		結果返却日	予約	月	火	水	木	金	土	日
北区役所 **（保健福祉センター）　２階** 電話　06-6313-9882	JR環状線 天満駅 または Osaka Metro 堺筋線 扇町駅 2-B出口	通常検査	ＨＩＶ 梅毒 クラミジア	（注１） 原則１週間後 検査実施日時	予約不要	9：30 ～ 11：00	－	14：00 ～ 15：30	－	9：30 ～ 11：00 （注３） 夜間検査あり	－	－
中央区役所 **（保健福祉センター）　２階** 電話　06-6267-9882	Osaka Metro 堺筋線・中央線 堺筋本町駅 3番出口					－	9：30 ～ 11：00	9：30 ～ 11：00	9：30 ～ 11：00	－	－	－
淀川区役所 **（保健福祉センター）　２階** 電話　06-6308-9882	阪急電鉄 十三駅 東口					14：00 ～ 15：30	9：30 ～ 11：00	－	－	－	－	－
中央区役所 **（保健福祉センター）　２階** 電話　06-6267-9882	Osaka Metro 堺筋線・中央線 堺筋本町駅 3番出口	即日検査	ＨＩＶ のみ	（注２） 当日の 約２時間後		－	－	－	－	14：00 ～ 15：00 （第１金曜日のみ実施）	－	－
chot CAST　チョット キャスト **（大阪検査相談・啓発・支援センター）** 中央区東心斎橋１-７-30 21心斎橋ビル４階 **【問合せ・検査実施】** **スマートらいふクリニック** 電話　06-4708-5035 （検査実施時間帯のみ）	Osaka Metro 御堂筋線 心斎橋駅 ５・６番出口 または Osaka Metro 堺筋線 長堀橋駅 ７番出口	通常検査	ＨＩＶ 梅毒 Ｂ型肝炎	原則１週間後 検査実施日時		－	18：00 ～ 19：50 【先着50名】	－	－	－	－	－
		即日検査		（注２） 当日の １～２時間後	（注４） 要予約	－	－	－	18：00 ～ 19：30	－	14：00 ～ 15：30	14：00 ～ 15：30 （注５） 通訳付検査

・３区保健福祉センターでは、予約不要、北区夜間検査のみ定員を設けている。

・委託検査（府市共同事業）は、火曜日は予約不要、木・土・日は要予約（ＷＥＢ予約）としている。

＜３区保健福祉センター・委託検査場・コミュニティセンターdista　受検者数及び陽性者数・陽性率＞

		(参考) 平成 31 年度	(参考) 令和３年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
保健福祉センター （３区合計）	受検者数	6,554 件	4,594 件	7,209 件	6,719 件	5,819 件
	陽性者数	22 件	15 件	12 件	12 件	10 件
	陽性率	0.34%	0.33%	0.17%	0.18%	0.17%
委託検査場 (chot CAST)	受検者数	7,066 件	5,031 件	7,235 件	6,889	6,739 件
	陽性者数	34 件	24 件	27 件	25 件	31 件
	陽性率	0.48%	0.48%	0.34%	0.36%	0.46%
コミュニティセンター dista	受検者数	210 件	144 件	131 件	119 件	124 件
	陽性者数	５件	２件	１件	０件	２件
	陽性率	0.95%	1.39%	0.76%	0.0%	1.6%
保健所 イベント 検査	受検者数	－	－	－	13 件	15 件
	陽性者数	－	－	－	0 件	0 件
	陽性率	－	－	－	0.0%	0.0%
合計	受検者数	13,830 件	9,769 件	14,575 件	13,727 件	12,697 件
	陽性者数	61 件	41 件	40 件	37 件	43 件
	陽性率	0.44%	0.42%	0.27%	0.27%	0.34%

３区保健福祉センターにおける検査時間帯別受検者数及び平均（臨時検査は除く）＞

		実施回数（回）	受検者件数（件）	１回あたりの 平均受検者件数 （件）
(参考) 平成 30 年度	午前	293 回	4,258 件	14.5 件
	午後	93 回	1,998 件	21.5 件
	午後（即日）	11 回	244 件	22.2 件
	夜間	4 回	345 件	86.3 件
(参考) 令和３年度	午前	292 回	3,010 件	10.3 件
	午後	94 回	1,279 件	13.6 件
	午後（即日）	12 回	146 件	12.2 件
	夜間	3 回	159 件	53.0 件
令和４年度	午前	292 回	4,671 件	16.0 件
	午後	97 回	1,960 件	20.2 件
	午後（即日）	12 回	134 件	11.2 件
	夜間	3 回	279 件	93.0 件
令和５年度	午前	292 回	4,828 件	16.5 件
	午後	95 回	2,083 件	21.9 件
	午後（即日）	10 回	86 件	8.6 件
	夜間	2 回	188 件	94 件
令和６年度	午前	293 回	3,791 件	12.9 件
	午後	97 回	1,839 件	19.0 件
	午後（即日）	10 回	73 件	7.3 件
	夜間	4 回	264 件	66 件

令和７年度	午前	291 回	3914 件	13.5 件
	午後	92 回	1,508 件	16.4 件
	午後（即日）	11 回	79 件	7.2 件
	夜間	４回	251 件	62.8 件

・新規ＨＩＶ感染者・新規エイズ患者報告における届出医療機関のうち、検査場（保健所・保健福祉センター、委託検査場）が占める割合は、令和６年 43.8%であった。【参考資料 P12～13】
・検査場でのアンケート結果：【参考資料Ｐ１～11】

＜３区保健福祉センターでの通訳を必要とする外国人受検者数＞検査申込書より

		北区	中央区	淀川区	計
令和４年度	全受検者	3,789 件	2,238 件	1,017 件	7,044 件
	通訳を必要とする外国人受検者	38 件（1.0%）	23 件（1.0%）	20 件（2.0%）	81 件（1.1%）
令和５年度	全受検者	3,819 件	2,252 件	1,138 件	7,209 件
	通訳を必要とする外国人受検者	79 件（2.1%）	39 件（1.7%）	10 件（0.9%）	128 件（1.8%）
令和６年度	全受検者	3,492 件	2,179 件	1,048 件	6,719 件
	通訳を必要とする外国人受検者	45 件（1.3%）	24 件（1.1%）	21 件（2.0%）	90 件（1.3%）
令和７年度	全受検者	2936 件	1964 件	841 件	5,741 件
	通訳を必要とする外国人受検者	66 件（2.2%）	51 件（2.6%）	15 件（1.9%）	132 件（2.3%）

・言語内訳は検査申込書より、令和７年度は、英語 90 件、中国語 14 件、ベトナム語 11 件、その他 16 件（韓国５件、ミャンマー４件、タイ３件、フランス語３件、インドネシア１件)、令和６年度は英語 64 件、中国語 14 件、ベトナム語２件、その他 10 件（韓国５件、フランス語３件、スウェーデン語１件、ベネゼエラ語１であった。
・３区保健福祉センターでの検査時は、多言語版（英語・中国語・ベトナム語・フィリピン語）の配付資料を作成し、活用している。通訳が必要な者への陽性告知は、ＮＰＯ法件ＣＨＡＲＭへ通訳派遣を依頼し実施している。

＜委託検査場での外国人受検者数＞

	（参考）平成 31 年度	（参考）令和３年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
外国人受検者数（全受検者に占める割合）	356 件（6.9%）	442 件（8.8%）	614 件（8.5%）	688 件（10.0%）	763 件（11.3%）
陽性者数	５件	２件	７件	11 件	13 件
陽性率（外国人陽性者／外国人全受検者）	1.4%	0.5%	1.1%	1.6%	1.7%

・国籍内訳の主な国は、中国 208 件、ベトナム 127 件、フィリピン 61 件、アメリカ 38 件、韓国 37 件、台湾 35 件、フランス 17 件、その他 192 件だった。
・委託検査場ホームページの予約ページでは、日本語と英語の予約フォームを作成し、英語での説

明文を掲載している。
・外国語による電話相談事業（ＮＰＯ法件ＣＨＡＲＭに委託）を利用して chot CAST へ予約することも可能としている。
・令和５年度より、月１回通訳付き検査を実施している。
令和７年度 12 回　人数 25 名（中国語 18 名、ベトナム語７名）

＜ＭＳＭ向けＨＩＶ検査の実施状況＞

	実施日時	実施回数	受検者数	陽性者数 (陽性率)	1回あたりの 平均受検者数
(参考) 平成 30 年度	奇数月に１回(金～日) 17 時～20 時	6 回	209 件	1 件 (0.48%)	34.8 件
(参考)令和３年度	奇数月に１回(日) 15 時～18 時	6 回	144 件	2 件 (1.39%)	24.0 件
令和４年度	奇数月に１回(日) 15 時～18 時	6 回	171 件	1件 (0.58%)	28.5 件
令和５年度	奇数月に１回(土日) 15 時～18 時	6 回	131 件	1件 (0.76%)	21.8 件
令和６年度	奇数月に１回(土日) 15 時～18 時	6回	119 件	0件 (0.0%)	19.8 件
令和７年度	奇数月に１回(土日) 15 時～18 時	6回	124 件	2件 (1.6%)	20.7 件

※実施場所：コミュニティセンターdista（ＭＡＳＨ大阪が運営しているコミュニティセンター）
・ＭＡＳＨ大阪が運営するコミュニティセンターdista にて、ＭＳＭ向けＨＩＶ検査（検査項目はＨＩＶと梅毒）を実施した。
・検査時ガイダンス及び結果説明時の個別相談を実施し、主な相談内容はＭＡＳＨ大阪に還元し、相談事項を共有している。

○大阪市における相談体制

＜保健所・保健福祉センターにおけるＨＩＶ・性感染症相談件数＞

年度	訪問	電話（延）	面接（延）	面接 (結果返却時)
(参考) 平成 30 年度	実８件　延 16 件	1,485 件	69 件	6,675 件
(参考) 令和３年度	実３件　延３件	564 件	８件	4,498 件
令和４年度	実１件　延４件	868 件	43 件	6,778 件
令和５年度	実２件　延２件	1,166 件	29 件	7,052 件
令和６年度	実１件、延１件	981 件	19 件	6,510 件
令和７年度	実３件　延３件	745 件	27 件	5,545 件

＜エイズ専門相談（相談場面別）＞

年度	定例専門相談 (北・中央)	ＨＩＶ検査陽性告知時	医療機関	計
(参考) 平成 30 年度	79 件	12 件	14 件	105 件
(参考) 令和３年度	14 件	14 件	28 件	56 件
令和４年度	36 件	５件	27 件	68 件

令和５年度	23 件	10 件	17 件	50 件
令和６年度	38 件	9 件	0 件	47 件
令和７年度	24 件	11 件	1 件	36 件

・エイズ専門相談やＨＩＶ検査陽性告知時の専門相談の件数は、検査数・陽性者数の増減に連動していると考えられ、新型コロナウイルス感染症の影響による検査数・陽性者数の減少に伴い相談件数が減少していたが、令和４～５年度は検査数の増加に伴い電話相談件数が増加したが、令和６年度以降は減少している一方、訪問、面接件数は増加がみられた。エイズ専門相談は、北・中央において令和６年度から令和７年度は減少したが、HIV 陽性告知時、医療機関では増加した。

＜外国語相談＞

・外国語による電話相談事業（ＮＰＯ法件ＣＨＡＲＭに委託）
　対応言語：英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語
　令和５年度実績：137 件、令和６度実績：131 件、令和７年度実績：101 件
　（参考）平成 29 年度～令和３年度平均　186 件

・大阪国際交流センターによるＨＩＶ・性感染症の検査相談先の案内
　対応言語：英語・中国語・韓国語・フィリピン語・ベトナム語
　令和５年度実績：０件、令和６年度実績：０件、令和７年度実績：０件
　（参考）平成 29 年度～令和３年度平均　2.6 件

・大阪市ホームページは、機械翻訳により情報が閲覧できるようになっているが、大阪市「ＨＩＶ/エイズ・性感染症ガイド」のトップページに「For foreigners」の項目を作り、上記相談窓口を多言語で案内するページを作っている。

【課題及び今後の方向性】

・受検者アンケートによると、全時間帯に需要があり、現在の多様な時間帯の検査体制を継続していく必要がある。
・引き続き検査を受けている外国人の状況について把握し、理解できる言語で検査相談が受けられるよう体制を整備していく必要がある。
・今後の検査数の推移を注視しながら、郵送検査については詳細な検討をし、引き続き早期診断につながる検査機会の確保に努めていただきたい。

（２）イベント検査・相談等の実施

令和２年度以降、実施していなかったイベント検査を令和６年度から再開した。

令和７年 12 月 18 日、HIV・梅毒即日検査を実施した。

15 名受検し、初めて受検した件が８名（53.3%）MSM：３名（20.0%）、SW：３名（20.0%）であった。【参考資料１、３】

通訳付結果説明とし通訳が必要な外国人は１名（6.6%）であった。

【課題及び今後の方向性】

・イベント検査は、常設検査場の啓発ツールでもあるため、効果的なイベント検査の実施について引き続き検討を行っていく必要がある。また、引き続き利便性に配慮した HIV 検査相談体制を推進していく必要がある。

（３）広報等

○検査・相談体制に関する広報

・大阪市ホームページ内「ＨＩＶ/エイズ・性感染症ガイド」では、トップページに「検査情報」「相談窓口」等の項目を作成し、リンクして情報を閲覧しやすいよう工夫している。
「検査情報」ページでは、曜日・時間ごとで検索できる表や、委託検査場の予約フォームへのリンク、写真等を使った検査の流れのイメージなど、受検行動につながるような情報を掲載している。

・多言語版の検査・相談リーフレットを作成し、ホームページに掲載している。

・ホームページや紙媒体、アプリ広告、ＳＮＳ等周知したい対象者に合わせて広報手段を変え、効果的に情報を伝えるように工夫している。

広　　報	連　携　先
大阪市保健所 「ＨＩＶ/エイズ・性感染症ガイド」(ホームページ) 「大阪市保健所ＨＩＶ・性感染症情報ナビ」(X) 「osakacity_hiv_sti」(Instagram)	各ＮＧＯ等団体へのリンク、「ＨＩＶ検査・相談マップ」 委託検査場「chot CAST」検査予約ページへのリンクなど
大阪市広報・区保健福祉センター　ホームページ・ＳＮＳ	
検査相談情報リーフレット（日本語・多言語版）	各区役所・関係機関・国際交流センター、大阪出入国在留管理局、外国人技能実習機構、杏林大学研究班など
ＨＩＶ検査・相談マップ	厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「ＨＩＶ検査受検勧奨に関する研究」班
おおさかエイズ情報ＮＯＷ・たんぽぽ	大阪府・府下保健所設置市
エイズのはなし	教育委員会事務局
南界堂通信	ＭＡＳＨ大阪
検査広報 ・チラシ、コンドーム、ティッシュなど配布 ・区役所広報紙、ポスター ・ X、MSM 向けアプリポップアップ広告	ＭＡＳＨ大阪、ＪＨＣ、スマートらいふクリニックなど

○ＰｒＥＰについて

・検査受検者へのアンケートでは、検査を受けた目的が「ＰｒＥＰのため」と回答した者は、1.9%（令和６年度 1.8%）、ＭＳＭは 5.6%（令和６年度 5.7%）であり、セックスをするときに使うものとして「ＰｒＥＰ」と答えたものは、3.9%（令和６年度 3.1%）、ＭＳＭ13.3%（令和６年度 11.2%）であった。今後、ＰｒＥＰのために検査を受ける者が増加する可能性があり、検査受検者へＰｒＥＰに対する情報提供のみならず、コンドームの使用など安全にかつＨＩＶの感染予防につながるような指導を行うなど、体制づくりが必要である。

【課題及び今後の方向性】

・ＳＮＳの活用やホームページの充実などにより、若年層を中心とした幅広い層への広報を効果的に行うよう、関係機関・関係団体等に情報を得ながら取り組んでいく必要がある。

・研究班やＮＧＯ等と連携し、受検行動につながる周知方法を検討していく必要がある。

・検査受検時などを通じ、すべてのセックスを行う成人に対しリーフレットなどを用いＰｒＥＰの情報提供を行う。

・ＰｒＥＰについては、国の見解を注視しながら、引き続き、定期受診が可能な医療機関等に関して情報収集していく必要がある。

基本施策３　ＨＩＶ陽性者の生活支援のための保健・医療・福祉の連携強化

【事業目標】

１．保健・医療・福祉の連携により、地域におけるＨＩＶ陽性者の支援体制を整え、ＨＩＶ陽性者が安心して生活できる環境づくりを行う。

２．高齢化に伴う合併症等の問題を抱えたＨＩＶ陽性者を支援するため、長期療養の環境整備を行う。

【具体的な取り組み実績】

（１）連携体制の充実

・大阪市立総合医療センター主催の定例カンファレンスに参加（令和７年度９回)。
新規ＨＩＶ陽性者や治療中断患者等の医療上・生活上の問題点を情報共有することを中心に、在宅支援にかかる意見交換や医療機関・施設・調剤薬局との連携に関する情報収集を行っている。

・エイズ治療拠点病院等からの要請に応じ、ＮＰＯ法件ＣＨＡＲＭに委託して専門カウンセラーを派遣しており、令和７年度は１件（令和６年度：０件、５年度：延 17 件）であった。

・ＨＩＶ陽性者の療養支援については、各区保健福祉センターが適宜行っている。

（２）医療及び福祉関係者への意識啓発

○医療機関向け講習会

令和４年度以降、動画視聴型にて研修を行っている。(感染症対策課結核グループと共催)
内科・呼吸器科・泌尿器科を標榜する診療所・薬局等へ個別通知にて周知した。

・テーマ：ＨＩＶ診療アップデート～地域で診る時代の課題と対策～
講師　：市立総合医療センター　感染症内科部長　白野倫徳氏
実施期間：令和８年１月 27 日～３月 13 日

・アンケート回収件数：(令和５年度）188 件、(令和６年度）157 件、(令和７年度）195 件
令和７年度の参加職種内訳：医師 45 名、薬剤師 138 名、看護師６名、歯科医師６名、
その他６名（職種不明）
(参考）平成 29 年度～31 年度平均：195 件
（令和２～３年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため未実施）

・令和４年度以降の医療機関講習会では、ＰｒＥＰに関する内容を含めた講義を行っている。令和７年度のアンケートでは、受講者の 24.1%がＰｒＥＰをテーマとした講習会を希望している。

○保健所（保健福祉センター）が実施した福祉関係者への研修の実施状況

［実施件数(実施回数)］

対象	(参考) 平成30年度	(参考) 令和3年度	令和5年度	令和６年度	令和７年度
介護保険/居宅支援事業者等	263名　(8回)	75名　(2回)	178名（4回）	128名（3回）	115名（３回）
障がい福祉/居宅支援事業者等	60名　(4回)	0名　(0回)	79名（2回）	67名（２回）	66名（３回）
合計	323名(12回)	75名　(2回)	257名（6回）	195名（５回）	181名（６回）

・福祉関係者への研修については、包括支援センターや障がい者基幹相談支援センター、在宅医療介護連携コーディネーター等の連絡会にてプレゼンテーションを行い、実施依頼につなげている。
・集合型・オンライン・ハイブリッド型など受講者の利便性を考慮した形式で行っている。
・令和５年度より、福祉関係者向けオンデマンド研修として健康局YouTubeに研修動画を公開している。令和７年度の受講後のアンケート回答は６名であった。

《数値目標》研修受講後、ＨＩＶ陽性者の受け入れを肯定した福祉関係者を毎年70%以上にする

《評価方法》福祉関係者向けのＨＩＶ研修後のアンケートにより把握

(基礎年度) 平成29年度 ～令和２年度 実績割合（平均）	(参考) 令和３年度	年度別実績割合				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度 (最終評価年度)
55.6%	60.0%	78.1% (75件/96件)	73.2% (71件/97件)	86.3% (82/95件)	72.8% (59/81件)	－
年度別目標割合		70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上

➢ 令和７年度は、年度別目標割合を達成した。

・福祉関係者向け研修の受講後アンケートから、「ＨＩＶ陽性者の受け入れ」について集約した。実数(*)は、(ＨＩＶ陽性者を受け入れてもよいと回答した件数／アンケート回答者数) を記載した。
・「受け入れたくない理由」は、令和４・５年度は「関係者・家族等への説明が難しい」、令和６年度は「自分たちが感染する可能性がある」次いで「困った時にどこに相談したらいいかわからない」の順に多く、令和７年度は「関係者・家族等への説明が難しい」「困った時にどこに相談したらいいかわからない」が多かった。
・福祉関係者のＵ＝Ｕの認知度（研修受講前）は、26.9%であった。

・「Ｕ＝Ｕを知って、ＨＩＶ感染者やエイズ患者の受入れの不安が軽減したか」の回答状況

	不安が軽減し抵抗がなくなった	不安が軽減したがまだ受け入れる気持ちにはなれない	あまり変わらず不安がある	前から不安はなかった	無回答
令和４年度	57.3%	14.6%	8.3%	13.5%	6.3%
令和５年度	66.0%	13.4%	9.3%	11.3%	0.0%
令和６年度	69.5%	11.6%	5.3%	22.9%	0.0%
令和７年度	50.6%	17.9%	6.2%	14.8%	11.1%

○福祉関係者向け啓発リーフレット

福祉関係者向け啓発リーフレットの周知状況（事業所数）

	介護事業者等集団指導	障がい福祉サービス事業所等集団指導
令和４年度	5,969	6,146
令和５年度	6,436	6,913
令和６年度	6,854	7,121
令和７年度	7,086	11,088

福祉関係者向け啓発リーフレットを作成し、介護事業者等集団指導及び障がい福祉サービス事業所等集団指導にて周知した。また、大阪市ホームページ内「ＨＩＶ／エイズ・性感染症ガイド」にも掲載した。

○区保健福祉センター職員研修区保健福祉センターが地域においてＨＩＶ陽性者の療養支援を行えるよう、保健師向けにＨＩＶの理解を深める研修を実施している。

	新採用保健師研修	感染症対策に関する保健師研修（基礎編）	感染症対策に関する保健師研修（応用編）
令和４年度	60 名（動画）	42 名（動画）	実施なし（隔年で実施）
令和５年度	43 名	36 名（動画）	21 名（動画＋集合型）
令和６年度	28 名	31 名	実施なし（隔年で実施）
令和７年度	21 名	30 名	21 名（動画＋集合型）

（※聴講者を除く受講者のみ掲載）

【課題及び今後の方向性】

・連携が必要となった場合は、医療と介護の仲介として対応できるよう、引き続き拠点病院と連携していくことが重要である。

・福祉関係者への研修にて、受け入れに不安があったがＵ＝Ｕを知って不安が軽減し受け入れに抵抗がなくなった割合は 68.3%であり、令和６年度（80.0%）より減少した。今後も、ＨＩＶ感染症について正しく理解し、ＨＩＶ陽性者に適切な支援が提供されるよう、継続した啓発の取り組みが必要である。

・療養支援が必要な事例については関係部局との連携を図り対応し、入所や施設利用に係り困難事例が生じた際は施設への聞き取り等により状況を把握し、必要に応じて施設職員を対象とした研修を実施していく。

＜参考＞受け入れに不安があったがＵ＝Ｕを知って不安が軽減し受け入れに抵抗がなくなった割合

「不安が軽減し受け入れに抵抗がなくなった」と回答した人数÷（回答者数―「前から不安なし」と回答した人数）×100

＝41÷（81-21）×100＝68.3%

基本施策４　施策の実施状況とその効果の分析・評価

【事業目標】

状況の変化への迅速な対応と効果的かつ効率的な実施のために的確な評価を行える体制を整え、ＨＩＶ・エイズの発生動向や施策・事業の実施状況等を調査・分析するとともに、進捗管理と対策の見直し等の検討を行う。

【具体的な取り組み実績】

（１）　エイズ対策評価委員会の開催

令和７年 11 月７日に実施し令和６年度の実績及び取り組み状況を評価した。

（２）　関係団体・関係機関連携会議の開催

令和 7 年度の実績の報告及び評価、今後の対策の検討のため、ＮＧＯ等関係団体と意見交換を行った。

（３）　感染症発生動向調査解析評価検討会の開催

２か月に１回、感染症発生動向調査解析評価検討会を開催し、後天性免疫不全症候群の発生動向について解析評価を実施した。

【参考資料】

ＨＩＶ検査を受ける人を対象としたアンケート結果（令和７年度）

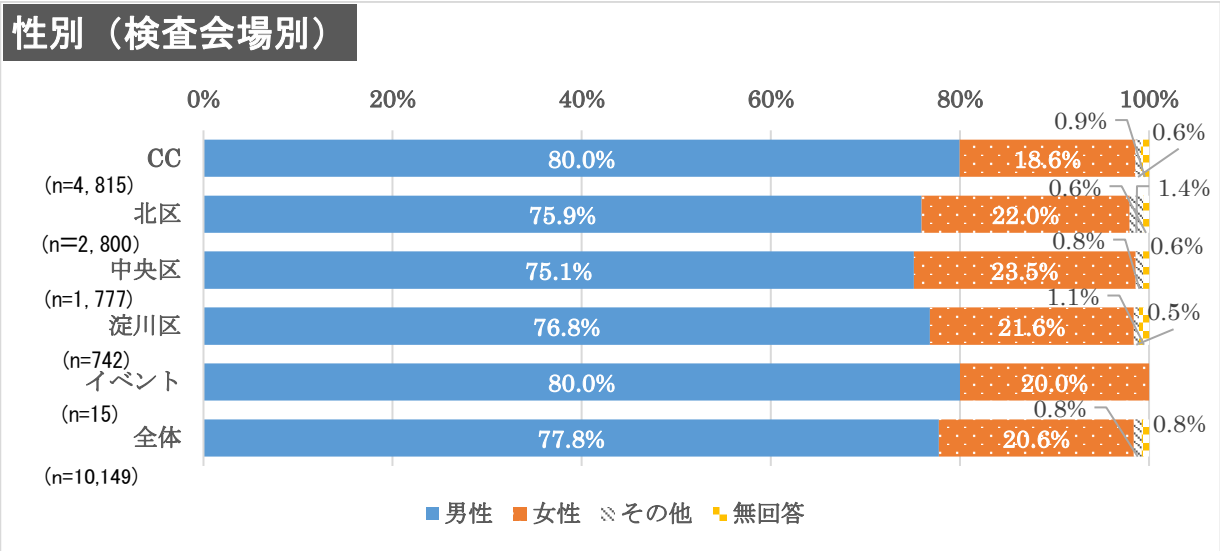
１　アンケート回収率

令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
受検者数	6,739	3,003	1,975	840	15	12,572	－	－
回収数	4,815	2,800	1,777	742	15	10,149	2,716	508
回収率	71.4%	93.2%	90.0%	88.3%	100.0%	80.7%	－	－

※ＣＣ：委託検査場　ＭＳＭ：男性間で性的接触を行う者
　ＳＷ：セックスワーカー（男女）
※ＭＳＭ、ＳＷは受検者数不明。

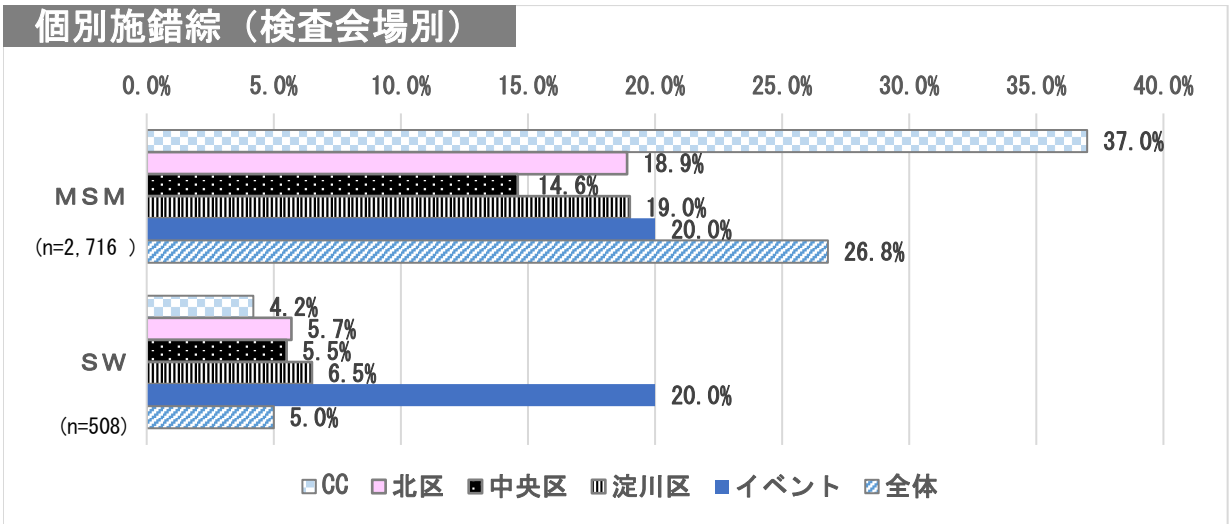
２　性別

令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体
男性	3,851 (80.0%)	2,126 (75.1%)	12 (75.1%)	570 (76.8%)	12 (80.0%)	7,894 (77.8%)
女性	894 (18.6%)	617 (23.5%)	417 (23.5%)	160 (21.6%)	3 (20.0%)	2,091 (20.6%)
その他	28 (0.6%)	39 (0.8%)	14 (0.8%)	4 (0.5%)	0 (0.0%)	85 (0.8%)
無回答	42 (0.9%)	18 (0.6%)	11 (0.6%)	0 (1.1%)	0 (0.0%)	79 (0.8%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	454 (100.0%)	734 (100.0%)	15 (0.0%)	10,149 (100.0%)



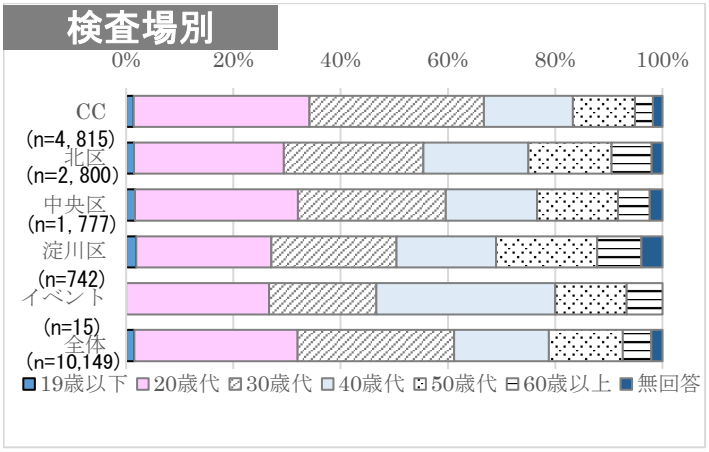
３　個別施策層の割合（ＭＳＭ・ＳＷ）

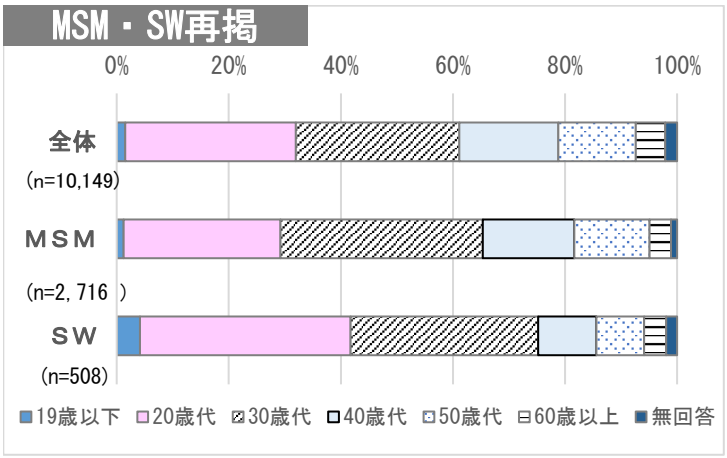
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体
MSM	1,783 (37.0%)	529 (18.9%)	260 (14.6%)	141 (19.0%)	3 (20.0%)	2,716 (26.8%)
SW	201 (4.2%)	159 (5.7%)	97 (5.5%)	48 (6.5%)	3 (20.0%)	508 (5.0%)
計	4,815 (41.2%)	2,800 (24.6%)	1,777 (20.1%)	742 (25.5%)	15 (40.0%)	10,149 (100.0%)



4　年齢

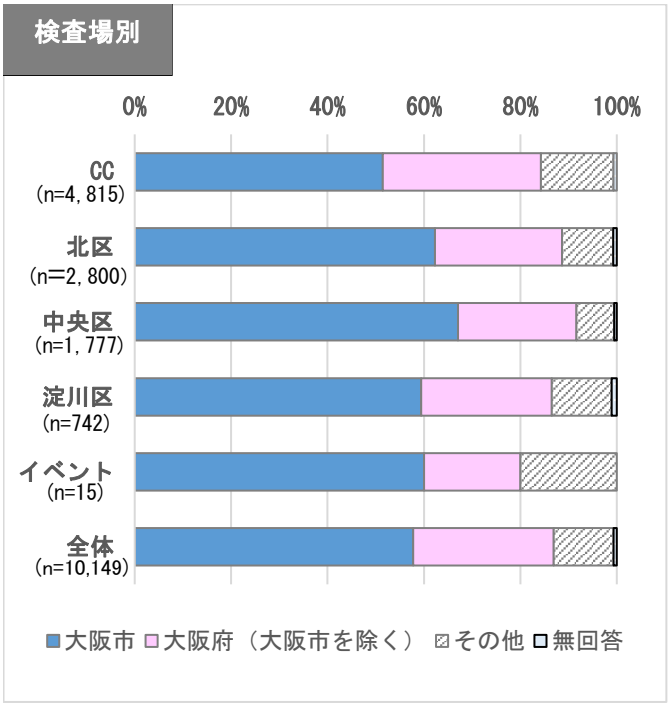
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
19歳以下	69 (1.4%)	42 (1.5%)	29 (1.6%)	14 (1.9%)	0 (0.0%)	154 (1.5%)	34 (1.3%)	21 (4.1%)
20歳代	1,578 (32.8%)	781 (27.9%)	540 (30.4%)	187 (25.2%)	4 (26.7%)	3,090 (30.4%)	759 (27.9%)	191 (37.6%)
30歳代	1,566 (32.5%)	729 (26.0%)	490 (27.6%)	173 (23.3%)	3 (20.0%)	2,961 (29.2%)	981 (36.1%)	170 (33.5%)
40歳代	798 (16.6%)	549 (19.6%)	303 (17.1%)	138 (18.6%)	5 (33.3%)	1,793 (17.7%)	444 (16.3%)	53 (10.4%)
50歳代	559 (11.6%)	434 (15.5%)	268 (15.1%)	140 (18.9%)	2 (13.3%)	1,403 (13.8%)	364 (13.4%)	43 (8.5%)
60歳以上	161 (3.3%)	208 (7.4%)	105 (5.9%)	61 (8.2%)	1 (6.7%)	536 (5.3%)	104 (3.8%)	20 (3.9%)
無回答	84 (1.7%)	57 (2.0%)	42 (2.4%)	29 (3.9%)	0 (0.0%)	212 (2.1%)	30 (1.1%)	10 (2.0%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (0.0%)	742 (100.0%)	15 (100.0%)	2,716 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)

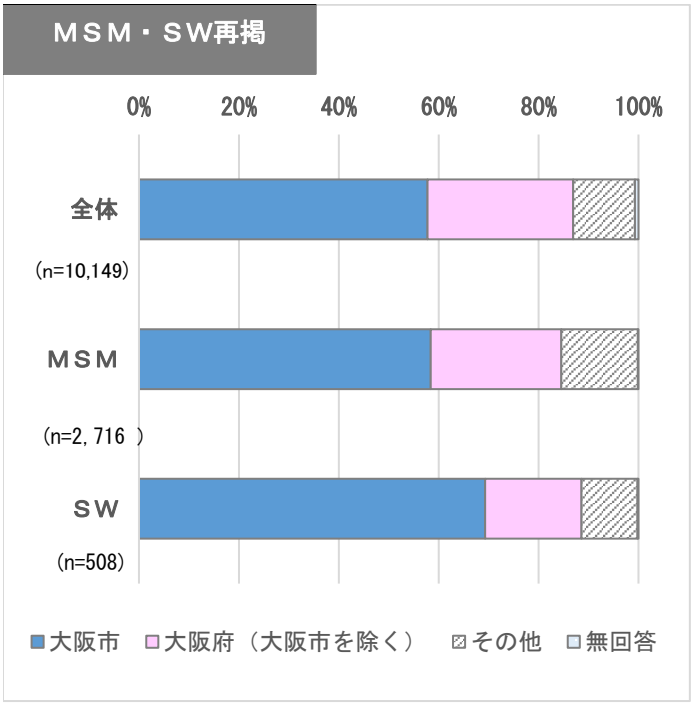




5　居住地

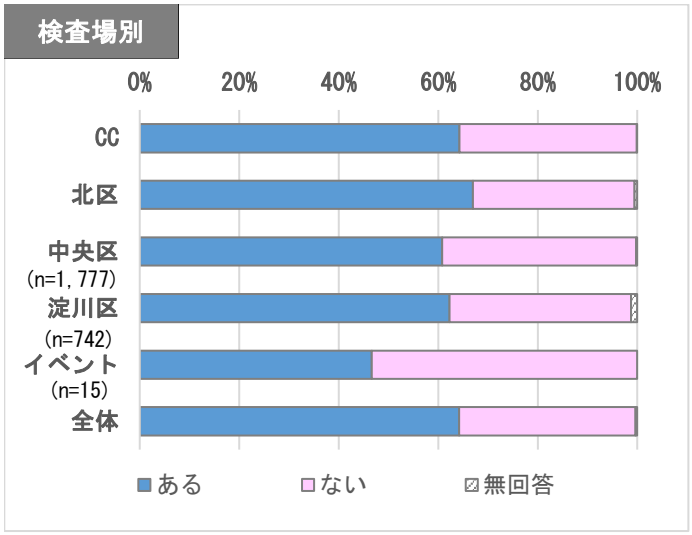
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
大阪市	2,479 (51.5%)	1,743 (62.3%)	1,192 (67.1%)	441 (59.4%)	9 (60.0%)	5,864 (58.4%)	1,586 (58.4%)	352 (69.3%)
大阪府（大阪市を除く）	1,578 (32.8%)	739 (26.4%)	436 (24.5%)	201 (27.1%)	3 (20.0%)	2,957 (26.1%)	710 (26.1%)	98 (19.3%)
その他	725 (15.1%)	298 (10.6%)	139 (7.8%)	92 (12.4%)	3 (20.0%)	1,257 (15.3%)	416 (15.3%)	57 (11.2%)
無回答	33 (0.7%)	20 (0.7%)	10 (0.6%)	8 (1.1%)	0 (0.0%)	71 (0.2%)	4 (0.2%)	1 (0.2%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	742 (100.0%)	15 (0.0%)	10,149 (0.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)

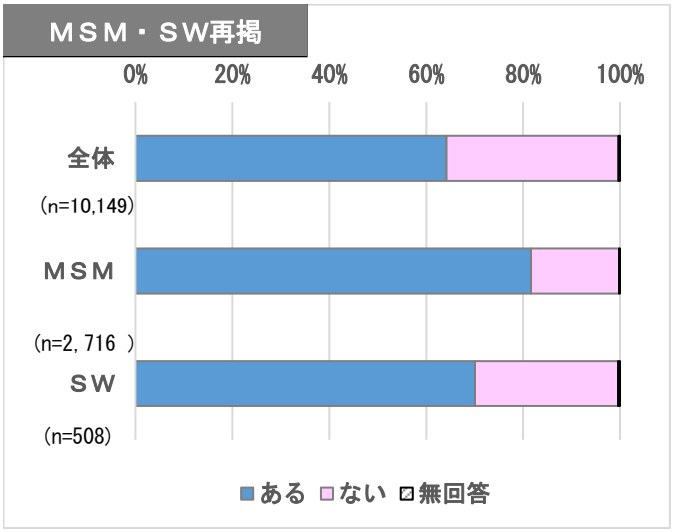




6　これまでにＨＩＶ検査を受けたことがありますか？受けたことがある方は、一番最近に受けたのはいつですか？

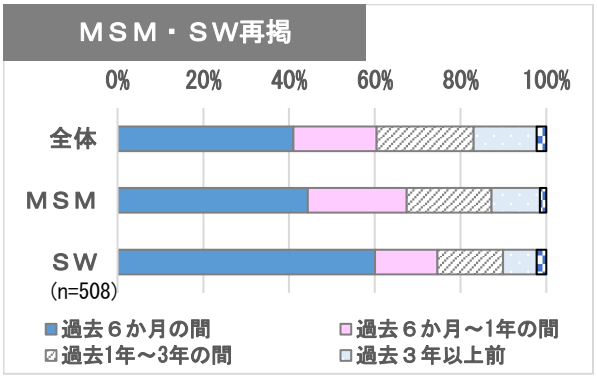
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
ある	3,094 (64.3%)	1,875 (67.0%)	1,080 (60.8%)	462 (62.3%)	7 (46.7%)	6,518 (64.2%)	2,218 (81.7%)	356 (70.1%)
ない	1,716 (35.6%)	910 (32.5%)	693 (39.0%)	271 (36.5%)	8 (53.3%)	3,598 (35.5%)	493 (18.2%)	150 (29.5%)
無回答	5 (0.1%)	15 (0.5%)	4 (0.2%)	9 (1.2%)	0 (0.0%)	33 (0.3%)	5 (0.2%)	2 (0.4%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	9 (100.0%)	15 (100.0%)	10,149 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)





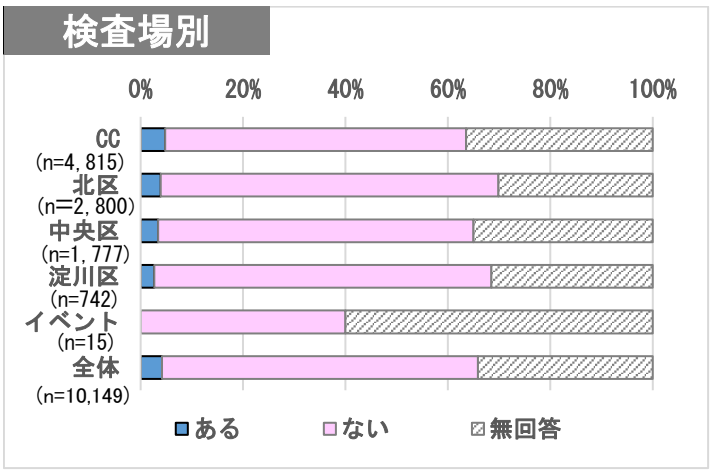
※ＨＩＶ検査を受けたことがあると答えた人を分母とした割合

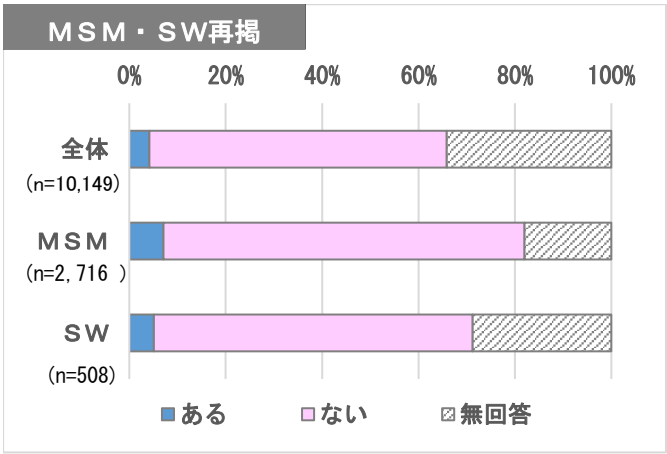
令和7年度	全体	MSM	SW
過去6か月の間	2,686 (41.0%)	987 (44.4%)	215 (60.1%)
過去6か月～1年の間	1,272 (19.4%)	512 (23.0%)	52 (14.5%)
過去1年～3年の間	1,482 (22.6%)	440 (19.8%)	55 (15.4%)
過去3年以上前	966 (14.7%)	251 (11.3%)	28 (7.8%)
無回答	145 (2.2%)	33 (1.5%)	8 (2.2%)
計	6,551 (100.0%)	2,223 (100.0%)	358 (100.0%)
再掲) 過去1年までの間	3,958 (60.4%)	1,499 (67.4%)	267 (74.6%)



7　これまでにＨＩＶ検査の郵送検査を利用したことはありますか？

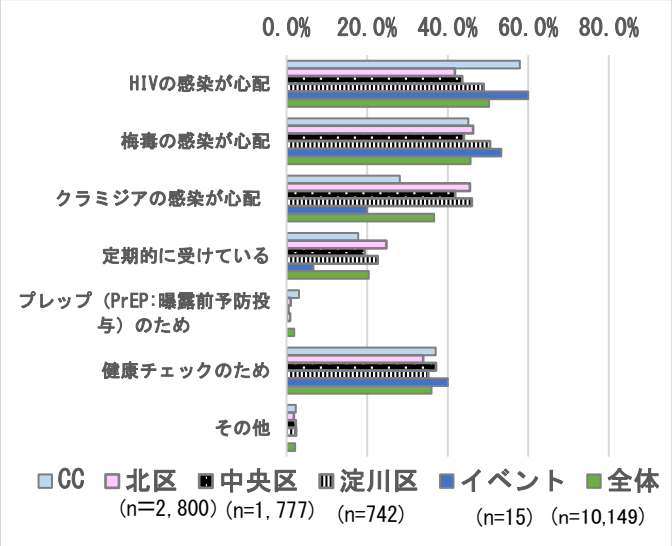
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
ある	231 (4.8%)	110 (3.4%)	61 (0.0%)	20 (7.1%)	0 (0.0%)	422 (4.2%)	193 (7.1%)	26 (5.1%)
ない	2,830 (58.8%)	1,846 (61.6%)	1,094 (40.0%)	488 (74.9%)	6 (40.0%)	6,264 (61.7%)	2,033 (74.9%)	336 (66.1%)
無回答	1,754 (36.4%)	844 (35.0%)	622 (60.0%)	234 (18.0%)	9 (60.0%)	3,463 (34.1%)	490 (18.0%)	146 (28.7%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	234 (100.0%)	15 (100.0%)	10,149 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)

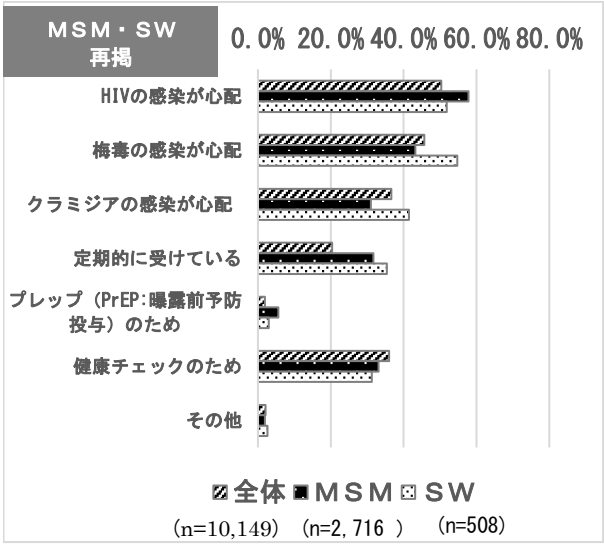




8　今回の検査を受けた目的は以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）

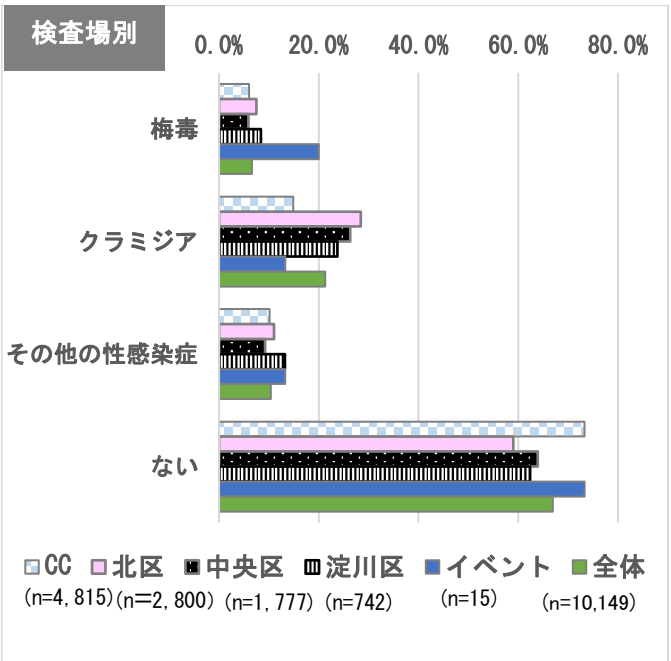
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
HIVの感染が心配	2,786 (57.9%)	1,170 (41.8%)	774 (43.6%)	363 (48.9%)	9 (60.0%)	5,102 (50.3%)	1,570 (57.8%)	263 (51.8%)
梅毒の感染が心配	2,173 (45.1%)	1,296 (46.3%)	782 (44.0%)	375 (50.5%)	8 (53.3%)	4,634 (45.7%)	1,172 (43.2%)	278 (54.7%)
クラミジアの感染が心配	1,355 (28.1%)	1,275 (45.5%)	744 (41.9%)	341 (46.0%)	3 (20.0%)	3,718 (36.6%)	842 (31.0%)	211 (41.5%)
定期的に受けている	859 (17.8%)	695 (24.8%)	344 (19.4%)	168 (22.6%)	1 (6.7%)	2,067 (20.4%)	860 (31.7%)	180 (35.4%)
プレップ(PrEP:曝露前予防投与)のため	147 (3.1%)	28 (1.0%)	8 (0.5%)	7 (0.9%)	0 (0.0%)	190 (1.9%)	153 (5.6%)	15 (3.0%)
健康チェックのため	1,780 (37.0%)	949 (33.9%)	660 (37.1%)	261 (35.2%)	6 (40.0%)	3,656 (36.0%)	898 (33.1%)	159 (31.3%)
その他	110 (2.3%)	49 (1.8%)	41 (2.3%)	18 (2.4%)	0 (0.0%)	218 (2.1%)	51 (1.9%)	13 (2.6%)
回答者数(実数)	4,815	2,800	1,777	742	15	11,721	2,614	508

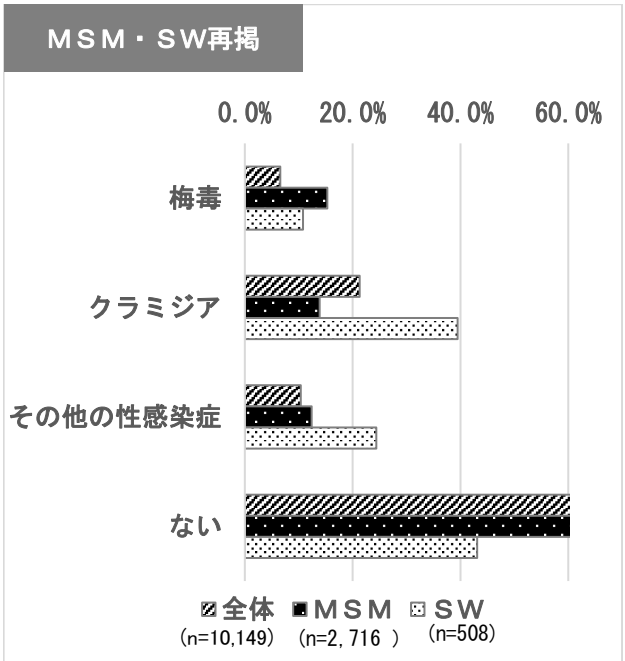




9　性感染症罹患歴

令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
梅毒	287 (6.0%)	209 (7.5%)	104 (5.9%)	62 (8.4%)	3 (20.0%)	665 (6.6%)	417 (15.3%)	68 (10.8%)
クラミジア	718 (14.9%)	796 (28.4%)	468 (26.3%)	176 (23.7%)	2 (13.3%)	2,160 (21.3%)	364 (13.9%)	164 (39.5%)
その他の性感染症	486 (10.1%)	309 (11.0%)	164 (9.2%)	98 (13.2%)	2 (13.3%)	1,059 (10.4%)	306 (12.4%)	100 (24.4%)
ない	3,527 (73.3%)	1,651 (59.0%)	1,136 (63.9%)	463 (62.4%)	11 (73.3%)	6,788 (66.9%)	1,796 (65.3%)	257 (43.1%)
回答者数(実数)	4,815	2,800 (7.5%)	1,777	742	13	10,149	10,149	508

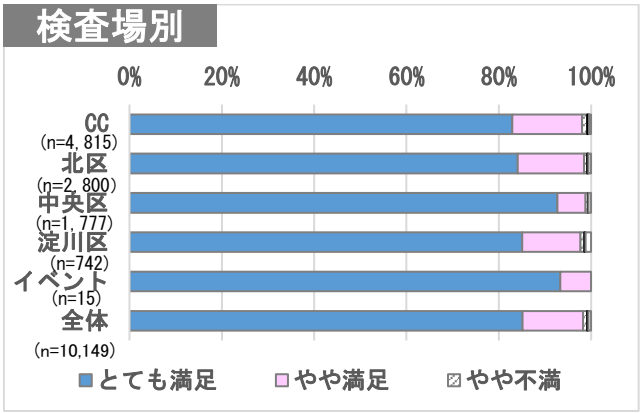


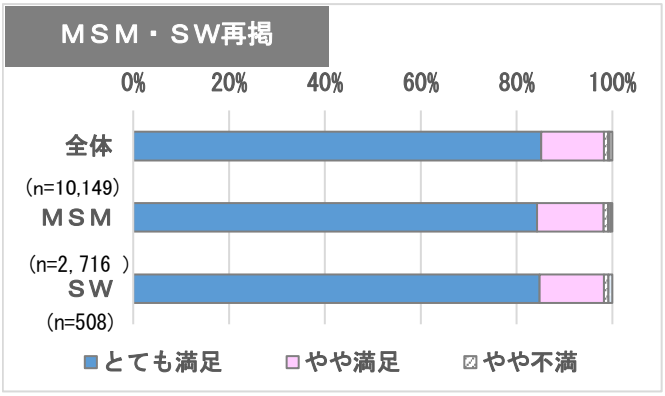


10　今回の検査場の満足度

1）質問しやすい雰囲気（言葉遣い、話し方）は、どうでしたか。

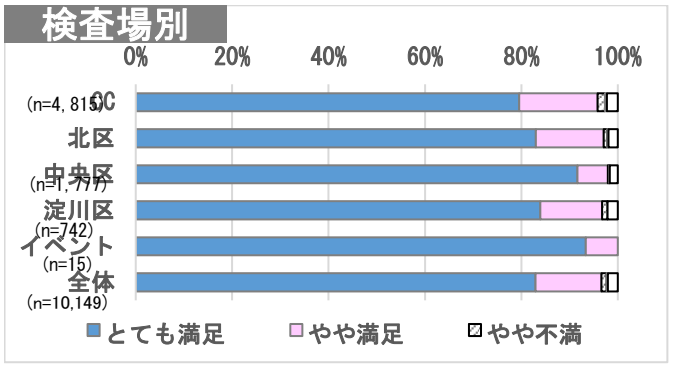
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
とても満足	3,994 (83.0%)	2,355 (84.1%)	1,647 (92.7%)	631 (85.0%)	14 (93.3%)	8,641 (85.1%)	2,289 (84.3%)	431 (84.8%)
やや満足	726 (15.1%)	402 (14.4%)	109 (6.1%)	94 (12.7%)	1 (6.7%)	1,332 (13.1%)	378 (13.9%)	68 (13.4%)
やや不満	54 (1.1%)	19 (0.7%)	9 (0.5%)	6 (0.8%)	0 (0.0%)	88 (0.9%)	25 (0.9%)	5 (1.0%)
とても不満	20 (0.4%)	8 (0.3%)	2 (0.1%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	32 (0.3%)	13 (0.5%)	4 (0.8%)
無回答	21 (0.4%)	16 (0.6%)	10 (0.6%)	9 (1.2%)	0 (0.0%)	56 (0.6%)	11 (0.4%)	0 (0.0%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	742 (100.0%)	15 (100.0%)	10,149 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)

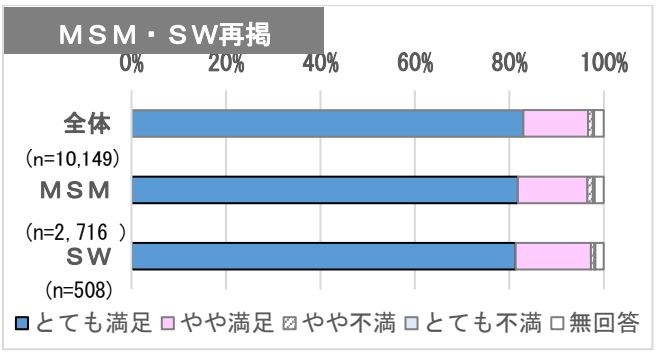




2）安心できる雰囲気については、どうでしたか。

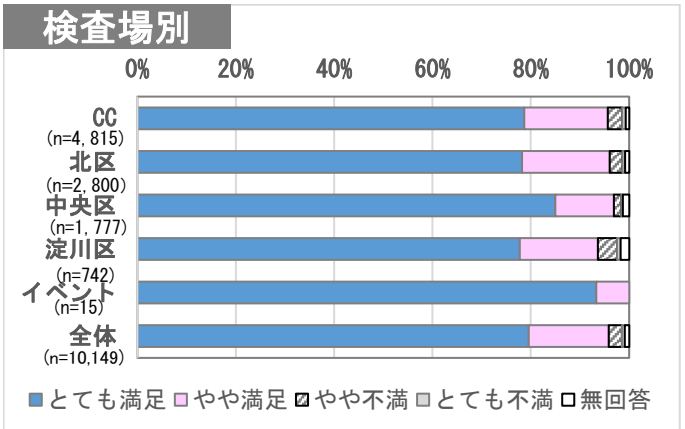
令和7度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
とても満足	3,829 (79.5%)	2,324 (83.0%)	1,628 (91.6%)	623 (84.0%)	14 (93.3%)	8,418 (82.9%)	2,222 (81.8%)	413 (81.3%)
やや満足	785 (16.3%)	394 (14.1%)	113 (6.4%)	95 (12.8%)	1 (6.7%)	1,388 (13.7%)	399 (14.7%)	81 (15.9%)
やや不満	73 (1.5%)	21 (0.8%)	5 (0.3%)	8 (1.1%)	0 (0.0%)	107 (1.1%)	32 (1.2%)	4 (0.8%)
とても不満	18 (0.4%)	7 (0.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	26 (0.3%)	10 (0.4%)	1 (0.2%)
無回答	110 (2.3%)	54 (1.9%)	30 (1.7%)	16 (2.2%)	0 (0.0%)	210 (2.1%)	53 (2.0%)	9 (1.8%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	742 (100.0%)	15 (100.0%)	508 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)

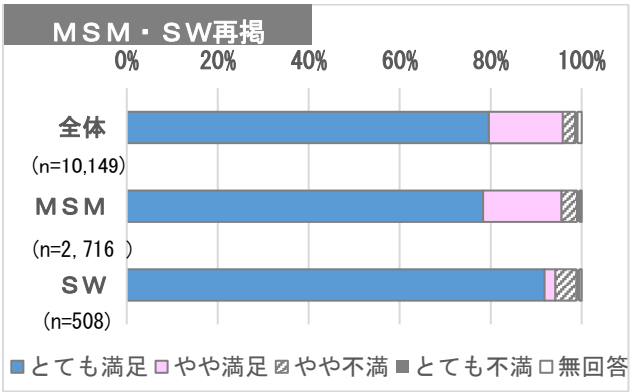




3）プライバシー保護については、どうでしたか。

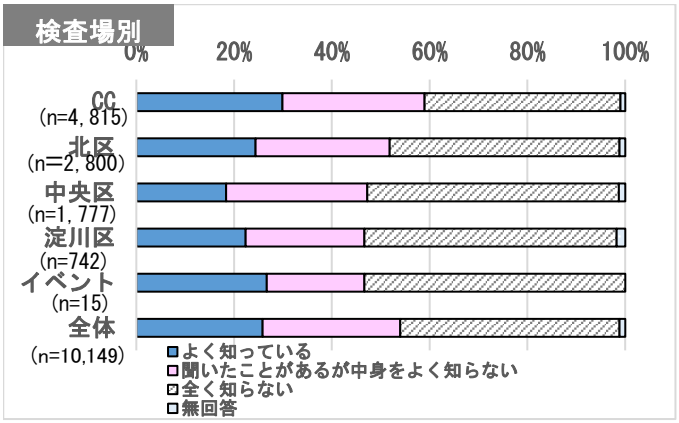
令和7度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
とても満足	3,789 (78.7%)	2,190 (78.2%)	1,510 (85.0%)	577 (77.8%)	14 (93.3%)	8,080 (79.6%)	2,128 (78.4%)	383 (75.4%)
やや満足	819 (17.0%)	499 (17.8%)	212 (11.9%)	118 (15.9%)	1 (6.7%)	1,649 (16.3%)	468 (17.2%)	10 (2.0%)
やや不満	141 (2.9%)	74 (2.6%)	26 (1.5%)	29 (3.9%)	0 (0.0%)	270 (2.7%)	91 (3.4%)	19 (3.7%)
とても不満	33 (0.7%)	15 (0.5%)	6 (0.3%)	5 (0.7%)	0 (0.0%)	59 (0.6%)	18 (0.7%)	3 (0.6%)
無回答	33 (0.7%)	22 (0.8%)	23 (1.3%)	13 (1.8%)	0 (0.0%)	91 (0.9%)	11 (0.4%)	2 (0.4%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	742 (100.0%)	15 (100.0%)	508 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (82.1%)

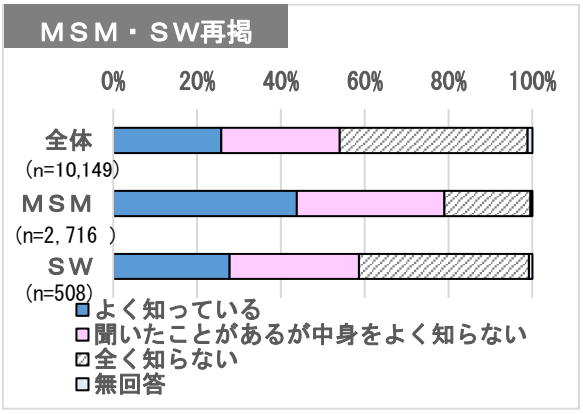




11　U＝Uについて、知っていますか。

令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	全体	MSM	SW
よく知っている	1,440 (29.9%)	682 (24.4%)	326 (18.4%)	166 (22.4%)	2,618 (25.8%)	1,191 (43.9%)	141 (27.8%)
聞いたことがあるが中身をよく知らない	1,398 (29.0%)	770 (27.5%)	513 (28.9%)	180 (24.3%)	2,864 (28.2%)	956 (35.2%)	157 (30.9%)
全く知らない	1,931 (40.1%)	1,315 (47.0%)	915 (51.5%)	383 (51.6%)	4,552 (44.9%)	558 (20.5%)	206 (40.6%)
無回答	46 (1.0%)	33 (1.2%)	23 (1.3%)	13 (1.8%)	115 (1.1%)	11 (0.4%)	4 (0.8%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	742 (100.0%)	10,149 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)

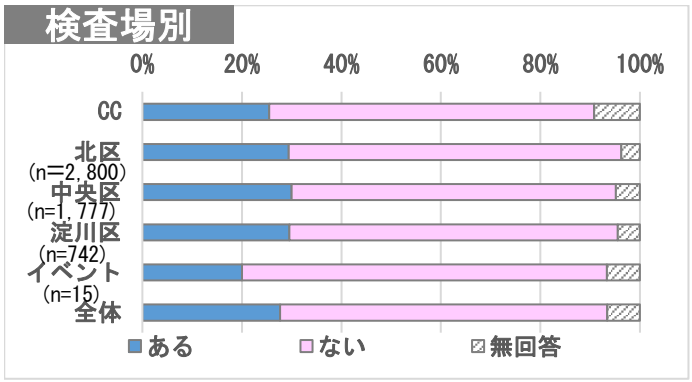


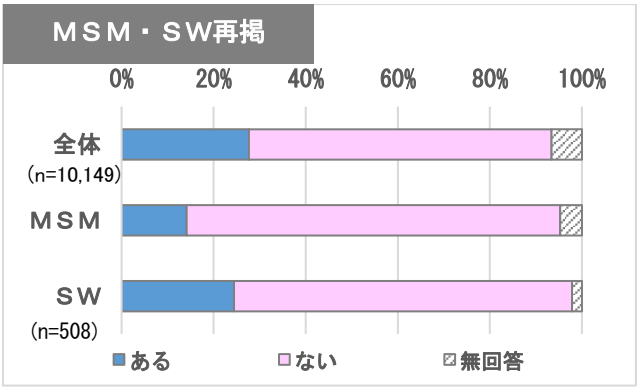


12　過去６か月間のセックスに関する行動について

（１）相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？

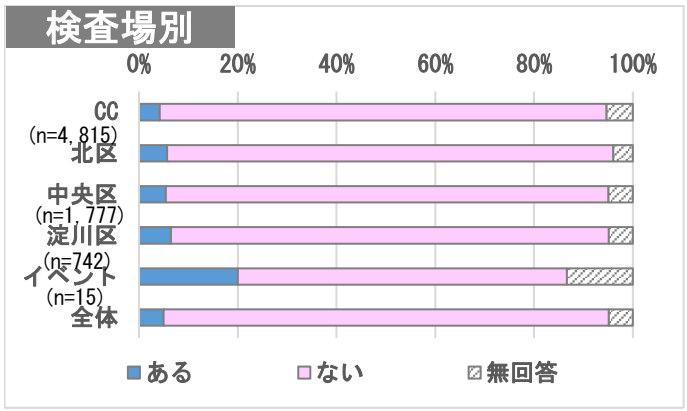
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
ある	1,228 (25.5%)	824 (29.4%)	533 (30.0%)	219 (29.5%)	3 (20.0%)	2,807 (27.7%)	384 (14.1%)	124 (24.4%)
ない	3,143 (65.3%)	1,871 (66.8%)	1,157 (65.2%)	490 (66.0%)	11 (73.3%)	6,672 (65.8%)	2,203 (81.1%)	373 (73.4%)
無回答	444 (9.2%)	105 (3.8%)	86 (4.8%)	33 (4.5%)	1 (6.7%)	669 (6.6%)	129 (4.8%)	11 (2.2%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,776 (100.0%)	742 (100.0%)	15 (100.0%)	10,148 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)

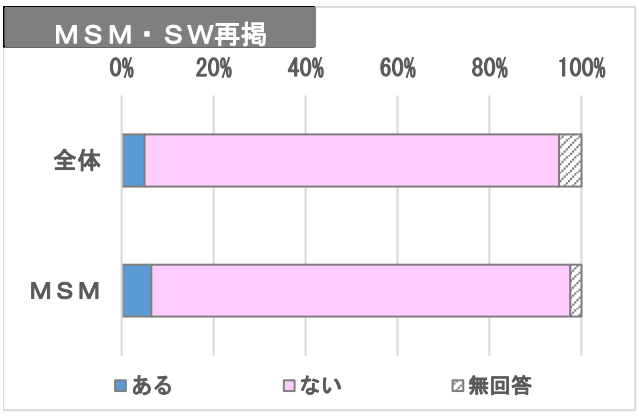




（２）相手にお金をもらってセックスをしたことがありますか？

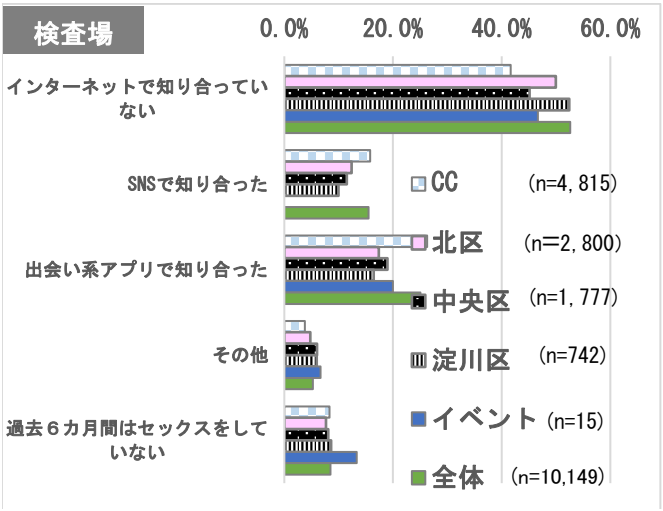
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM
ある	201 (4.2%)	159 (5.7%)	97 (5.5%)	48 (6.5%)	3 (20.0%)	508 (5.0%)	175 (6.4%)
ない	4,358 (90.5%)	2,530 (90.4%)	1,592 (89.6%)	658 (88.7%)	10 (66.7%)	9,148 (90.1%)	2,475 (91.1%)
無回答	256 (5.3%)	111 (4.0%)	88 (5.0%)	36 (4.9%)	2 (13.3%)	493 (4.9%)	66 (2.4%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	742 (100.0%)	15 (100.0%)	10,149 (100.0%)	2,716 (100.0%)

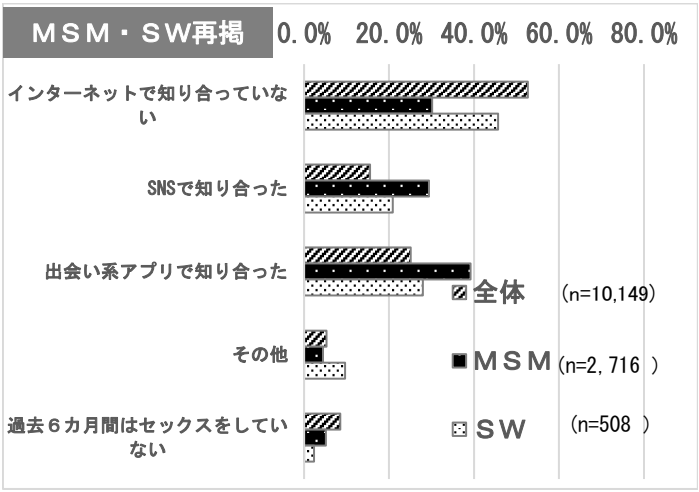




（3）あなたは、過去６か月間にセックスをした相手とインターネット（SNS・出会い系アプリ・お見合いサイト等）で知り合いましたか？（複数回答可）

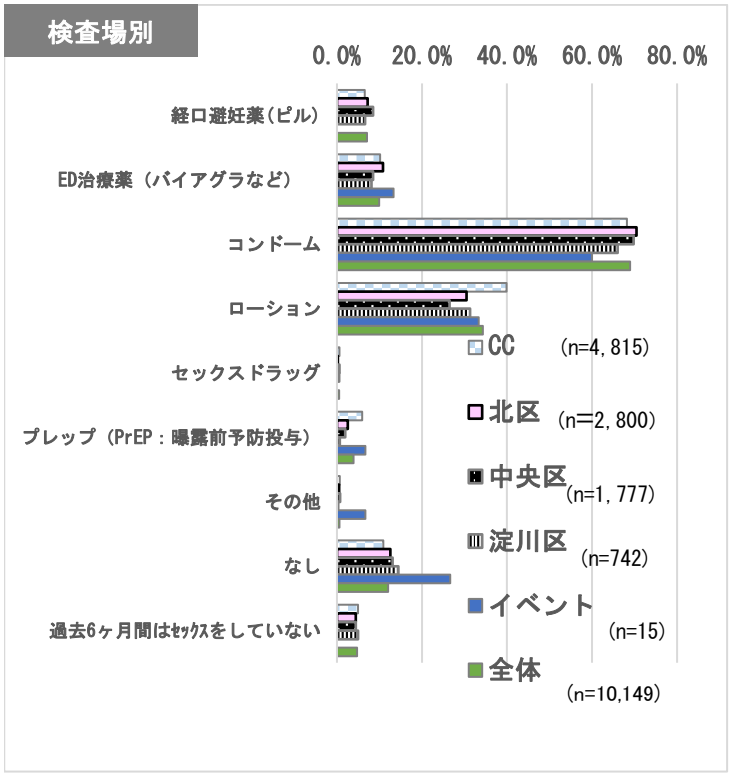
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
インターネットで知り合っていない	2,005 (41.6%)	1,399 (50.0%)	802 (45.1%)	389 (52.4%)	7 (46.7%)	5,342 (52.6%)	819 (30.2%)	232 (45.7%)
SNSで知り合った	760 (15.8%)	346 (12.4%)	204 (11.5%)	74 (10.0%)	0 (0.0%)	1,575 (15.5%)	799 (29.4%)	106 (20.9%)
出会い系アプリで知り合った	1,267 (26.3%)	487 (17.4%)	337 (19.0%)	122 (16.4%)	3 (20.0%)	2,544 (25.1%)	1,065 (39.2%)	142 (28.0%)
その他	181 (3.8%)	134 (4.8%)	107 (6.0%)	44 (5.9%)	1 (6.7%)	533 (5.3%)	120 (4.4%)	49 (9.7%)
過去6カ月間はセックスをしていない	399 (8.3%)	215 (7.7%)	144 (8.1%)	64 (8.6%)	2 (13.3%)	863 (8.5%)	139 (5.1%)	12 (2.4%)
回答者数(実数)	4,815	2,800	1,777	742	10,149	10,149	2,716	508

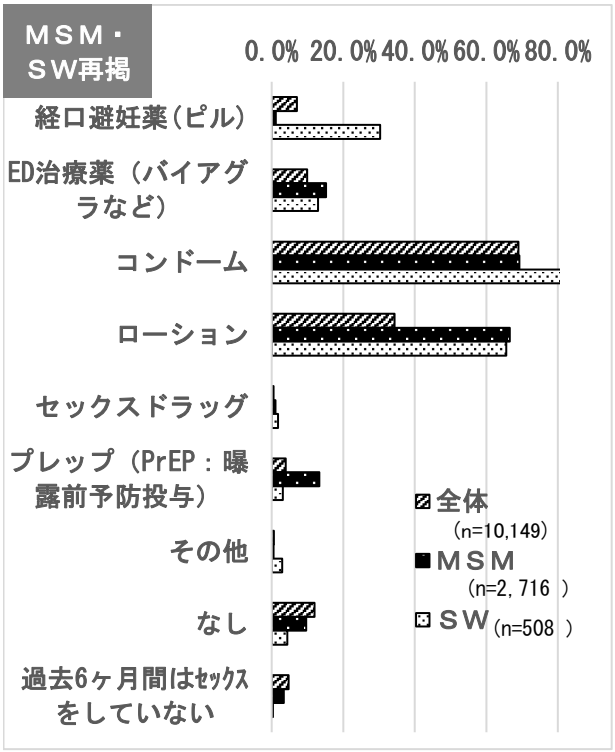




（4）セックスをする時に使っているものがありますか？（複数回答可）

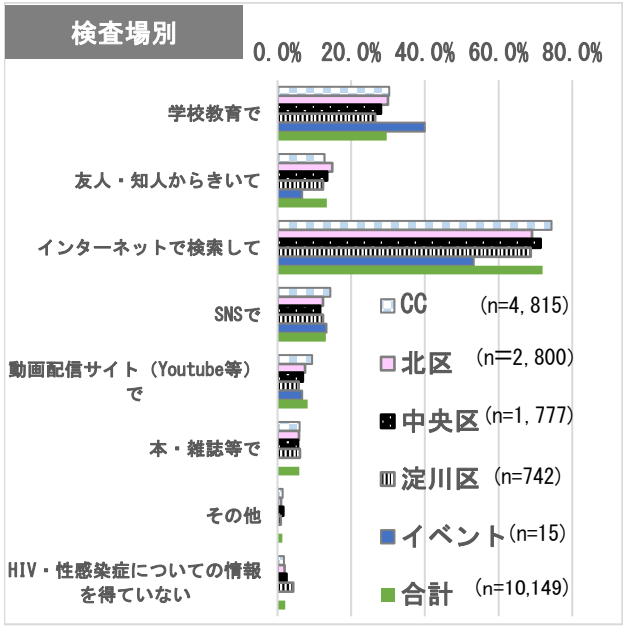
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
経口避妊薬(ピル)	314 (6.5%)	202 (7.2%)	151 (8.5%)	49 (6.6%)	0 (7.1%)	716 (7.1%)	31 (1.1%)	154 (30.3%)
ED治療薬(バイアグラなど)	489 (10.2%)	303 (10.8%)	151 (8.5%)	60 (8.1%)	2 (9.9%)	1,005 (9.9%)	414 (15.2%)	66 (13.0%)
コンドーム	3,285 (68.2%)	1,973 (70.5%)	1,240 (69.8%)	490 (66.0%)	9 (68.9%)	6,997 (68.9%)	1,882 (69.3%)	447 (88.0%)
ローション	1,922 (39.9%)	854 (30.5%)	471 (26.5%)	232 (31.3%)	5 (34.3%)	3,484 (34.3%)	1,809 (66.6%)	333 (65.6%)
セックスドラッグ	30 (0.6%)	7 (0.3%)	10 (0.6%)	4 (0.5%)	0 (0.5%)	51 (0.5%)	28 (1.0%)	9 (1.8%)
プレップ(PrEP:曝露前予防投与)	287 (6.0%)	72 (2.6%)	34 (1.9%)	5 (0.7%)	1 (6.7%)	399 (3.9%)	361 (13.3%)	16 (3.2%)
その他	33 (0.7%)	14 (0.5%)	13 (0.7%)	2 (0.3%)	1 (0.6%)	63 (0.6%)	14 (0.5%)	15 (3.0%)
なし	524 (10.9%)	352 (12.6%)	232 (13.1%)	107 (14.4%)	4 (12.0%)	1,219 (12.0%)	263 (9.7%)	22 (4.3%)
「過去6ヶ月間はセックスをしていない」	237 (4.9%)	125 (4.5%)	79 (4.5%)	37 (5.0%)	0 (4.7%)	478 (4.7%)	93 (3.4%)	2 (0.4%)
回答者数(実数)	4,815	2,800	1,777	742	15	10,149	2,716	508

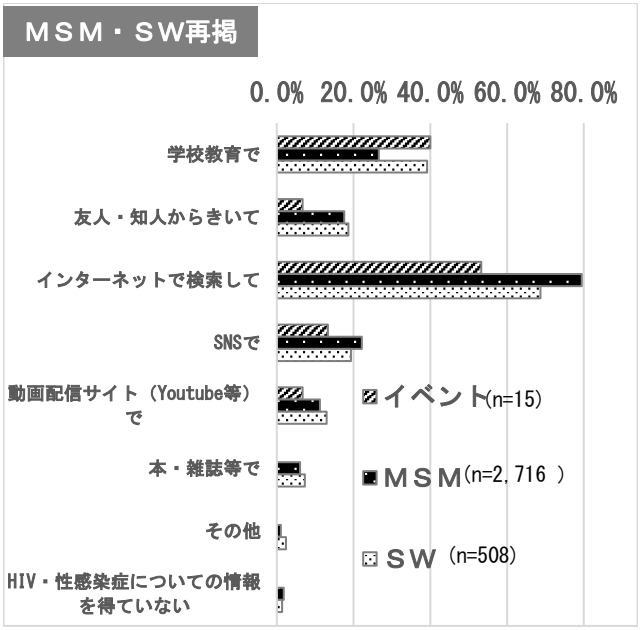




（５）ＨＩＶ・性感染症について、どこで情報を得ていますか？（複数回答可）

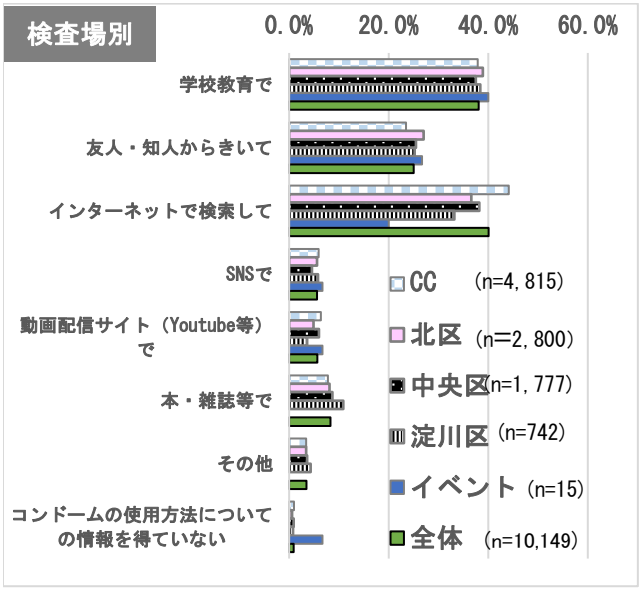
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
「学校教育で」	1,459	841	500	197	6	3,003	722	199
「友人・知人からきいて」	617	416	240	91	1	1,365	478	95
「インターネットで検索して」	3,580	1,935	1,269	510	8	7,302	2,160	349
「SNSで」	689	343	206	91	2	1,331	604	98
「動画配信サイト（Youtube等）で」	453	211	122	42	1	829	304	66
「本・雑誌等で」	291	161	100	45	0	597	166	37
「その他」	69	29	29	7	0	134	29	12
「HIV・性感染症についての情報を得ていない」	84	54	42	32	0	212	49	7

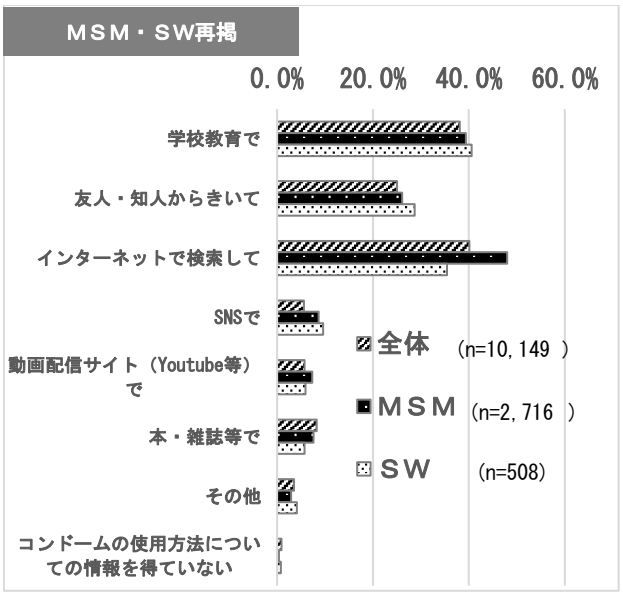




（６）コンドームの使用方法を何で知りましたか？（複数回答可）

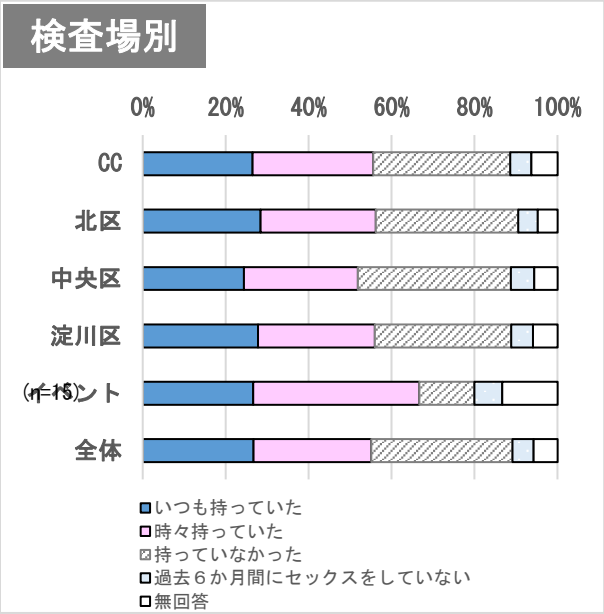
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	全体	MSM	SW
学校教育で	1,824 (37.9%)	1,089 (38.9%)	667 (37.5%)	285 (38.4%)	3,871 (38.1%)	1,071 (39.4%)	206 (40.6%)
友人・知人からきいて	1,132 (23.5%)	757 (27.0%)	453 (25.5%)	187 (25.2%)	2,533 (25.0%)	710 (26.1%)	146 (28.7%)
インターネットで検索して	2,122 (44.1%)	1,024 (36.6%)	679 (38.2%)	246 (33.2%)	4,074 (40.1%)	1,305 (48.0%)	180 (35.4%)
SNSで	282 (5.9%)	158 (5.6%)	81 (4.6%)	43 (5.8%)	565 (5.6%)	236 (8.7%)	49 (9.6%)
動画配信サイト（Youtube等）で	309 (6.4%)	136 (4.9%)	106 (6.0%)	27 (3.6%)	579 (5.7%)	197 (7.3%)	30 (5.9%)
本・雑誌等で	377 (7.8%)	228 (8.1%)	154 (8.7%)	81 (10.9%)	840 (8.3%)	206 (7.6%)	29 (5.7%)
その他	163 (3.4%)	95 (3.4%)	64 (3.6%)	32 (4.3%)	354 (3.5%)	79 (2.9%)	21 (4.1%)
コンドームの使用方法についての情報を得ていない	47 (1.0%)	18 (0.6%)	16 (0.9%)	6 (0.8%)	88 (0.9%)	11 (0.4%)	4 (0.8%)
回答者数（実数）	4,815	2,800	1,777	742	10,149	2,716	508

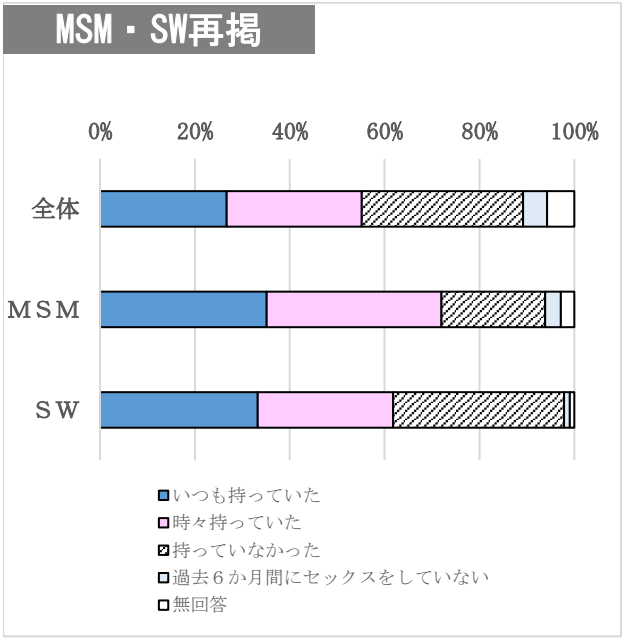




（7）コンドームをすぐ使えるように、いつも身近に持っていましたか？

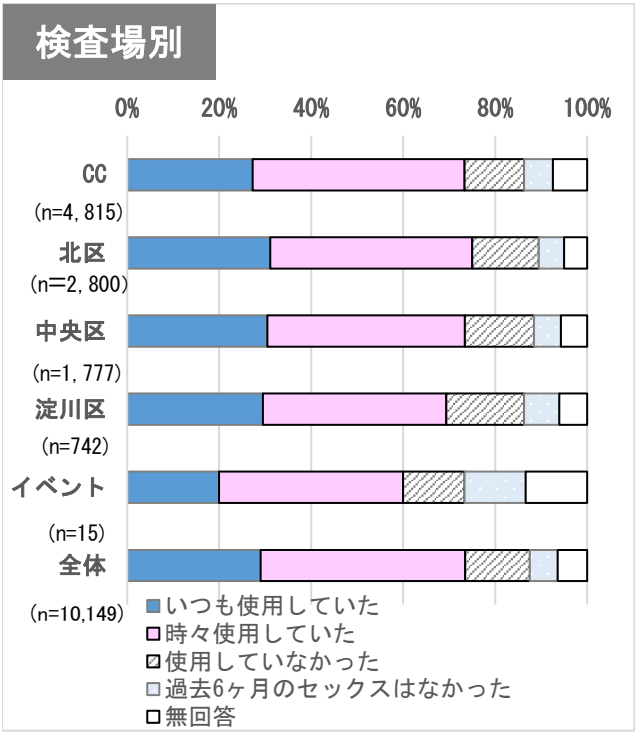
令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
いつも持っていた	1,274 (26.5%)	795 (28.4%)	433 (24.4%)	206 (27.8%)	4 (26.7%)	2,712 (26.7%)	955 (35.2%)	169 (33.3%)
時々持っていた	1,403 (29.1%)	778 (27.8%)	489 (27.5%)	209 (28.2%)	6 (40.0%)	2,885 (28.4%)	1,000 (36.8%)	145 (28.5%)
持っていなかった	1,590 (33.0%)	962 (34.4%)	655 (36.9%)	244 (32.9%)	2 (13.3%)	3,453 (34.0%)	594 (21.9%)	183 (36.0%)
過去6か月間にセックスをしていない	244 (5.1%)	132 (4.7%)	100 (5.6%)	39 (5.3%)	1 (6.7%)	516 (5.1%)	89 (3.3%)	6 (1.2%)
無回答	304 (6.3%)	133 (4.8%)	100 (5.6%)	44 (5.9%)	2 (13.3%)	583 (5.7%)	78 (2.9%)	5 (1.0%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	742 (100.0%)	0 (0.0%)	10,149 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)

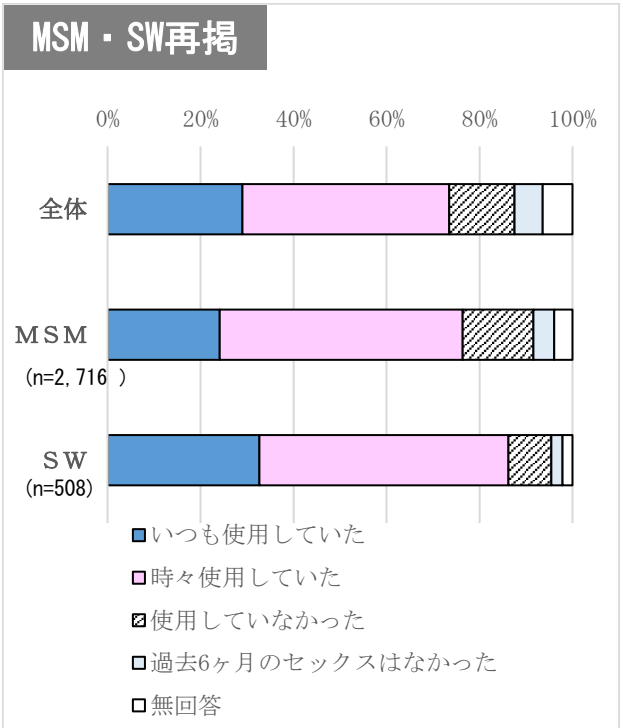




（8）コンドームは毎回使用していましたか？

令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
いつも使用していた	1,315 (27.3%)	870 (31.1%)	541 (30.4%)	219 (29.5%)	3 (20.0%)	2,948 (29.1%)	655 (24.1%)	166 (32.7%)
時々使用していた	2,216 (46.0%)	1,231 (44.0%)	764 (43.0%)	296 (39.9%)	6 (40.0%)	4,513 (44.5%)	1,420 (52.3%)	272 (53.5%)
使用していなかった	625 (13.0%)	404 (14.4%)	267 (15.0%)	125 (16.9%)	2 (13.3%)	1,423 (14.0%)	412 (15.2%)	47 (9.3%)
過去6ヶ月のセックスはなかった	300 (6.2%)	155 (5.5%)	104 (5.9%)	57 (7.7%)	2 (13.3%)	618 (6.1%)	122 (4.5%)	12 (2.4%)
無回答	359 (7.5%)	140 (5.0%)	101 (5.7%)	45 (6.1%)	2 (13.3%)	647 (6.4%)	107 (3.9%)	11 (2.2%)
計	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	742 (100.0%)	15 (100.0%)	10,149 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)

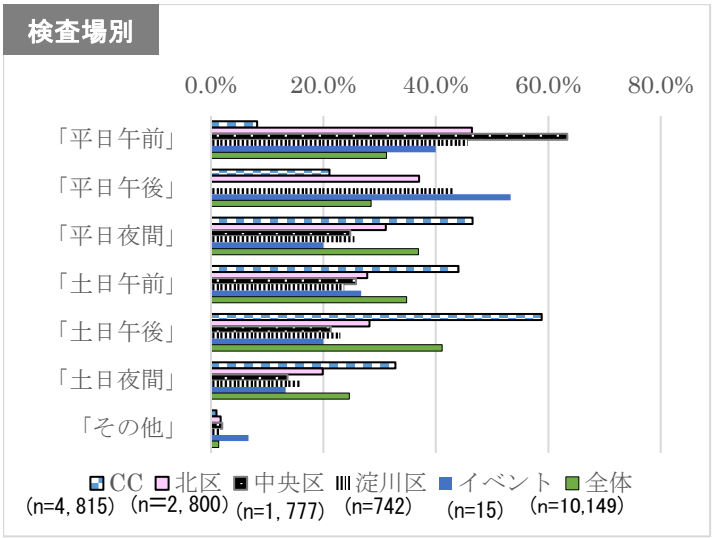




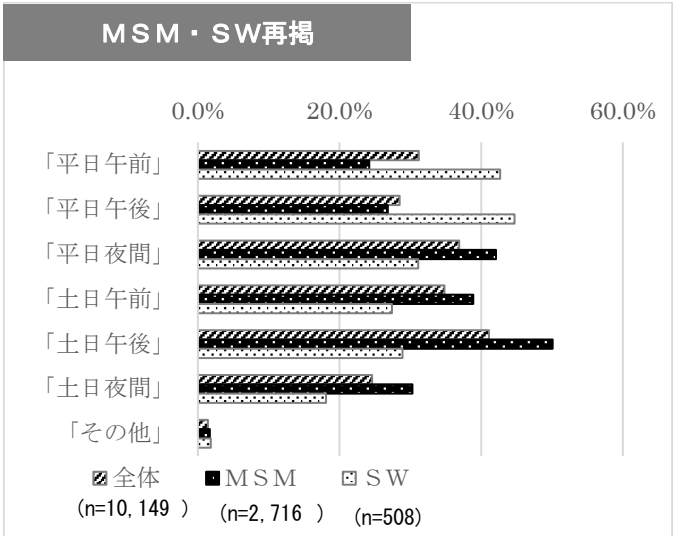
14　ＨＩＶ・性感染症検査を受検しやすいのはどの時間帯ですか？（複数回答可）

令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
「平日午前」	393 (8.2%)	1,299 (46.4%)	1,126 (63.4%)	339 (45.7%)	6 (40.0%)	3,163 (31.2%)	658 (24.2%)	217 (42.7%)
「平日午後」	1,018 (21.1%)	1,035 (37.0%)	507 (0.0%)	320 (43.1%)	8 (53.3%)	2,888 (28.5%)	727 (26.8%)	227 (44.7%)
「平日夜間」	2,241 (46.5%)	872 (31.1%)	440 (24.8%)	189 (25.5%)	3 (20.0%)	3,745 (36.9%)	1,144 (42.1%)	158 (31.1%)
「土日午前」	2,118 (44.0%)	779 (27.8%)	458 (25.8%)	176 (23.7%)	4 (26.7%)	3,535 (34.8%)	1,057 (38.9%)	139 (27.4%)
「土日午後」	2,831 (58.8%)	789 (28.2%)	379 (21.3%)	171 (23.0%)	3 (20.0%)	4,173 (41.1%)	1,362 (50.1%)	147 (28.9%)
「土日夜間」	1,579 (32.8%)	557 (19.9%)	242 (13.6%)	119 (16.0%)	2 (13.3%)	2,499 (24.6%)	822 (30.3%)	92 (18.1%)
「その他」	49 (1.0%)	48 (1.7%)	35 (2.0%)	12 (1.6%)	1 (6.7%)	145 (1.4%)	46 (1.7%)	9 (1.8%)
回答者数(実数)	4,815 (100.0%)	2,800 (100.0%)	1,777 (100.0%)	742 (100.0%)	15 (100.0%)	10,149 (100.0%)	2,716 (100.0%)	508 (100.0%)

検査場別



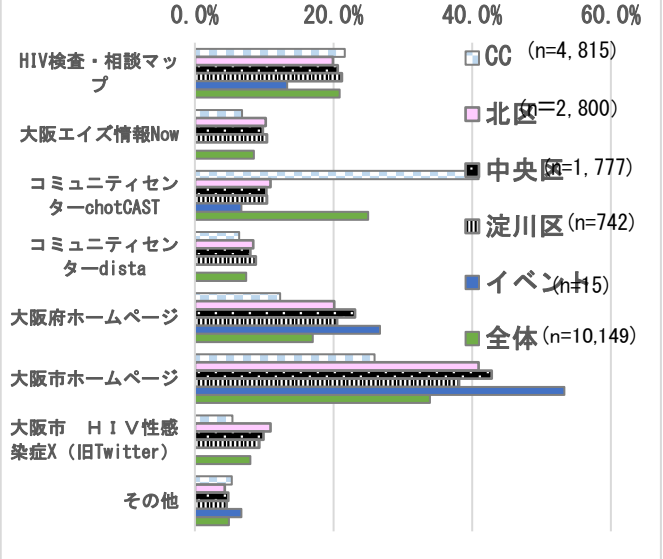
ＭＳＭ・ＳＷ再掲



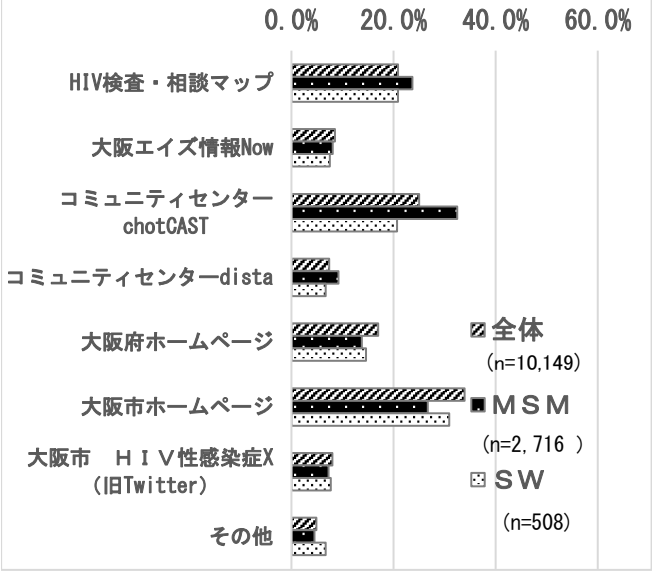
14　今回の検査の情報は何で得ましたか。（複数回答可）

令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	全体	MSM	SW
HIV検査・相談マップ	1,039 (21.6%)	556 (19.9%)	366 (20.6%)	157 (21.2%)	2,120 (20.9%)	645 (23.7%)	106 (20.9%)
大阪エイズ情報Now	328 (6.8%)	286 (10.2%)	175 (9.8%)	77 (10.4%)	866 (8.5%)	219 (8.1%)	38 (7.5%)
コミュニティセンターchotCAST	1,968 (40.9%)	306 (10.9%)	183 (10.3%)	77 (10.4%)	2,535 (25.0%)	884 (32.5%)	105 (20.7%)
コミュニティセンターdista	306 (6.4%)	235 (8.4%)	143 (8.0%)	65 (8.8%)	749 (7.4%)	251 (9.2%)	34 (6.7%)
大阪府ホームページ	593 (12.3%)	563 (20.1%)	410 (23.1%)	152 (20.5%)	1,722 (17.0%)	374 (13.8%)	74 (14.6%)
大阪市ホームページ	1,247 (25.9%)	1,144 (40.9%)	761 (42.8%)	283 (38.1%)	3,443 (33.9%)	726 (26.7%)	157 (30.9%)
大阪市　HIV性感染症X（旧Twitter）	262 (5.4%)	305 (10.9%)	176 (9.9%)	69 (9.3%)	812 (8.0%)	198 (7.3%)	39 (7.7%)
その他	257 (5.3%)	121 (4.3%)	85 (4.8%)	34 (4.6%)	498 (4.9%)	123 (4.5%)	34 (6.7%)
回答者数(実数)	4,815	2,800	1,777	742	10,149	2,716	508

検査場別



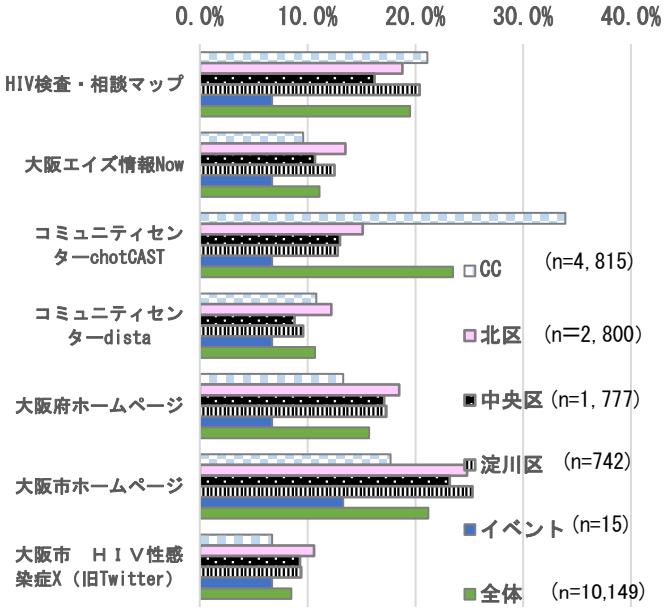
ＭＳＭ・ＳＷ再掲



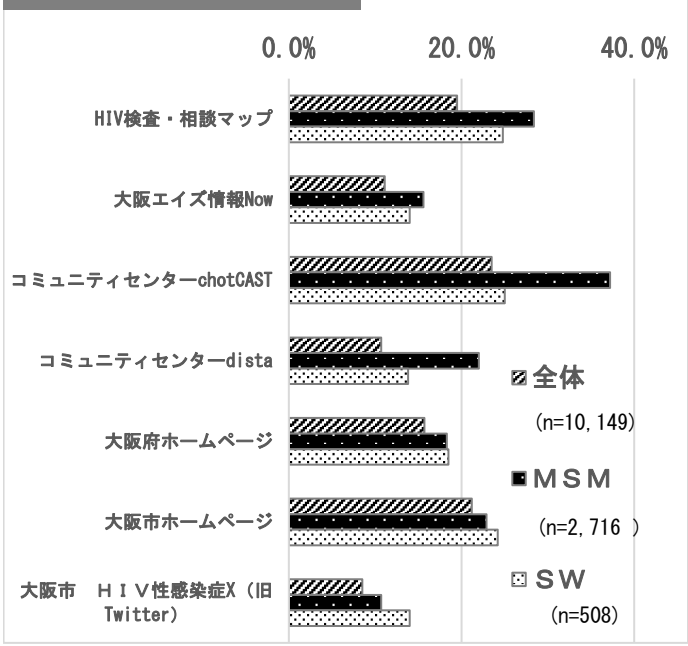
15 これらのウエブサイトを知っていますか？（複数回答可）

令和7年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
HIV検査・相談マップ	1,015 (21.1%)	526 (18.8%)	288 (16.2%)	151 (20.4%)	1 (6.7%)	1,981 (19.5%)	772 (28.4%)	126 (24.8%)
大阪エイズ情報Now	461 (9.6%)	378 (13.5%)	190 (10.7%)	93 (12.5%)	1 (6.7%)	1,123 (11.1%)	423 (15.6%)	71 (14.0%)
コミュニティセンターchotCAST	1,634 (33.9%)	422 (15.1%)	231 (13.0%)	95 (12.8%)	1 (6.7%)	2,383 (23.5%)	1,009 (37.2%)	127 (25.0%)
コミュニティセンターdista	520 (10.8%)	341 (12.2%)	156 (8.8%)	71 (9.6%)	1 (6.7%)	1,089 (10.7%)	598 (22.0%)	70 (13.8%)
大阪府ホームページ	639 (13.3%)	519 (18.5%)	303 (17.1%)	128 (17.3%)	1 (6.7%)	1,590 (15.7%)	498 (18.3%)	94 (18.5%)
大阪市ホームページ	854 (17.7%)	693 (24.8%)	412 (23.2%)	188 (25.3%)	2 (13.3%)	2,149 (21.2%)	621 (22.9%)	123 (24.2%)
大阪市 HIV性感染症X(旧Twitter)	324 (6.7%)	298 (10.6%)	166 (9.3%)	70 (9.4%)	1 (6.7%)	859 (8.5%)	290 (10.7%)	71 (14.0%)
回答者数(実数)	4,815	2,800	1,777	742	15	10,149	2,716	508

検査場別



ＭＳＭ・ＳＷ再掲



令和7年　後天性免疫不全症候群　発生届出医療機関別割合（大阪市・大阪府）

大阪府

	届出医療機関種別	HIV・エイズ　届出医療機関割合	
HIV	保健所/保健センター	16　件　（　16.5　%）	合計
	委託検査場	31　件　（　32.0　%）	
	診療所	12　件　（　12.4　%）	85
	病院(拠点病院以外)	15　件　（　15.5　%）	
	エイズ拠点病院	11　件　（　11.3　%）	
エイズ	委託検査場	0　件　（　0.0　%）	合計
	診療所	0　件　（　0.0　%）	
	病院(拠点病院以外)	6　件　（　6.2　%）	12
	エイズ拠点病院	6　件　（　6.2　%）	
	合計	97　件　（　100.1　%）	

HIV届出数（エイズを除く）85件のうち、保健所・保健福祉センター及び委託検査場の占める割合は55.3%(47件)

※診断年月日を基準に集計　　（大阪市含む）

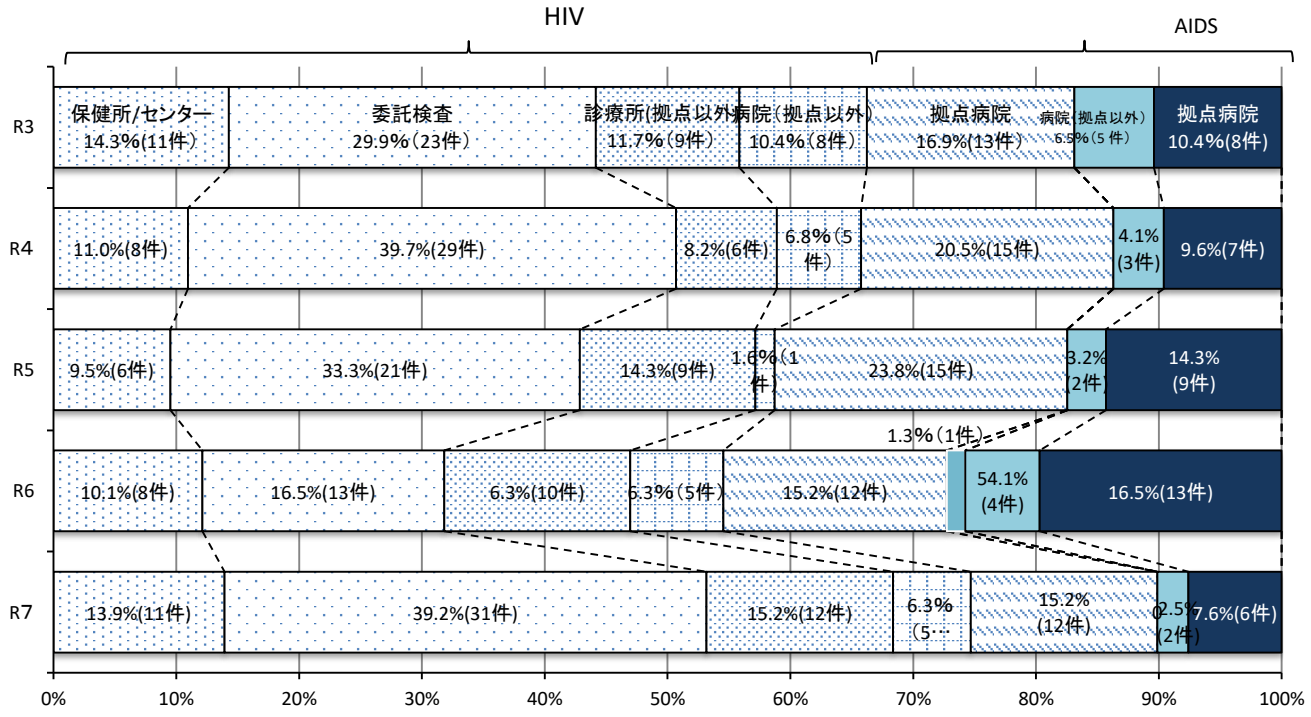
大阪市

	届出医療機関種別	HIV・エイズ　届出医療機関割合	
HIV	保健所/保健センター	11　件　（　13.9　%）	合計
	委託検査場	31　件　（　39.2　%）	
	診療所	12　件　（　15.2　%）	71
	病院(拠点病院以外)	5　件　（　6.3　%）	
	エイズ拠点病院	12　件　（　15.2　%）	
エイズ	委託検査場	0　件　（　0.0　%）	合計
	診療所	0　件　（　0.0　%）	
	病院(拠点病院以外)	2　件　（　2.5　%）	8
	エイズ拠点病院	6　件　（　7.6　%）	
	合計	79　件　（　99.9　%）	

HIV届出数（エイズを除く）71件のうち、保健所・保健福祉センター及び委託検査場の占める割合は59.2%（42件）

※診断年月日を基準に集計

大阪市届出医療機関割合　年次推移（R2年～令和7年）



後天性免疫不全症候群　発生届出件数・医療機関種別（大阪市・大阪府）

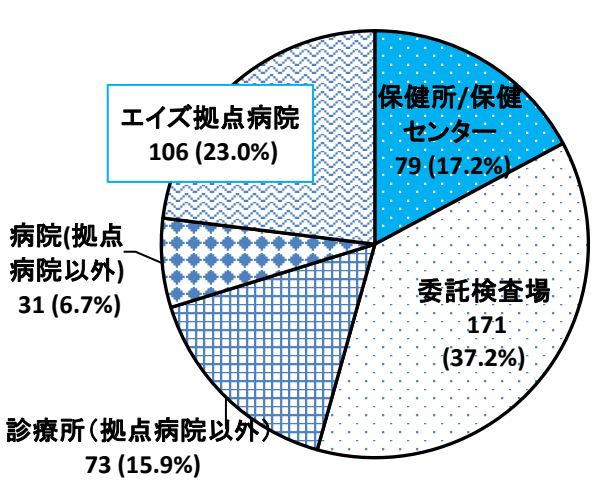
（令和2年～令和7年累計）

※大阪府：大阪市は除く

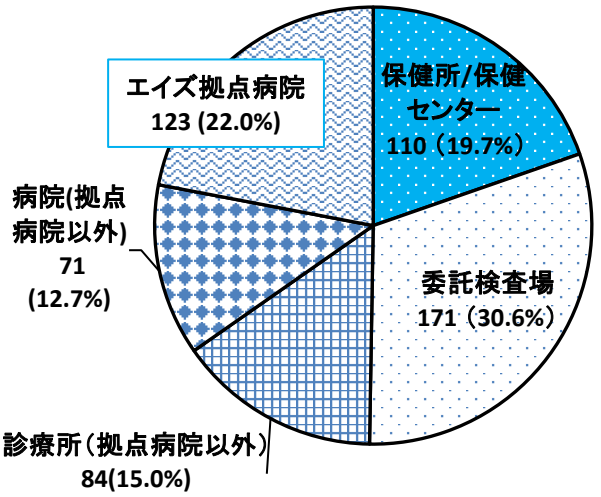
大阪市届出医療機関	HIV届出件数	エイズ届出件数
保健所/保健センター	79	0
委託検査場	171	1
診療所（拠点病院以外）	73	0
病院(拠点病院以外)	31	27
エイズ拠点病院	106	71
合計	460	99

大阪府届出医療機関種別	HIV届出件数	エイズ届出件数
保健所/保健センター	110	0
委託検査場	171	1
診療所（拠点病院以外）	84	0
病院(拠点病院以外)	71	65
エイズ拠点病院	123	91
合計	559	157

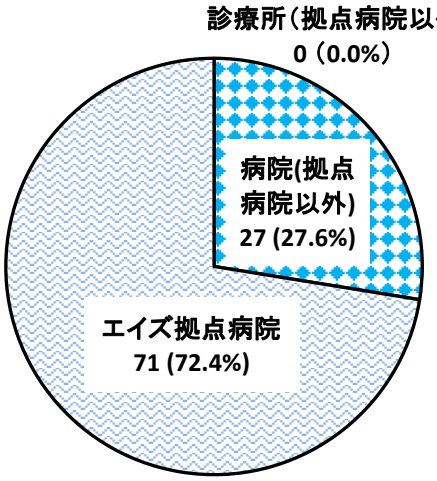
大阪市HIV届出件数 医療機関種別（累計）　（n=460）



大阪府HIV届出件数 医療機関種別（累計）　（n=559）



大阪市エイズ届出件数 医療機関種別（累計）　（n=99）



大阪府エイズ届出件数 医療機関種別（累計）　（n=157）

